

平成九年三月

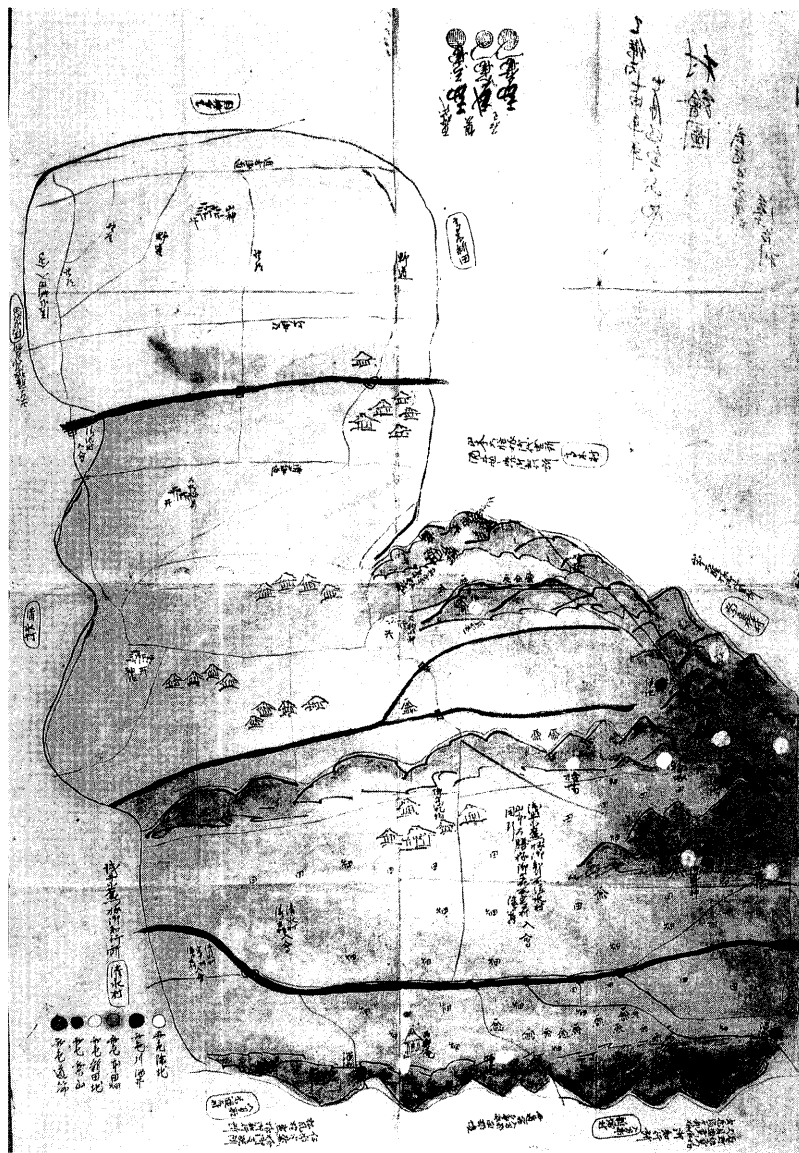
史料館所蔵史料目録 第六十五集

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録

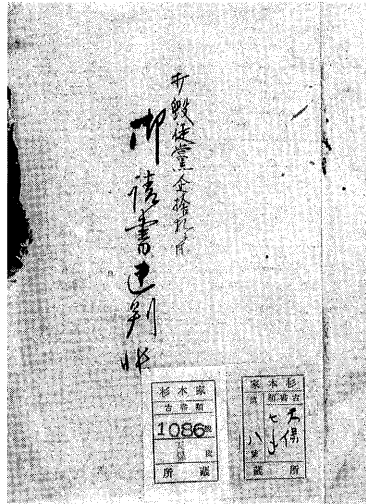
史
料
館

史料館所蔵史料目録 第六十五集

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録



1. 天保7年7月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村絵図
〔史料番号 2696〕



天保七年十二月

打毀捨堂等徒党取鎮方御請書
連判帳

[史料番号 1037・1038・1040]

2. 天保7年12月 打毀捨札等徒党取鎮方御請書
連判帳〔史料番号 1037・1038・1040〕

凡 例

- 一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第六十五集として、武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書を収めた。
- 一 史料は杉本家文書の存在形態とその内容から、大・中・小の項目を立てて編成配列した。各項目の見出しは大項目は一二ポイント・ゴチック活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイント・ゴチック活字で示した。
- 一 史料目録の記載欄は、原則として(一)表題 (二)作成年月日 (三)作成者または差出人 (四)宛名 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
- 一 表題(史料名称)は原則として原表題を採ったが、適宜改変したものもある。原表題のないもの、および原表題を改変したものは、仮題名を掲げ、() を付して前者と区別した。また表題のみでは内容が判別できないものには、簡単な内容摘記を()内に八ポイント活字をもつて併記した。
- 一 原表題の中にある変体・異体・略字などは原則として常用漢字に改めたが、ㇿ(より)は残した。
- 一 作成年次は年月日・干支を採った。また推定年代は()を付した。
- 一 作成者または差出人および宛名のうち複数のものの一部などは適宜省略し、その人数のみを記したのものもある。
- 一 資料の形態は、簿冊類では、縦帳・横帳などで示し、一紙書付類は通をもって数量を示した。
- 一 巻末に簡単な解題を付した。
- 一 本目録の作成、解題等は森安彦が担当した。

目次

口絵

凡例

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録

目次

目録

解題

頁

一

三

五

二九

武蔵国

多摩郡
後ヶ谷村

杉本家文書目録

武蔵国多摩郡後ヶ谷村 杉本家文書目録 目次

名 主	頁
支配	五
法令・触書	鷹場 地頭・先納金 八王子千人同心
農兵 訴訟	御用菜種 警備 取締組合 その他
土地・用水	郷村高帳 新田開発 検地帳 名寄帳 反別帳
入会 用水・上水	年貢
年貢割付状	年貢割付拜見連判状 年貢皆済目録
年貢勘定目録	年貢定免請納 年貢受取証文
年貢小手形	国役金 その他
村政	村役人 百姓等 村議定 御用留 貯穀・夫食
村入用帳	村方出入 打毀し捨札
戸口	宗門人別改帳 人別送り状 五人組帳
村況	村鑑・村明細書上帳 村絵図
伝馬役	助郷 和宮下向 官軍御用
寺社	寺院 神社
社会	教育 若者組 頼母子 講 普請
副戸長	戸長・副戸長 戸籍 送籍 租税 学校 徴兵・軍事 地租改正 消防 衛生 村会 村合併
家	相続・慣行 過去帳・系図 相続 隠居 結婚 離縁 養子・養女 勘当 借財 葬儀 家作 その他 営 土地売買証文 質地証文 小作証文 金子借用証文 金銭受取証文 奉公人請状 諸営業 諸商品取引 その他 個人記録 万覚帳 見聞録 日記・日誌 小遣帳 書状 書物 俳諧 旅 その他

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録

(文書番号 30 A)

名主

支配

法令・触書

(代官への達書控) 前欠 延宝六年二月二六日 徳山五兵衛他二名 今井九右衛門殿宛 包紙共	一通	三三三
乍恐書付ヲ以御訴訟申上候事 (猪鹿狼等野荒に付 鉄砲赦免願) 貞享一年二月 後ヶ谷村 御代官今 井九右衛門様宛 控	一通	三五
差上ヶ申御手形之事 (兄弟にても田地分け申間敷の 証文) 貞享三年一月 後ヶ谷戸村金左衛門・同権右 衛門 森弥兵衛殿・渡辺喜兵衛殿宛	一通	三
入置申手形之事 (公儀よりの下げ米割渡等不均に付 詫証文) 貞享五年七月二一日 市兵衛御扱人衆左 近殿他六名宛	一通	元
(御公用につき惣百姓証文) 元禄三年二月四日 七郎左衛門他二九名 李右衛門殿・十兵衛殿宛	一通	三
入置申手形之事 (公儀御法度等厳守の証文) 元禄三年二月八日 後ヶ谷村助左衛門 浦表惣百姓 中宛	一通	四
(地形相替申候につき書上げ 写) 元禄一一年一 月二四日 山口領後谷名主李右衛門 細井九左衛門 様御手代衆宛	一通	六

差上申証文之事 (御法度の条々堅く守るべき証文)
元禄一一年七月 武州多摩郡下田村名主平五郎他六
名 浅井七平様御内伊東治助殿他一名宛

縦帳 一冊 五

諸国御料所諸百姓江被御渡候御書付 写 (比企長
左衛門様御代官所之節出候) 正徳三年四月二三日

縦帳 一冊 八

指上ヶ申一札之事 (鉄砲の御高札につき惣百姓連判
証文) 享保三年八月 石川伝兵衛様へ差上ヶ候
下書

一通 三六

定 (捨馬之儀二付) 享保三年八月
武州多摩郡清水村浅井七平

一通 三七

(金銀通用被仰出候 写) 享保三年一月一四日

一通 三八

差上ヶ申証文之事 (鉄砲不所持につき)
享保三年二月 名主李右衛門他五名 石川伝兵衛
様御役所宛

一通 三〇

覚 (朝鮮人來朝につき助郷金銀受取) 享保六年四月
一四日 朝比奈權左衛門 後ヶ谷村名主惣百姓宛

一通 四一

覚 (朝鮮人來朝につき助郷金銀受取) 享保六年四月
一四日 朝比奈權左衛門 後ヶ谷新田名主・惣百姓
宛

一通 四二

御高札御文面 写 享保六年二月

縦帳 一冊 四三

上ヶ鳥之覚 (上鳥につき人足御定之覚書)
享保六年七月 名主・組頭 江川太郎左衛門様御役
所宛 雛形

一通 四四

覚 (流地禁止令解除の触書) 享保八年八月
御奉行所方書写

一通 四五

(米値段につき触書) 卯(享保八年) 一〇月	一通	一五	
差上ケ申一札之事(水呑百姓有無の書上げ)			
享保九年四月 後ヶ谷村名主左右衛門他五名 岩手	一通	一五	
藤左衛門様御役所宛			
(無役地に相応の御取箇仰付けられ度願書)			
享保一〇年一〇月 後ヶ谷村名主左右衛門 岩手藤	一通	一六〇	
左衛門様御役所宛			
差上申証文之事(年貢納方年切に皆済するよう達につ	一通	一六	
き連判状) 享保一二年四月 名主他 岩手藤左			
衛門様御役所宛			
日光山御社參人馬帳 享保一三年三月 後欠	一冊	一三	横帳
千人組之願并由來 享保一三年四月一三日	一冊	一七	縦帳
指上ケ申一札之事(水腐損毛四歩以下につき御見分	一通	一五	
には不及・仰之通り承知仕り一札) 享保一三年九			
月二一日 後ヶ谷村名主他二名 岩手藤左衛門様御			
手代伊藤源七殿他一名宛			
入置申証文之事(三笠附博奕御法度につき)	一通	一六	
享保一三年九月 八兵衛他一四名 名主・組頭中宛			
乍恐以書付を御訴申上候(出水のため置初水かぶ	一通	一八	
り候につき) 享保一五年九月 後ヶ谷村名主左右			
衛門 岩手藤左衛門様御役所宛			
(多摩郡清水村百姓伝右衛門諸役免許状)	一通	一五	
享保一六年三月 元明 清水村宛			
乍恐以口上書を申上候(油木不足につき 下書)	一通	一六	
享保一六年六月	一通	一九	
乍恐以書付を申上候(油木植付につき)	一通	一九	
乍恐以書付を奉願上候(御上米置初につき百姓各自	一通	二〇	
預り願い) 享保一七年一〇月 多摩郡後ヶ谷村名			
主左右衛門他三名 上坂安左衛門様御役所宛			
唐芋書上ケ 享保一八年四月二二日 武州多摩郡後	四通	二五	
ヶ谷村名主左右衛門他二名 上坂安左衛門様御役所			
宛 ほか関連文書一通舎			
一札之事(高割請取連印状) 享保二〇年八月	一通	二四	
後ヶ谷村八郎右衛門 名主左右衛門殿宛			
武州多摩郡後ヶ谷村前々不作吟味書上ケ帳 控	一冊	二三	横帳
元文二年一月 後ヶ谷村名主左右衛門他六名			
上坂安左衛門御役所宛			
(栗木御用ニ付御触) 酉(寛保一年) 九月二六日	一通	二三	
受取申金子之事 延享一年二月 江川郷助他二名	四通	二四	
多摩郡後ヶ谷村宛			
諸国御巡見御役人名付(武州多摩郡後ヶ谷村ニ而写	一冊	二四	横帳
置所持仕候、伊奈半左衛門様御支配之節ニ而御座候)			
延享二年三月			
(浅井小右衛門知行所及御朱印地三ヶ村寺社鉄砲	一通	二六	
不所持につき書上の下書) 寛延二年六月			
浅井小右衛門 大久保五郎右衛門殿他一名宛			
受取申永之事(大養育拜借金返納につき受取)	一通	二五	
寛延四年三月 建部平蔵他一名 入間郡菩提樹村伝			
右衛門宛 包紙有			
請取申永之事(牢屋修復入用受取) 宝曆四年九月一	一通	二七	
〇日 石塚半治名改八郎太夫 後ヶ谷村宛			
請取永之事(丑牢屋修復入用) 宝曆七年二月三日	一通	三七	
小森伝左衛門他一名 後ヶ谷村宛			
拜借鉄砲并獵人雇諸事覚帳(箱根ヶ崎方廻り田迄)	一冊	三〇	横帳
宝曆八年三月			
牢屋修復入用 宝曆一四年六月二二日	一通	三四	
松本藤八他一名 後ヶ谷村宛			
御触書請印帳 明和三年	一冊	三七	横帳

牢屋修復入用 明和四年八月一七日
松本藤八他一名 後ヶ谷村宛 一通 三六

御紋附容易ニ不用御触書・長崎ニ和製龍腦座極御
触書写 明和五年八月一九日 縦帳 一冊 三五

鉄砲并鳥殺生人之儀御触写 明和五年一月八日 縦帳 一冊 三五
（扶食金借用につき連判状） 明和六年四月五日 一通 三七
権兵衛他九名

砂川村ニ而地方御改ニ付書上 控 西の内巻紙ニ
書上（外ニ明和元年申年卜式年・三年戊辰三ヶ年分
御割付写） 明和六年五月 後ヶ谷村勘左衛門他二
名 伊奈備前守様御内小川団右衛門様他一名宛 縦帳 一冊 三八

からむし廻状并請書写（彦八方方請取即日宅部遣
し） 明和七年三月二八日 縦帳 一冊 四〇
（金剛王院勸化他御触書等写） 明和七年四月 一綴 四〇

書状（旦那昇席につき祝酒振舞度由の申入れ）
明和七年七月二〇日 伊奈半左衛門内土屋三郎左衛
門他二名 多摩郡後ヶ谷村左右衛門宛 包紙共 一通 四七

御年米并大豆相場御定書付 写 縦帳 一冊 四八
明和七年八月一三日

御検見ニ付入置申一札之事 明和七年一〇月 縦帳 一冊 四九
多摩郡後ヶ谷村組頭・惣百姓

夫食拝借小前貸附書上帳 明和八年二月 縦帳 一冊 四五
多摩郡後ヶ谷村

文字式朱銀通用触状写 明和九年九月一三日 縦帳 一冊 四九

申渡書（夫食種貸之儀につき） 安永六年一月 久 一通 三七
十左衛門 多摩郡清水新田名主清左衛門他二名宛

博奕賭之諸勝負ニ付御触面村中取極帳 縦帳 一通 五五
天明八年 多摩郡後ヶ谷村

御尊判拜見請書帳 寛政一年閏六月二四日 縦帳 一冊 五五

御尊判拜見請書帳 寛政一年閏六月二六日 縦帳 一冊 五七
多摩郡清水村

寛政元年已来起返等御尋ニ付書上帳 縦帳 一冊 五九
寛政一年多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門 早川八郎左
衛門様御役所宛

四ヶ村江申触候覚（御代替につき御下知状）
寛政四年三月 中村嘉平太 清水村・下田村・中和
田村・寺方村名主中・組頭中・惣百姓宛 一通 三二

下総国小金ノ原ニ而公方様御鹿狩覚（当將軍様一
ツ橋様方御入家齊公様と奉申上） 縦帳 一冊 三三
寛政七年三月五日 五十嵐汎充記之

御貸附金拝借証文 寛政九年六月 拝借人浅井小右
衛門知行所武蔵国多摩郡清水村名主清左衛門 縦帳 一冊 三四
大貫次右衛門様御役所宛

（大貫次右衛門様御役所へ書出候小拾ひ調）
寛政九年六月 清左衛門他四名 大貫様宛 一通 三六

御貸附金拝借証文 寛政九年六月 拝借人浅井小右
衛門知行所武蔵国多摩郡清水村名主清左衛門 縦帳 一冊 三七

御書付写（関東在方において通り者等の取締り）
寛政一〇年五月 縦帳 一冊 三三

公儀御目見道 寛政一二年 一通 三五

乍恐以書付奉願上候（川下げ荷物これまで通りの売
り捌方願書）雛型 寛政一二年一〇月 一通 三五

武州新座郡何村誰何人 御奉行所様宛 縦帳 一冊 三七

武州多摩郡郷庄領書上帳 享和三年四月 高木村 縦帳 一冊 三七
郷庄領入会書上之帳 享和三年四月 武州多摩郡高木村 縦帳 一冊 三六

武藏国武州多摩郡郷庄領仮名附帳 享和三年四月 奈良橋村	縦帳	一冊	六九
武藏国多摩郡郷庄領仮名附帳 享和三年 多摩郡後ヶ谷村取締勸左衛門	縦帳	一冊	六七
武藏国多摩郡郷庄領仮名附書上帳 享和三年 後ヶ谷村名主勸左衛門	縦帳	一冊	六七
享和三亥・文化元子・同二丑・文化三寅年御触書 享和三年	縦帳	一冊	六七
御尋ニ付申上候書付下書 (寛政元酉年以前之起返 并取下场右酉年以来本免ニ入候分御尋ニ付 雛型) 文化二年一月二八日 後ヶ谷村名主勸左衛門他一名 早川八郎左衛門様御役所宛	縦帳	一冊	六三
乍恐以書付奉願上候 (納辻相嵩雛儀につき願書) 文化二年二月 後ヶ谷村代高木村名主金左衛門他二名 大岡源右衛門様御役所宛	一通	七三	
起請文前書・起請文 (熊野牛王宝印 御膳賄人登用 誓約書) 文化二年二月二八日 桑山左金太他三名 小倉六兵衛殿宛	一通	七四	
儀定一札之事 (浪人対策につき取極一札) 文政二年四月	一通	七五	
(水油手作手統・人馬賃錢割増等触書留帳) 文政四年・五年	縦帳	一冊	七五
御書付ニ付御請連判 (博奕賭の諸勝負等禁止) 文政五年一月 百姓代勸兵衛他四三名 名主勸左衛門殿宛	縦帳	一冊	七六
救助銭小前帳 雛型 (文政六年カ) 未年	縦帳	一冊	八六
文政七申年貸附・同八酉年勘定帳	横帳	一冊	八三
守随役所印鑑 文政九年二月 守随役所	一通	八三	
御請連判証文 (脇差・鉄砲取締) 文政九年 武州多摩郡後ヶ谷村百姓代勸兵衛他四四名	縦帳	一冊	八三
亥・戌貸附亥年勘定帳 文政一〇年二月一五日	横帳	一冊	八三
文政十一子年貸附改帳	横帳	一冊	八〇
御請書連判帳 文政二三年六月一九日 市郎左衛門他二九名連印	縦帳	一冊	八二
御請書連判帳 (代官交替につき取締触書) 天保二年一月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	八二
乍恐以書付奉申上候 (鉄砲有無調につき返答書) 天保二年一月 百姓代勸兵衛他二名 田口五郎左衛門様御役所宛	一通	二四	
乍恐以書付奉伺候 (米価立直しのためのお買上げ金 差出につき殘金御下げ願い) 天保二年三月 多摩郡後ヶ谷村名主勸左衛門煩ニ付代兼奈良橋村名 主伝右衛門 田中五郎右衛門様御役所宛	一通	六六	
差上申一札之事 (職人作料引き上げ方不埒につき詫 び証文) 天保二年九月二三日 内藤熊吉知行武州 埼玉郡喜浦町百姓源兵衛他五名 御奉行所様宛	一通	九九	
天保二卯年より御上様差上候諸帳 (面控入袋并貯 稗殺御封印切手入 (袋表書のみ) 天保二年) 多摩郡後ヶ谷村名主勸左衛門	一通	九三	
積金元貸附改控帳 天保四年二月二〇日	横帳	一冊	九六
乍恐以書付奉申上候 (麦作不作につき届書) (天保 六年) 未五月一九日 武州多摩郡藏敷分奈良橋村・ 後ヶ谷村・高木村・清水新田・廻り田村新田共六ヶ 村役人惣代高木村名主金左衛門 山本大膳御役所宛	一通	九〇	
為取替儀定一札之事 (近年凶作につき御改革の趣意 等守るべき儀定証文) 天保七年七月 宅部村半兵 衛他六名	一通	二〇二	

差上申御請書之事(悪党召捕の時は宿村繼にて差出の請書 下書) 一通 一〇三

乍恐以書附奉申上候(御国絵図取調のため出役承知申上書 下書) 天保七年七月 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他二名 中村八太夫様御手附富田錠之助様他一名宛 一通 一〇三

穀類高直三付御請証文 天保七年八月 後ヶ谷村百姓市郎左衛門他四二名連判 縦帳 一冊 一〇五

御教諭三付御請証文 天保七年八月 後ヶ谷村百姓市郎左衛門他四二名連判 縦帳 一冊 一〇六

天保七申年九月御検見入三付田方畝歩改帳 横帳 一冊 一〇七

乍恐以書付御請奉差上候(田方違作につき御用捨米等の請書 控) 天保七年九月 (清水村) 百姓代伝右衛門代印伊左衛門他八名 御地頭所様御役人中様宛 一通 一〇八

酒造減石三付御請書連判帳 天保七年一〇月 後ヶ谷村百姓市郎左衛門他四二名連判 縦帳 一冊 一〇三

米穀高直三付御請書連判帳 天保七年一月 後ヶ谷村 縦帳 一冊 一〇六

天保七年丙申年一二月改米取控之帳 縦帳 一冊 一〇四

天保七年二月 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門 (飢人数取調書上) 天保八年一月一二日 武州多摩郡余良橋村他五ヶ村惣代蔵數分名主左衛門 山本大膳様御役所宛 一通 一〇六

御触達請印(救合力書上) 天保八年一月二六日 縦帳 一冊 一〇五

夫食拝借願諸入用帳 天保八年一月二八日ヨリ 横帳 一冊 一〇六

後ヶ谷村名主勘左衛門

覚(貧民救合力下ヶ切差出金請取) 天保八年二月一日 山本大膳手代河野愛助・同人手附渡辺玄藏 武州多摩郡後ヶ谷村百姓孫兵衛宛 包紙共 包紙裏に貧民へ割渡しの明細有り 一通 一〇三

乍恐以書付奉願上候(貧民救の内え上納金差出書) 天保八年二月二日 後ヶ谷村百姓孫兵衛他五名 臨時御取締御出役渡辺玄藏様・河野啓助様宛 一通 一〇三

飢人救方手当帳(天保八酉年正月不作三付御救拝借後ヶ谷村名主勘左衛門願一件の断簡挿入有り) 天保八年二月 縦帳 一冊 一〇五

飢人書上帳 下書 天保八年二月 多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 一〇六

飢人救方書上帳 下書 (天保八年) 酉二月 多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 一〇七

差上申一札之事(飢人救済並びに貧民病人へ医薬品支給の請書) 天保八年三月四日 後ヶ谷村名主勘左衛門 山本大膳様御役所宛 一通 一〇六

覚(金三両村差出金之内被下切・金六兩戌方五ヶ年賦拜借) 天保八年三月四日 包紙共 一通 一〇六

覚(拝借并被下切南分新左衛門方請取) 天保八年三月二日 包紙共 二通 一〇七

夫食代拝借金并被下切御救金割渡帳 天保八年三月 後ヶ谷村名主勘左衛門 横帳 一冊 一〇五

御救小家一件御請連判証文 天保八年三月 縦帳 一冊 一〇六

請取一札之事(御施薬請取) 天保八年三月 新左衛門 名主勘左衛門殿宛 一通 一〇六

差上申御証文之事(百歳の長寿御手当米請取証文) 天保八年四月一〇日 武州多摩郡廻り田村百姓権左衛門祖母ちち代兼権右衛門他二名 山本大膳様御役所宛 一通 一〇六

請取一札之事 (長寿御褒美御手当米受取) 天保八年四月二日 武州多摩郡廻り田村村役人新右衛門・当人権左衛門 武州多摩郡府中宿御名主衆中宛	一通	二〇八三
被仰渡三付村々請印帳 天保八年五月一日	一冊	二〇八六
(御下金割渡し覚・口書覚) 天保八年八月一日 他	四通	二〇七四
奉受取金子之事 天保八年八月二日 武州多摩郡後ヶ谷村名主勸左衛門・廻田村作右衛門 山本大膳様御役所宛	一通	二〇九〇
乍恐以書付奉申上候 (八月一四日大嵐雨にて大木・家屋・作物大被害につき訴書) 天保八年八月二二日 武州多摩郡高木村他五ヶ村惣代高木村金左衛門 山本大膳様御役所宛	一通	二〇九二
差上申御請証文之事 (名主方の施しに対する御答につき御請証文) 天保八年八月八日 武州多摩郡後ヶ谷村名主勸左衛門他七名惣代名主勸左衛門 山本大膳様御役所宛	一通	二〇九三
御答三付御請証文 天保八年八月 後ヶ谷村	一冊	二〇九三
乍恐以書付奉願上候 (廻状順達方変更の願書控) 天保八年二月四日 武州多摩郡毛部村代後ヶ谷村名主勸左衛門 山本大膳様御役所宛	一通	二〇〇〇
奉請取金子之事 天保八年二月一四日 武州多摩郡奈良橋村代兼後ヶ谷村名主平十郎 山本大膳様御役所宛	一通	二〇〇二
乍恐以書付奉申上候 (百歳長寿褒美頂戴のいち病氣附・並びに死亡届書 下書) (天保八年) 西九月五日・九月八日 権左衛門他一名 山本大膳様御役所宛	一通	二〇〇五
従天保八酉年至戊三月御巡見記録帳 天保八年 西九月三月 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎	縦帳 一冊	二〇〇九
天保度八酉年御巡見御役人様御名前(他一点西八月二日付伊奈半左衛門役所よりの天明七年巡見道筋差出の通知文) 天保八年	二通	二〇〇五
文政十一子年〇天保八酉ノ七月迄遠島・追放・江戸払・所払・役義取放、右御尋三付村々有無請書并一件書物 天保九年二月一四日 後ヶ谷村名主平重郎 包紙共	四通	二〇三五
御構物書上帳 (遠島・追放・所払等) 天保九年二月 武州多摩郡高木村	縦帳 一冊	二〇三七
御尋三付書上帳 天保九年二月 武州多摩郡蔵鋪村	縦帳 一冊	二〇三六
武蔵 相模国巡見順道書 写 天保九年三月二〇日 伊豆 後ヶ谷村名主平重郎控	横帳 一冊	二〇三〇
奉差上御請書之事 (西御九様御普請之儀三付下書) 天保九年六月二七日 山本大膳御代官所武州多摩郡後ヶ谷村名主平十郎他二名 御奉行所様宛	一通	二〇三四
御儉約三付御請証文 天保九年六月	縦帳 一冊	二〇三四
差上申議定一札之事 (違昨につき御検見入願い連判状) 天保九年八月 後ヶ谷村市郎左衛門他三二名 名主平重郎殿・名主新左衛門殿宛	一通	二〇二五
乍恐以書付奉願上候 (御鷹場沐浴入用之儀古米仕來の通り村々高割願い) 天保九年九月 武州多摩郡清水村名主佐左衛門他六ヶ村六名 尾州様御鷹場御案内倉片助右衛門殿宛	一通	二〇二五
天保九戌年十月十七日御渡しし山本大膳様仮免状 并買納代金割付共 天保九年一〇月一七日 多摩郡後ヶ谷村宛 包紙共	三通	二〇二五
乍恐以書付奉申上候 (早越にて難渋届 下書) 天保一〇年六月二一日 後ヶ谷村他七ヶ村惣代蔵敷分左衛門他一名 山本大膳様御役所宛	一通	二〇二六

西御丸御普請ニ付御用金御請書控

天保一〇年一月 後ヶ谷村

縦帳 一冊 二七

差上申御請証文之事(御触達しの書類一切これなきに
つき返答書 控) 天保一一年一〇月六日

後ヶ谷村名主平重郎他六名 山本大膳様御役所宛

一通 二〇三

夫食代拜借永年賦御請印小前帳控 天保一一年一
一月 山本大膳支配所武州多摩郡後ヶ谷村

縦帳 一冊 二〇四

御触留 天保一二年閏一月吉日

御条目(陰陽道掟書) 天保一二年二月二七日

土御門殿家司奉之 江戸役所月番行事 包紙共

一通 二〇七

乍恐以書付奉願上候(宗門人別帳作成遅延申立書)

天保一二年二月二八日 武州多摩郡後ヶ谷村名主平
重郎 山本大膳様御役所宛

一通 二七六

(山本大膳役所よりの呼出状)

(天保一二年) 丑二月二八日 山本大膳役所 武州
多摩郡後ヶ谷村名主後三郎他役人宛

一通 二三八

御改革被仰渡御請書 天保一二年六月

武州多摩郡後ヶ谷村

縦帳 一冊 二三三

覚(小売酒并質物直下ヶ御請証文) 天保一三年六月

武州多摩郡後ヶ谷村小売酒渡世小平次他四名
江川太郎左衛門様御役所

縦帳 一冊 二三四

議定一札之事(高札場再移動時の約定) 天保一三年
一月 名主後三郎他四名 名主平重郎殿宛

一通 二三五

小前連判御請証文(天保改革法令)

天保一四年四月 武州多摩郡後ヶ谷村

縦帳 一冊 二四三

小前連判御請証文控(天保改革法令)

天保一四年四月 武州多摩郡後ヶ谷村

縦帳 一冊 二四四

地方改正被仰出永増一件諸入用勘定帳
天保一四年八月 後ヶ谷村名主平重郎

横帳 一冊 二四七

御請連判帳(天保改革の御取箇筋改革中止)

天保一四年一〇月 組合村々

縦帳 一冊 二五五

乍恐以書付御訴奉申上候(火難御届書)

弘化三年二月三日 名主平十郎親類組合代兼村役人
惣代組頭忠右衛門 江川太郎左衛門様御役所宛

一通 二四四

御請証文(衣食住其外奢侈取締) 弘化四年二月
武州多摩郡後ヶ谷村

縦帳 一冊 二〇〇

西御丸御普請ニ付上納金仕候ニ付御褒美御請書
弘化四年七月 後ヶ谷村

縦帳 一冊 二三三

乍恐以書付奉願上候(人別帳へ千人同心の肩書書落
しにつき書入願い) 嘉永六年五月 武州多摩郡後
ヶ谷村名主後見平重郎 江川太郎左衛門様御役所宛

一通 二三三

四十八ヶ村組合武州所沢村組合村々地頭姓名其
外書上帳 安政二年三月 武州多摩郡後ヶ谷村杉
本平重郎控 他に一五十三ヶ村組合武州扇町谷村組
合村高家数書上帳あり

縦帳 一冊 二三六

乍恐以書付奉願上候(積年病身の為難渋につき御助
力御救い願い) 安政五年三月 野口村小屋頭喜兵
衛他一名 後ヶ谷村御役人衆中様・御百姓衆中様宛

一通 二四八

大津御台場御警固ニ付細川越中守様江増御預村々
高帳 安政五年三月 武州多摩郡後ヶ谷村名主後
見平重郎控

縦帳 一冊 二四九

御支配替ニ付歎願書并諸書物控 安政六年二月一五
日 武州多摩郡後ヶ谷村杉本平重郎控

縦帳 一冊 二四五

頼一札之事(細川様御支配替反对歎願書御下ヶ切に
つき再歎願書) 安政六年二月一八日

多摩郡芋窪村小前村役人惣代名主七郎左衛門他一〇
ヶ村一〇名 後ヶ谷村名主杉本平重郎殿他三名外御
惣代中宛

一通 二四六

請書(水戸浪人召捕方につき請書) 安政八年二月
後ヶ谷村

縦帳 一冊 二四〇

請書(水戸浪人召捕方につき請書) 安政八年二月 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一四四	相州観音崎御台場龜絵図面(御警衛被仰付候節杉 本勘左衛門所持) 慶応三年六月	絵図	三鋪	一五七
内願書(江川太郎左衛門御役所定詰慎輔御助成願い 口上書) 文久二年二月 和泉屋健藏内慎輔 所沢村御組合御村々御役人中様宛	縦帳	一冊	一四七	官軍御下向三付東海道川崎宿江金穀上納一件書付 慶応四年三月 包紙有り	縦帳	四通	一五三
養老御手当御請書控 文久二年七月一三日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一四三	公用御触書写 慶応四年閏四月八日拝見 金剛寺写	縦帳	一冊	一五六
八拾歳以上取調書上帳 文久二年七月 武州多摩郡後ヶ谷村外五ヶ村	縦帳	一冊	一四六	裁判所御印鑑壹枚(慶応四年九月七日所沢村名 主助右衛門宅三而請取)	半横帳	一冊	一四九
御触書控帳 文久二年九月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一四六	徳川家脱藩浪人撤書(慶応四年) 戊辰四月 徳川氏脱藩浪人共	半横帳	一冊	一五〇
乍恐以書付奉願上候(代官江川太郎左衛門様御支配 継続願書) 文久二年二月二日 御支配所四十一ヶ村三役人連印惣代藏敷分左衛門 他一名 井上河内守様宛	一通	一通	一六一	江川太郎左衛門様御印鑑 明治二年二月一五日 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左 衛門宛	半横帳	一冊	一六一
村役人印鑑 文久二年 包紙共	七通	七通	一五三	天子様大宮宿一宮江御幸ニ付御用日記 明治二年一月〇月 多摩郡惣代後ヶ谷村平重郎控	半横帳	一冊	一六一
御模様替ニ付歎願書控(江川代官所支配継続願書) 元治二年四月 後ヶ谷村名主平重郎控	縦帳	一冊	一五八	南新左衛門印鑑 明治二年二月二〇日 名主新左衛門(包紙共)	縦帳	一通	一六三
御進発ニ付歎金御諭書請印帳并御褒美銀割渡 慶応二年五月 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎控	縦帳	一冊	一五四	御操替金御取立御用ニ付田無村江御出役人用割合 帳 明治二年七月二日 後ヶ谷村名主平重郎控	横帳	一冊	一六七
差出申一札之事(御調中につき炮発不届者預り一札) 慶応二年一月 直次郎預り当人三左衛門他五名 名主勘左衛門殿宛	一通	一通	一五七	其村々取極儀定一札之事(朝政御一新につき取締) 明治二年七月二日 後ヶ谷村名主新左衛門	縦帳	一冊	一六五
諸色高直ニ付儉約取極請印帳 慶応二年一月 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一五二	上納金取調書上帳 明治二年七月 後ヶ谷村名主平 重郎控	縦帳	一冊	一六八
公用御触書卯下刻拜見同辰下刻次寺江順達 慶応二年三月二九日 青梅村金剛寺	縦帳	一冊	一五六	八十才以上書上帳 明治二年九月 武州多摩郡後ヶ 谷村	縦帳	一冊	一六六
相州三浦郡観音崎御台場御警衛中日記録 慶応三年六月八日出発 武州多摩郡山口領後ヶ谷村 杉本勘左衛門控	半横帳	一冊	一五五	乍恐以書付奉願上候(不作につき田方准合願い) (明治二年) 巳一〇月 武州多摩郡酒井上知百姓代 久左衛門・組頭忠左衛門・名主庄兵衛・廻り田村名 主太郎左衛門他二名 韭山県御役所宛	縦帳	一通	一六〇

悪金取調書上帳 明治二年二月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一七二
覚(明治二巳年より同三年迄老養扶持方書付) 明治二、三年 当人後ヶ谷村八郎右衛門他二名 主平重郎殿宛	三通	三通	一七五
飢渴人手当割渡帳(添付文書「南京米相場書請取覚」) 明治三年二月 後ヶ谷村名主平重郎	横帳	一通	一七六
御廻米積河岸より東京迄川路里数取調書上 明治三年五月 武州多摩郡小川村外九ヶ村	縦帳	一冊	一七〇
(外国人居留地借受・讓受・家作賃借禁止の御触) (明治五年) 六月 神奈川県庁	一通	一通	一七三
武蔵国入間郡人間県管轄御布告真言新義派 明治五年七月 三光院 釈安田忍雅	縦帳	一冊	一七三
公用御触 明治五年七月 清水村三光院	縦帳	一冊	一七九
神奈川県県庁ヨリ御渡心得書之写(地所永代売買・讓渡の件) 明治五年七月	一綴	一綴	一七七
武器取調書上帳 明治五年一月 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一七六
御布告(木版刷) 明治五年、六年 狭山邑	縦帳	一冊	一六〇
神奈川県庁ヨリ村触之写拾四ヶ条 (明治五年) 狭山村	縦帳	一冊	一七五
銃炮筒取調書上 明治六年一月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一七八
武器類取調書上 明治六年一月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一七七
(太政官触達 木版刷) 明治六年三月五日 神奈川県参事高木久成	一綴	一綴	一八五

区別改正規則 明治六年四月 第十一区十番組後ヶ谷村杉本勘左衛門控	縦帳	一冊	一八三
百歳八十八歳有無書上(明治六年)五月七日 十番組後ヶ谷村杉本勘左衛門 第十二区正副区長御中宛	一綴	一綴	一八六
御布令留 明治七年一月 拾番組後ヶ谷村	縦帳	一冊	一八六
(鶏鬮禁止布令) 明治七年三月三日 第拾壹区八会処 八番組、拾番組正副戸長御中宛	一通	一通	一八七
明治六年一月一七日第十八号御布告 明治七年五月二日	一綴	一綴	一八三
公布留 明治八年一月 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一八五
(証書類書式雛形) 明治八年 御代官替日記 寛文九年ヨリ	一綴	一綴	一八九
(狂気御届その他関連文書) 明治一〇年四月一七日 喜太郎父杉本源三郎他二名 拾小区扱所御中宛	一綴	一綴	一九〇
(孝行成者褒美につき廻状) 丑四月九日 朝 権左衛門役所 前欠カ	一通	一通	一八三
西丸上金請取調 後ヶ谷村 丑二月二〇日 江川太郎左衛門手附新見健三郎他三名	一通	一通	一八一
覚(江戸日本橋御高札写) 寅七月	一通	一通	一八〇
御用廻状(写) 寅一〇月 多摩郡田無村初り 伊奈半左衛門内杉浦五郎右衛門他四名	縦帳	一冊	一八三
米雜穀有高一村限取調書上帳(雛形) 卯三月	縦帳	一冊	一八四
覚(御貸附金受取証) 卯六月二十七日 野田文蔵手代 福永久治右衛門他二名 後ヶ谷村勘左衛門宛	一通	一通	一八四

覚(御役所よりの代米受取証) 卯十一月二五日 清水新田当役徳兵衛 後ヶ谷村御名主役中宛	一通	三三四
廻状(元禄度作成の国絵図御改めにつき) 申六月二一日 中村大夫役所 荏原郡品川宿他二三 宿・村宛 (品川宿役人の添書共) 包紙あり	二通	二五五
御改革難有被仰渡行届候様(名主心得覚) 申一二月	一冊	一〇五〇
御書付写(貧民救助につき) 酉一月二八日 臨時御 取締出役渡辺玄藏他一名 後ヶ谷村百姓孫兵衛宛	一通	三五六
差紙(拝借御貸付不納につき) 戌二月一日 坂崎常之丞役所 後ヶ谷村勘左衛門加列入宛 包紙 共	一通	三〇〇
(御料所村々巡見の順道帳並びに村差出明細帳 雛形) 戌二月八日 伊奈半左衛門役所	一冊	二七三
(巡見心得廻状) 戌二月八日 後ヶ谷村名主平重郎 宅部村他六ヶ村御名主中様宛	一通	二五六
(箱根山林場規定廻状につき名主請印状) 亥一月一九日 江 太郎左衛門 三島宿他三三ヶ村名主・組頭宛	一通	二五四
(巡見出立の趣虚説之由書状) 三月九日 砂川村村野源五右衛門 後ヶ谷村杉本平十郎様宛	一通	二六七
(御公儀様よりの廻状式通受取証文) 閏七月二二日 半十郎 御預所宛	一通	三三〇
廻章(御支配替につき集議出会通知状) 七月二四日 後ヶ谷村名主平重郎 清水新田他一九ヶ村宛	一通	二五八
御印鑑(江戸関門通行印鑑 包紙共) 九月一〇日 江川太郎左衛門御代官所武州多摩郡後ヶ谷村名主勘 左衛門親平重郎他壹人	九通	一五〇
觸書(旗本・御家人困窮につき節儉の趣旨) 九月二三日	縦帳	一冊 二七三
書状(御見分時回答依頼状) 十一月二二日 当間庄太夫他一名 杉元勘左衛門様宛	一通	三三五
(御年貢相場違ひにより御屋敷へ申上げ老斗安に 取立願ひ) 断簡	一通	五六
(毛利大膳太夫御征伐討手之面々名前書)	横帳	一冊 七〇
議定一札之事(新水帳反別取調不行届につき先規反 別通りの取りきめ書)	一通	八〇二
(雑穀類商人の白米売買禁止並びに酒造米減石の 請書) 矢島藤藏支配所入間郡扇町谷村五拾八ヶ村 大惣代入間川政吉他七名	一通	九七
清水村一件入用覚(清水村門訴一件)	横帳	一冊 一〇六
(代官平岩右膳配下人名書)	一通	三九
(山本大膳役所御元メ名前書上げ状)	一通	二五七
鷹 場		
前沢御鷹野割当帳 寛永二二年三月三日	横帳	一冊 三三五
指上ヶ申御鷹御法度一札之事 享保一四年六月 武州多摩郡後ヶ谷村名主 御場御預り下田孫右衛門 殿宛	一通	一八一
差上申一札之事(御鷹御用人足今後遅滞仕間舖につ き一札) 宝曆九年九月 後ヶ谷村名主勘左衛門他 一名 廻り田村御鳥見様宛	一通	三三
(御鷹札改めにつき書状) 寛政二年二月一日 享 和一年七月二一日 立川陣屋 御案内小川東吾	一通	五三
尾州様村高御触 文政四年一月	縦帳	一冊 七九

御請小前連判一札(御鷹場取締につき)
文政一〇年六月 武州多摩郡後ヶ谷村

縦帳

一冊 八五

乍恐以書付奉願上候(武州多摩郡後ヶ谷村分村高敷
相違につき願書) 天保三年五月

一通

先九

御鷹場内武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他一名
御鷹場御吟味役高本常助様宛

乍恐以書付奉願上候(猪・鹿多く田畑荒らすにつき
追散御免願い) 天保五年一月 廻り田村名主太郎
右衛門他六ヶ村名主 立川御陣屋御見廻り衆中様宛

一通

先五

覚(御鷹方人足賃錢受取証) 嘉永三・四年
立川村陣屋守長兵衛 高木村御役人衆中様ほか宛

四通

二五三

尾州様人足印鑑 後ヶ谷村分
酉一月一・二日 包紙共

二通

三〇〇

(御鷹泊り申付状) 子十一月一三日
館村詰所御鳥見 宅部村勘左衛門殿宛

一通

三三三

(人足八人勘左衛門方へ寄せ置状) 二月二六日
廻り田村御鷹見 宅部村名主中宛

一通

三六三

覚(廻り田陣屋へ出頭書) 九月六日 廻り田御鳥見
後ヶ谷村勘左衛門殿宛

一通

三六七

地頭・先納金

知行所目録 控 正徳二年二月二九日 浅井七平
安藤右京亮殿他一名宛

一通

八五

預り申金子之事(御地頭様御用につき)
正徳三年十一月 堀口村組頭平右衛門他四名 宅部
村左右衛門殿宛

一通

六

預り申金子之事(御地頭様御用につき)
正徳四年七月一〇日 堀口村名主左衛門他二名
宅部村左右衛門殿宛

一通

六

預り申金子之事(御地頭様御用につき)
正徳四年一〇月 堀口村組頭預り主四郎右衛門 宅
部村左右衛門殿宛

一通 九六

先納金利勘定合覚書 天明八年一二月

縦帳

一通 五五四

乍恐以書付奉願上候(最寄り村々の地頭姓名書上)
寛政一〇年六月 後ヶ谷村名主勘左衛門

縦帳

一冊 三三五

乍恐以書付奉願上候(地頭所下知として彦兵衛等諸
書物帳面類持去りにつき相糺し願書) 文政一年九
月二五日 武州多摩郡清水新田清左衛門女房ゆり・
組頭源右衛門 大岡源右衛門様御役所宛

一通 七〇〇

差上申御請証文之事(金十兩の先納金上納請証文)
天保七年一〇月九日 清水村百姓代伝右衛門代兼伊
左衛門他七名 御地頭所様御役人中様宛

一通 〇二九

差上申一札之事(先納金上納請証文) 天保七年一
〇月九日 清水村百姓代伝右衛門代伊左衛門他七
名 御地頭所様御役人中様宛

一通 〇三〇

差出申一札之事(先納金につき村役人方覚取極一札)
天保七年一〇月 清水村百姓代伝右衛門他三名
後ヶ谷村勘左衛門様他二名宛

一通 〇三五

乍恐以書付御請奉申上候(地頭所へ対し冥加金上
納につき請書控) 天保七年一〇月 清水村田持惣
代庄兵衛他四名 御地頭所様御役人中様宛

一通 〇三六

乍恐以書付奉願上候(清水村田方不作につき傘連判
状にての年貢引方願い) 天保七年一〇月
幸七他三七名 御地頭所様御役人衆中様宛

一通 〇三七

申渡御下知書之写(不作につき検見取り申渡書)
天保七年一〇月 地頭所大和田新平 清水村名主次
右衛門他三名宛

一通 〇二八

一札之事(清水村不作一件御下知書預り証文下書)
天保七年一〇月 預り主与頭定右衛門他三名
名主代次右衛門殿宛

一通 〇二九

差出申一札之事(御下知書預り証文)

天保七年一〇月 清水村与頭惣代定右衛門他三名
太郎右衛門殿他二名宛

一通 二〇〇

御地頭所差上候写 亥四月
武州多摩郡高木村名主金左衛門

縦帳 一冊 二八八

書状(先納金納入催促状) 一〇月一六日

浅井小右衛門内大和田新平
勘左衛門様・半次郎様・太郎右衛門様宛 包紙共

一通 二五三

書状(先納金不納につき代官所へ通知する旨の書状)

一月五日 浅井小右衛門内大和田新平
後ヶ谷村名主勘左衛門殿・廻り田村名主太郎右衛門
殿・同組頭半次郎殿宛 包紙共

一通 二五三

八王子千人同心

山本大膳様仮免状并八王子千人同心衆扶持方納
御割符 天保7年 武州多摩郡後ヶ谷村宛 包紙
共

一通 二〇四

八王子千人扶持方買納代請取并取立候米私書付

天保八年二月二日 多摩郡後ヶ谷村宛 包紙共

五通 二〇四

覚(八王子千人同心扶持方手形) 丑五年二月

早川八郎左衛門手附山崎新五郎 武州多摩郡後ヶ谷
村役人中宛

一通 三三七

覚(八王子千人同心扶持方手形) 巳一〇月二〇日

浅岡彦四郎・榊原小兵衛役所 武州多摩郡後ヶ谷村
役人中宛

一通 三三五

乍恐以書付奉願上候(八王子千人同心衆御扶持方置

奈につき) 巳二月一八日 後ヶ谷村・藏敷村・
奈良橋村三ヶ村役人惣代後ヶ谷村名主勘左衛門
山本大膳様御役所宛

一通 二五五

農兵

農兵御取建三付別段御内意書取写 文久三年一
月 武州多摩郡後ヶ谷村名主杉本平重郎控

縦帳 一冊 二四四

農兵御取立御趣意書写 文久三年一月
後ヶ谷村名主杉本平重郎藏

縦帳 一冊 二四五

千八百六十一式ミニ二銃生兵教練号令詞 第一部
乃至第三部 元治一年一月吉日写 内野恒吉修文

小型
半横帳 一冊 二五三

農兵御取建三付御支配所村々献金書上帳

縦帳 一冊 二五四

元治二年一月 藏敷分外拾ヶ村杉本氏控

縦帳 一冊 二五六

元治二丑三月改村高家数
藏敷分外拾ヶ村杉本氏控

縦帳 一冊 二五七

農兵人江規則書 写 慶応一年六月一五日
申渡書

縦帳 一冊 二五八

農兵献金三付御褒美銀割渡請印帳 慶応一年六月
後ヶ谷村名主平重郎

縦帳 一冊 二五九

(農兵世話役第二等御印鑑) 慶応二年六月二二日
後ヶ谷村勘左衛門宛 包紙共

一通 三〇三

農兵世話役御印鑑 志枚(覚書共)
慶応二年六月二二日 藏敷分組合後ヶ谷村平十郎宛
包紙共 平重郎林志分

一通 三〇四

賃銭帳(添付文書有り) 慶応三年七月 藏鋪組合

半横帳 一冊 二五八

高島流砲術号令目録 慶応三年六月八日
千代田城西屯倉館 武城西狭山谷杉本宜智

半横帳 一冊 二五九

乍恐以書付奉願上候(農兵江戸詰之儀御免願い)
慶応三年二月二四日 武州多摩郡藏敷組合惣代野
口村名主勘左衛門・後ヶ谷村彦四郎 江川太郎左衛
門様御役所宛

一通 二五三

乍恐以書付奉願上候 (農兵御府内警衛御免願書) 慶応三年二月二七日 武州多摩郡藏敷組合惣代野 口村名主勘左衛門他二名 江川太郎左衛門様御役所 宛	一通	二六九
乍惶以書附奉申上候 (農兵鉄砲引続き拝借願い) (明治五年) 壬申一月 老ノ区副戸長小川弥一郎他 三名 元菲山県御役所宛	一綴	一七四
記 (農兵鉄砲御改につき区戸長神奈川県庁へ出頭の費 用受取証) 明治八年二月二八日 拾小区内野左 衛門 区長下田半兵衛殿宛 包紙共	二通	三〇三
覚 (農兵御入用献金御請取) 子二月・丑二月 江川太郎左衛門役所根本慎藏他四名 後ヶ谷村宛 (包紙共)	二通	二五九
隊伍組立其外規則書 後ヶ谷村	一冊	一五〇
(藤沢組農兵惣代名前書)	一通	三九
縦帳		
(武蔵野野錢入会秣場論争につき評定所への出頭 令) 貞享三年五月二六日 和泉・ほうき・びせん・ 安房・ひだ・淡路・内紀・安芸 (写)	一通	三
(野錢入会の訴訟判決文写) 貞享四年三月吉日 仙泉・彦伯著・大備前・北安房他四名	一通	二六一
入置申手形之事 (武蔵野野錢につき取りきめ証文) 元禄四年八月一日 久兵衛他三八名 名主李右衛門殿・李左衛門・十兵衛殿宛	一通	四
武蔵野境裁許状 元禄四年二月一四日 稲伊賀守判他六名	一通	五
(武蔵野新田境証文) 宝永六年三月二〇日 名主佐次兵衛他九名 李右衛門殿他二名宛	一通	三
乍恐以書付御訴訟申上候事 (新田取上げにつき訴 状) 正徳三年二月 武州多摩郡後ヶ谷村左次兵 衛訴訟人後家他一名 比企長左衛門様御役所宛	一通	五
乍恐書付ヲ以御訴訟申上候御事 (新田取上げにつ き訴状) 正徳三年二月 比企長左衛門御代官所武 州多摩郡後ヶ谷村左次兵衛弟左五兵衛他一名 御奉 行所様宛	一通	五
乍恐以返答書御訴訟申上候 (孫兵衛山・墓山取上 げにつき) 享保二年八月 訴訟人半十郎他二名 御奉行所様宛	一通	一〇六
(弥兵衛山及墓山取上げられるにつき名主等四人 の者召出し詮議方訴状) 享保二年八月 訴訟人佐五兵衛 前後欠	一通	一〇七
乍恐書付を以御訴訟申上候 (北野村・打越村村境 出入につき) 宝暦六年二月 願人北野村百姓長左 衛門 御奉行所宛	一通	二六一
北野村村境出入ニ付扱人諸人用帳 打越村村境出入ニ付扱人諸人用帳 宝暦六年三月二七日 与市他一名	一冊	二六三
横帳		
差上申濟口証文之事 (北野村・打越村村境出入一件) 宝暦六年四月 願人小林平左衛門知行所武州入間郡 北野村百姓長左衛門他一〇名 御評定所様他四方宛 控	一通	二六四
入置申一札之事 (大沼田新田水論出訴一件) 安永五年一月 大沼田新田名主弥十郎他二名 宅部村勘左衛門殿宛	一通	二五五
乍恐以書付願上候 (貸金滞出入関係) 寛政一年閏六月二日 訴訟人飯塚常之丞御代官所 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門 御奉行所様宛	一冊	二〇七
横帳		
一札之事 (貸金滞出入の訴状など) 寛政一年六月 飯塚常之丞御代官所武州多摩郡後ヶ谷村訴訟人勘左 衛門 御奉行所様宛	四通	二六三

乍恐以書付奉願上候（貸金滯出入証文の名前書替願
い）寛政七年五月 野田文藏御代官所武州多摩郡野
口村名主勇之助代兵右衛門 御奉行所様宛

（御奉行所への歎願書の控）文化二年六月
武州多摩郡・入間郡の内廻り田村外一四ヶ村

縦帳

一通 六五
一冊 六六

訴状（名主交代に際し文書等強奪並びに山林伐払不法
狼藉につき）文政二年二月 訴訟人武州多摩郡
清水村先名主清左衛門孫泰藏幼年三付代父茂十郎
川井越前守様御役人中様・御地頭所様御役人中様宛

乍恐以書付奉願上候（名寄帳畝歩附筆数等相違一件
落着につき勘左衛門掃村願 写）
文政三年二月一八日 淺井吉太郎知行所武州多摩
郡清水村村役人惣代治右衛門他四名 御奉行所様宛
清水村御料所持添新田分

一通 七四

乍恐以書付奉願上候（名寄帳畝歩附筆数等相違一件
落着につき勘左衛門掃村願 下書）文政三年一二月
淺井吉太郎知行所武州多摩郡清水村村役人惣代名主
次右衛門他四名 御奉行所様宛

一通 七五

乍恐以書付奉願上候（糸川村百姓勘左衛門養子弥助
より実家清左衛門宅不法の扱いにつき実母駕筆訴の
始末願書）（天保二年）寅十一月二十五日 武州多
摩郡糸川村百姓勘左衛門養子弥助 大岡源右衛門様
御役所宛

一通 七六

乍恐以書付御訴訟奉申上候（替女仲間への陰陽家
よりの不法行為につき訴訟願い）天保二年六月
訴訟人松平右京亮領分武州新座郡大和田町百姓孫八
後家ふで方同居同人伯母替女くめ煩二付代兼同人養
女替女かつ・差添人名主五郎兵衛 御奉行所様宛

一通 七八

差上申済口証文之事（質地取戻し出入一件内済）
天保七年五月 武州多摩郡廻り田村訴訟人百姓淺右
衛門他一名・相手同村百姓八右衛門煩二付兄利兵衛
他一名並びに七ヶ村名主代兼扱人廻り田村名主太郎
右衛門 山本大膳様御役所宛

一通 一〇八

乍恐以書付奉願上候（南秋津村左内、陰陽家より許
状職札申請につき人別帳へ苗字国名記載要求につき
紛糾一件願書）天保七年五月
南秋津村与頭利右衛門煩二付代兼与頭与五右衛門他
二名 御奉行所様宛

一通 二五八

（清水村小前百姓田方用捨引につき騒立一件申上
書）天保七年二月 廻り田村名主太郎右衛門・
後ヶ谷村名主勘左衛門 淺井小右衛門様御役人中様
宛

一通 二五九

取為替儀定一札之事（夫錢の儀出訴一件扱人立入内
済につき）天保一〇年二月三日
後ヶ谷村廿七人惣代名主新左衛門他一名・扱人高木
村名主金左衛門他五ヶ村七名 右後ヶ谷村名主平十
郎殿宛

一通 二六〇

乍恐以書付奉願上候（夫錢出入申立書御下け願い
下書）天保一〇年二月五日 武州多摩郡後ヶ谷村
新左衛門組小前二十七人惣代名主新左衛門他四名
山本大膳様御役所宛

一通 二六一

乍恐以書付奉願上候（年貢不納につき訴届 写）
天保一〇年二月二日 清水村持添同村新田名主
彦三郎煩二付代親治右衛門他一名 山本大膳様御役
所宛

一通 二六二

乍恐以書付奉申上候（御年貢不納訴訟につき控）
天保一一年一月一八日 後ヶ谷村名主平重郎 山本
大膳様御役所宛

一通 二六三

一札之事（年貢不納出入一件調査不行届、心得違に
つき出府諸入用差出し証文）
天保一一年一月二六日 清水村名主彦三郎親治右衛
門他一名 後ヶ谷村平重郎殿宛

一通 二六四

御年貢不納一件日記録 天保一一年一月二六日
後ヶ谷村名主平重郎（包紙・袋共）

縦帳 一冊 二六五

乍恐以書付奉願上候（御年貢不納一件御吟味御下げ願い）天保一年一月二六日 武州多摩郡清水村名主彦三郎煩ニ付代親次右衛門他二名 山本大膳様御役所宛

乍恐以書付奉申上候（出訴につき添簡取用い願い）天保二年二月二八日 武州多摩郡後ヶ谷村組頭武右衛門 山本大膳様御役所宛

乍恐以書付御訴訟奉申上候（御用向差支につき後三郎差纏一件御吟味願い）天保二年一月二八日 訴訟人武州多摩郡後ヶ谷村名主平十郎 山本大膳様御役所宛

長瀬村穢多一件御裁許状写 弘化二年四月五日 杉本氏庫之内

乍恐以返答書奉申上候（跡式相統出入一件）嘉永六年四月 江川太郎左衛門御代官所武州多摩郡廻り田村名主龜八後見同人親九兵衛煩ニ付代兼右返答人龜八・同重兵衛 御評定所宛

差上申濟口証文之事（小川村百姓増吉後家つな他一名に係る借金引当品々一件訴訟内済証文）

安政四年八月二日 訴訟方武州入間郡所沢村百姓伝右衛門・相手同州多摩郡小川村百姓増吉後家つな煩ニ付代兼佐五右衛門・扱人後ヶ谷村名主後見平重郎他差添人二名 江川太郎左衛門様御役所宛

野州野尻村芝居一件御裁許状（杉本平重郎写之）安政六年九月 杉本屯倉館庫

乍恐以書付奉御訴訟奉申上候（売掛出入訴状 控）安政七年二月 訴訟人井伊掃部頭領分江州蒲生郡平

林村百姓喜左衛門事長兵衛煩ニ付代召仕忠右衛門相手江川太郎左衛門様御代官所武州多摩郡後ヶ谷村武左衛門死失跡相統人倅組頭友二郎事武兵衛宛

奈良橋村 芋久保村 密通一件之書 安政七年三月 武州多摩郡後ヶ谷村杉本平重郎控

一通 二九三

一通 三〇八

一通 三〇九

一冊 二七五

一通 三六一

一通 三四五

一冊 三四三

一通 三四五

一冊 三四九

縦帳

差上申濟口証文之事（女子取戻し出入一件、扱人立入懸合熟談内済につき証文）万延一年一月 訴訟人江川太郎左衛門御代官所武州多摩郡高木村百姓

清兵衛煩ニ付代兼倅万五郎・相手浅井武次郎知行所同州同郡清水村百姓仙藏倅善吉煩ニ付代兼右仙藏他三名・扱人後ヶ谷村名主平十郎 御評定所宛

乍恐以書付御訴訟奉申上候（女取戻し出入一件訴状）万延一年一月 訴訟人江川太郎左衛門御代官所武州多摩郡高木村百姓清兵衛煩ニ付代兼倅万五郎 御奉行所様宛

出湊中諸費控（悪次盗難関係）明治一三年三月四日 杉本勘左衛門控

御喚出願（貸金催促勸解事件ニ付）明治一九年九月一〇日 北多摩郡高木村尾崎倉吉

八王子治安裁判所判事補金井保寿殿宛

御喚出願（貸金催促勸解事件ニ付）明治一九年一〇月四日 北多摩郡高木村尾崎倉吉

八王子治安裁判所判事補金井保寿殿宛

（去寅御年貢皆済不都合につき宿預け仰付られるにつき書状）卯四月一七日 榎本半七郎 石井勘左衛門様宛

差紙（拝借金不納ニ付）辰二月一五日 早川八郎左衛門役所 武州多摩郡後ヶ谷村勘左衛門宛 包紙共

書状（小前清右衛門より長三郎への不法出入等一件）巳三月二日 真野俊夫太 石井勘左衛門様宛

乍恐以書付奉願上候（所沢村出入一件につき日延並びに一時帰村願書 控）巳七月二三日 武州多摩郡小川村増吉後家つな代佐五右衛門煩ニ付代兼勇右衛門他四名 江川太郎左衛門様御役所宛

繪図御裏書之覚（野境論につき）

一通 二四五

一通 二四五

一冊 一九〇

一通 二〇三

一通 二〇四

一通 二二〇

一通 二五五

一通 二八五

一通 三九二

一通 四八

横帳

御用菜種

乍恐以書付奉願上候 (菜種所持の者御座無く候の届書) 天保四年六月 後ヶ谷村名主勘左衛門 山本大膳様御役所宛	一通	二七三
乍恐以書附奉願上候 (菜種所持の儀につき地味不相応等の願書) (天保六年) 未三月一三日 武州多摩郡後ヶ谷村・藏敷分・奈良橋村三ヶ村惣代高木村名主金左衛門 山本大膳様御役所宛	一通	九九
御用菜種組合村々其外石高控帳 天保六年八月三日	縦帳	一冊 九三
御用菜種御請証文 天保六年八月 武州多摩郡後ヶ谷村百姓小平次他四名 名主勘左衛門・名主新左衛門宛	縦帳	一冊 九三
御用菜種出穀高小前請印帳 天保六年八月 後ヶ谷村	縦帳	一冊 九五
乍恐以書付奉願上候 (菜種作付御免願書) 天保六年一〇月 十ヶ村惣代後ヶ谷村名主勘左衛門他一名 山本大膳様御役所宛	一通	二五八
菜種一件諸入用割合取違帳 天保六年一〇月 名主勘左衛門	横帳	一冊 九六
菜種蒔附反別書上帳 天保六年一〇月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 九七
菜種蒔附反別書上帳 天保六年一〇月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 九八
菜種蒔附反別書上帳 天保六年一〇月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 九八
乍恐以書付奉願上候 (御用菜種不作の為出穀高減少につき麦作仕付願い) 天保六年一〇月 武州多摩郡中藤村外拾六ヶ村惣代中藤村名主佐兵衛他二名 山本大膳様御役所宛	一通	九三

警備

請取申永之事 (牢屋修復入用金) 宝曆一年二月 石塚平治 後ヶ谷村宛	一通	二六三
乍恐以書付御訴奉申上候 (盜賊忍び入りにつき) 天明二年七月四日 多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他一名 飯塚伊兵衛様御役所宛	一通	五八
乍恐以書付御訴奉申上候 (盜難衣類被害届書) 天保四年八月 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門 山本大膳様御役所宛	一通	四三
(質屋渡世心得 御請連印帳 前欠) 天保一五年一月一六日	縦帳	一冊 二五三
差上申一札之事 (火元平十郎入寺御免復旧御請証文) 弘化三年二月三日 武州多摩郡後ヶ谷村	一通	三七〇
乍恐以書付奉申上候 (後三郎乱心の為圈入のところ 圈破り逃去につき届書) 嘉永三年一月三日 武州多摩郡後ヶ谷村名主彦四郎他一名 江川太郎左衛門様御役所宛	一通	二四〇
乍恐以書付奉申上候 (後三郎乱心一件 下書) 嘉永三年一月四日 後ヶ谷村名主彦四郎他一名 江川太郎左衛門様御役所宛	一通	二五八
(外国船渡来以降の情勢についての覚書) 嘉永六年	一通	二四九
(村方百姓並びにその娘病死一件葬式拒否の始末 御吟味につき呼出状) (安政四年) 三月一九日 江川太郎左衛門役所 小川村小川寺港玄・文右衛門・源右衛門・重兵衛他親類・組合・村役人宛	一通	一四八
入置申一札之事 (村方百姓並びにその娘癩病の風聞 につき病死後飯埋たりとも不許可申立書) 安政四年三月 式番惣代銀藏他六名 菩提寺小川寺様宛	一通	一四七

入置申一札之事(遊歩行不身持証証文) 安政四年三月 当人彦四郎 平重郎殿宛 包紙共 一通 二四七

乍恐以書付奉願上候(百姓親娘葬式拒否一件熟談内濟につき御吟味御下げ切願い連印状 控) 安政四年四月一日 武州多摩郡小川村願人百姓熊右衛門他七名 江川太郎左衛門様御役所宛 一通 二四〇

乍恐以書付奉申上候(新規警備取立御免願い) 慶応三年二月二七日 藏敷組合役人惣代野口村名主勤左衛門他二名 江川太郎左衛門様御役所宛 一通 二六〇

以書付御届申上候(出火届百姓忠左衛門分) 明治三年六月二日 武州多摩郡後ヶ谷村村役人惣代名主勤左衛門 組合惣代藏敷村名主李左衛門殿宛 一通 二七八

(巡邏屯所設置の願書) 明治五年一月 一綴 二七九

(町田鐘吉逃亡届他綴) 明治七年八月 一綴 二八〇

(火難・盜難等届書綴) 明治七、八年 一綴 二八〇

(悪灰盜難事件関係文書綴) 明治一三年三月一二日 一綴 二九八

(盜難品についての廻達文) 明治一七年八月一九日 質屋取締内野李左衛門 奈良橋村鎌田藤九郎殿宛 一冊 二九七

覚(出火見分止宿代覚) 午二月六日 江川太郎左衛門手代野田三郎助 武州多摩郡後ヶ谷村役人中宛 一通 三三五

(村内不取締なきようの書状) 二六日早朝 真野後夫太 杉本勤左衛門様宛 一通 二六九

乍恐以書付奉歎願候(名主留守中花火拵え打揚一件につき 中欠) 殿ヶ谷村名主庄三郎他四名 江川太郎左衛門様御手附細野久藏様宛 一通 三〇六

(捕え道具の絵図) 一通 二五五

取締組合

取締組合 取替証文之事(組合村議定書 控) 明和八年五月 多摩郡奈良橋村名主勤兵衛他八名 後ヶ谷村勤左衛門殿宛 一通 四九

(御取締御改革ニ付御請証文写 議定書上連印帳) 文政一〇年九月一七日 百姓代勤兵衛他四名連印・他四名爪印 縦帳 一冊 八六

組合村々取締方其外議定連印書附 文政一〇年 多摩郡後ヶ谷村名主勤左衛門 縦帳 一冊 八六

差上申一札之事(農間商人御改につき書上げ 後ヶ谷村分) 文政一〇年 平岩右膳支配所武藏国多摩郡後ヶ谷村名主勤左衛門他三名 関東向御取締御出役山田茂左衛門様御手附吉田左五郎殿他三名宛 縦帳 一冊 八六

覚(農間商諸職人御改につき書上げ 藏敷村分) 文政一〇年 平岩右膳支配所藏敷村名主李左衛門他二名 関東向御取締御出役山田茂左衛門様御手附吉田左五郎殿他三名宛 一綴 八六

覚(農間商人御改につき書上げ 芋久保村分) 文政一〇年 中村八太夫支配所入会武藏国多摩郡芋久保村名主七郎左衛門他五名 関東向御取締御出役山田茂左衛門様御手附吉田左五郎殿他三名宛 一綴 八六

覚(農間渡世御改につき書上げ 後ヶ谷村分) 文政一〇年 下書 縦帳 一冊 八六

覚(農間渡世御改につき 清水村分) 文政一〇年 浅井吉太郎知行所清水村名主市郎右衛門他三名 関東向御取締御出役山田茂左衛門様御手附吉田左五郎殿他三名宛 縦帳 一冊 八六

覚(農間渡世御改につき書上げ 宅部村) 文政一〇年 宅部村名主市左衛門他二名 縦帳 一冊 八六

覚（農間渡世御改につき書上げ 廻り田村） 文政一〇年 中村八太夫支配所・平岩右膳支配所・ 中川將監知行所入会廻り田村名主太郎右衛門・名主 九兵衛他四名 関東向御取締御出役山田茂左衛門様 御手附吉田左五郎殿他三名宛	縦帳 一冊 六六
覚（農間渡世御改につき書上げ 奈良橋村） 文政一〇年 平岩右膳支配所武蔵国多摩郡奈良橋村 名主長吉他二名 関東向御取締御出役山田茂左衛門 様御手附吉田左五郎殿他三名宛	縦帳 一冊 六六
組合村々取締方其外議定連印書附 文政一〇年 組合村々取締方其外議定連印書付 文政一〇年 後ヶ谷村	縦帳 一冊 六七
差上申御請証文之事（若もの共仲間取締方議定連印 帳）文政一一年五月 武州多摩郡後ヶ谷村百姓代 勘兵衛他四四名	縦帳 一冊 六八
草案（農間渡世御札につき書付）文政一二年三月 後ヶ谷村	縦帳 一冊 六八
古鉄買渡世者名前前書上帳写 天保四年六月 （六月一九日付新左衛門より勘左衛門宛の関連書状 一通有り）	縦帳 一冊 六九
御請連判一札（組合村々取締箇条書） 天保四年二月 組頭武右衛門他一六名 名主勘左 衛門殿宛	縦帳 一冊 六九
（青梅組合他四組合大惣代名主連名にて凶作飢饉 につき困米の取締並びに酒造米減石等願ひ 前欠）天保四年二月一日 駒木野村名主卯兵衛 他一〇ヶ村名主 関東向御取締吉田左五郎様他三名 宛	一通 九四
御請連判帳（小組合議定書） 天保七年七月二八日 多摩郡後ヶ谷村百姓市郎左衛門他二名連判 名主勘左衛門殿・新左衛門殿宛	縦帳 一冊 一〇〇
所沢村江村々々出金高帳（控） 天保七年八月 後ヶ谷村名主勘左衛門	横帳 一冊 一〇四
差上申御請書之事（悪党ども差押の際圈に入置番人 の人数等手輕に済ますよう取締役より組合親村へ申 論の請書 下書） 天保八年二月	一通 一〇六
組合村々議定請書 天保八年三月	縦帳 一冊 一〇七
乍恐以書付奉願上候（大病・困窮につき小組惣代退 役並びに後役願ひ） 江川太郎左衛門御代官所武州 多摩郡後ヶ谷村小惣代退役願人名主平重郎・中川平 四郎知行所同州同郡藏敷分小惣代跡役願人全左衛門 村々提灯代其外割合帳并惣代入用割 文久一年一月二二日 後ヶ谷村組合	横帳 一冊 一〇七
儀定書（小川村寄場親村としての取極め書） 明治三年三月 小川村外九ヶ村組合	縦帳 一冊 一〇九
（組合村会合につき出席依頼の回状） 丑四月二二日 所沢名主助右衛門	一通 一一〇
（組合村集会につき廻状）二月一七日 杉本平重郎他三名 野口村鈴木勘左衛門様他五名宛 （組合村集会開催その他回状）五月二三日 後ヶ谷村名主勘左衛門 宅部村他四ヶ村宛	一通 一一四
差上申御請証文之事（若者仲ヶ間御法度につき組合 連印請証文 控） 山田茂左衛門御手附吉田左五郎 殿他三名宛	一綴 一一三
その他	
薩州分限帳 文化三寅歳十一月書上写 文化三年二月（表紙あり）	横帳 一冊 一六六
薩州分限帳 文化三寅歳十一月書上写 文化三年二月（表紙なし）	横帳 一冊 一六七

(徳川將軍家より朝廷への御増貢米)
元治一年四月十九日 慶喜他四名

(朝廷における勤務の書上げ) 慶応四年四月

縦帳 一冊 二六四
縦帳 一冊 二六五

土地・用水

郷村高帳

(越石書付) 享保二〇年

石高帳 後ヶ谷表分 宝曆三年一月

差上申一札之事(後ヶ谷村及び同村古新田の高書上)
明和五年一〇月 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門
他一名 廻り田村御鳥見様宛

石高帳 南分 戊十一月改 安永七年十一月

石高帳 天明八年二月

村高書上帳 天保三年二月 武州多摩郡後ヶ谷村

武州多摩郡内堀村高帳 天保三年三月 常覚院

武州多摩郡内堀村高帳 天保三年 常覚院

石高帳 天保九年三月 後ヶ谷村名主平重郎

御除地高反別取調書上帳 明治二年三月

武州多摩郡後ヶ谷村

武州多摩郡奈良橋村高帳 明治二年六月

武蔵国多摩郡之内御除地 取調帳

明治四年一月五日 武蔵国多摩郡小川村組合

武蔵国多摩郡之御見捨地取調帳 明治四年二月

武蔵国多摩郡後ヶ谷村 入会

円乘院除地見捨地御取調ニ付書上候控 明治五年

六月 後ヶ谷村

横帳 一通 三八
縦帳 一冊 二七三
一通 三四
縦帳 一冊 四六
縦帳 一冊 五五
縦帳 一冊 九三
縦帳 一冊 九六
縦帳 一冊 一三三
縦帳 一冊 一五〇
縦帳 一冊 一五五
縦帳 一冊 一七三
縦帳 一冊 一七四
縦帳 一冊 一七六

武蔵国多摩郡後ヶ谷村石高帳 旧名主杉本勘左衛門	明治五年二月改	横帳	一冊	一八二
区中組々石高記 ヶ谷村杉本勘左衛門控	明治六年五月 第十一区十番組後	縦帳	一冊	一八九
(武蔵国郷村高書上げ) 前欠		折本	一冊	二四五
新田開発				
乍恐以書付奉願候(芝地開発願い) 後ヶ谷村名主左衛門他四名 岩手藤左衛門様御役所宛	享保九年五月		一通	二五
乍恐以書付奉願上候(芝山五町歩程無役地につき 相応の御取箇仰付られたく願書) 享保一〇年一〇月 後ヶ谷村名主左衛門他七名 岩手藤左衛門様御役所宛			一通	二六
武蔵野開発請取覚 後ヶ谷長左衛門	享保一二年七月二六日		一通	二五六
武蔵野開発証文之事 組頭金左衛門他一名 勘左衛門殿宛	享保一一年七月二八日		一通	二五七
武蔵野開発割合覚 乍恐書付ヲ以申上候(新田開発につき) 享保一四年一月 後ヶ谷村名主左衛門 岩手藤左衛門様御役所宛	享保一二年四月一六日		一通	二五九
入置申一札之事(七左衛門儀本田相捨開發地へ引越 につき) 享保一九年一月 組頭八郎右衛門他四名 名主勘左衛門殿宛			一通	二五八
入置申連判証文之事(無役地につき) 元文一年九月 後ヶ谷村名主左衛門他九名			一通	三〇〇
本新田畑高寛帳 村名主勘左衛門	元文四年九月 武州多摩郡後ヶ谷	横帳	一冊	三七
入置申証文之事(開發屋敷守誓約書) 寛保四年二月 家守利兵衛他二名 やけへ孫七殿宛			一通	三五三
入置申一札之事(田守り証文) 明和三年三月七日 大沼田新田孫兵衛他二名 勘左衛門殿宛			一通	二六三
(荻原源八郎より上坂安左衛門代官所と交替の触 書) 子七月九日 荻原源八郎 廿式ヶ村宛			一通	二六九
(開發反別の件につき呼出状) 西四月二三日 野村時右衛門新田方 大岱村ほか宛			一通	三七九
開發御年貢覚 年末詳			一通	二七七
検地帳				
(検地水帳 表題欠) 案内 次右衛門・助左衛門・ 左近 寛文九年三月二〇日 岡上次郎兵衛・近山五 左衛門		縦帳	一冊	二
武蔵国多摩郡山口領後谷村新田検地水帳 本書写 案内 次右衛門・勘左衛門・左近 寛文九年三月 岡上次郎兵衛・近山五左衛門		縦帳	一冊	三
武蔵国多摩郡山口領後垣外村新田検地水帳 本 書 案内 次右衛門・左近 寛文九年三 月 岡上次郎兵衛・近山五左衛門		縦帳	一冊	四
武州多摩郡後ヶ谷戸村新田之新畑御繩打帳 本書 山口領後ヶ谷戸村新田之新畑御繩打帳 本書 写 案内 左近・治右衛門・勘左衛門・市郎右衛門・ 庄左衛門 延宝二年八月 今井九右衛門・中川八郎 左衛門・近山五左衛門		縦帳	一冊	五
武州多摩郡後ヶ谷戸村新田之新畑御繩打帳 老番 ヨリ百五拾二番迄 案内 左近・次右衛門・勘左衛 門・市郎右衛門・庄左衛門 延宝二年八月 中川八 郎左衛門・近山五左衛門・今井九右衛門		縦帳	一冊	六

武州多摩郡
芝山山口領後谷村新田之新畑御繩打帳
延宝二年八月
縦帳 一冊 七

武州多摩郡山口領後ヶ谷村已御繩打帳 式冊之内
案内 勘左衛門・次右衛門・庄左衛門・文右衛門・
重兵衛・九左衛門 延宝五年三月 設楽孫兵衛・今
井九右衛門
縦帳 一冊 八

武州多摩郡山口領後ヶ谷村已御繩打帳 式冊之内
案内 次右衛門・勘左衛門・庄左衛門・文右衛門・
十兵衛・九左衛門 延宝五年三月 設楽孫兵衛・今
井九右衛門
縦帳 一冊 九

武州多摩郡山口領後ヶ谷村已御繩打帳 式冊之内
案内 勘左衛門・次右衛門・庄左衛門・文右衛門・
十兵衛・九左衛門 延宝五年三月 設楽孫兵衛・今
井九右衛門
縦帳 一冊 一〇

武州多摩郡山口領後ヶ谷村御繩打帳 式冊之内
案内 次右衛門・勘左衛門・庄左衛門・文右衛門・
十兵衛・九左衛門 延宝五年三月 設楽孫兵衛・今
井九右衛門
縦帳 一冊 一一

武州多摩郡山口領後谷村已御繩打帳
延宝五年三月吉日
横帳 一冊 一三

武州山口領後ヶ谷村新田辰ノ改帳 (写)
貞享五年六月二七日
縦帳 一冊 一四

後ヶ谷村新田畑林 芝地改帳 案内 李右衛門・李左衛
門・左近・十兵衛他一名 元禄三年三月 細井九左
衛門手代土屋惣兵衛他一名
縦帳 一冊 一七

後ヶ谷村新田畑林 芝地改帳 案内 李右衛門他四名
元禄三年三月 細井九左衛門手代外塚清助・土屋与
惣兵衛
縦帳 一冊 一五

検地之節高請不致百姓門・堀・庇御停止家作御
請惣百姓連判書上帳 (雛形) 明和一年七月二七
日 多摩郡後ヶ谷村
縦帳 一冊 一四

一札之事 (御水帳等平重郎殿方にて所持の一札)
天保二一年三月 名主後三郎 名主平重郎殿宛
(検地実施年代並びに田畑反別・石盛等書上げ)
(検地実施年代水帳書上げ) 後ヶ谷村
一綴 一四

名寄帳 享保一六年二月
縦帳 一冊 一五

覚 (名寄書抜帳) 享保二〇年三月 名主李右衛門
名寄帳 享保二〇年三月 武州多摩郡後ヶ谷村名主
李右衛門他一六名
横帳 一冊 一三

清左衛門持新田分見面反別名寄 十一月新改
文政三年一月 (御地頭所御不法故古帳紛失三付)
縦帳 一冊 一七

田方反別名寄帳 天保七年一月
後ヶ谷村名主勘左衛門
縦帳 一冊 一〇

田方反別名寄帳 天保七年一月
後ヶ谷村名主勘左衛門
縦帳 一冊 一〇

田方反別名寄帳 天保八年三月吉日 後ヶ谷村
畑方反別名寄帳 天保八年三月
武蔵国多摩郡後ヶ谷村
縦帳 一冊 一七

(名寄帳) 天保九年二月 名主平重郎他三名
(享保年中名寄帳文字見分兼につき書替)
畑方反別名寄帳 明治五年八月
後ヶ谷村名主杉本勘左衛門
縦帳 一冊 一七

田方反別名寄帳 後ヶ谷村名主杉本勘左衛門	明治五年八月	縦帳	一冊	一五
新田分反別名寄帳 名主杉本勘左衛門	明治五年八月	縦帳	一冊	一五二
(名寄帳筆数相違一件落着につき御下げ願いの下書)				
反別帳			一通	〇二
未年覚 (御割渡請取改反別) 清水村 享保一四年一月 武州多摩郡清水村名主清助他二名 荻原源八郎様他一名宛			一通	三二四
武州多摩郡後ヶ谷村山反別帳	元文三年	縦帳	一冊	三五
武州多摩郡後ヶ谷村山反別帳	元文三年	縦帳	一冊	三六
小物成百姓持山小前帳控 後ヶ谷村名主・組頭	延享二年一〇月	縦帳	一冊	二四八
御改新屋鋪小前書上帳控 後ヶ谷村名主・組頭	延享二年一〇月	縦帳	一冊	二四九
新屋敷反歩御改小前帳 後ヶ谷村名主孫七他六名	延享二年一二月	縦帳	一冊	二五〇
屋鋪并畑方反取書上帳 多摩郡後ヶ谷村	安永八年二月	縦帳	一冊	四三
清水村分反別帳 五十嵐清左衛門	寛政四年三月 杉本勘左衛門殿宛	縦帳	一冊	六五
反別并取米永改帳 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門	天保四年九月	縦帳	一冊	九四
清水村分田畑反別帳	天保五年三月	縦帳	一冊	九六
田畑反取書上帳控 武州多摩郡後ヶ谷村	天保六年八月	縦帳	一冊	九七
小物成反別帳	天保九年二月吉日 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二二五
新田畑反別帳	天保九年二月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二二六
小物成反別帳 多摩郡後ヶ谷村名主平重郎	天保九年二月	縦帳	一冊	二二七
田畑反取書上帳 武州多摩郡後ヶ谷村	天保一四年八月	縦帳	一冊	三二五
田畑成反別小前帳 武州多摩郡後ヶ谷村	天保一四年九月	横帳	一冊	三四九
田畑成反別小前帳	天保一四年九月 後ヶ谷村	横帳	一冊	三五〇
出石高反別帳	明治五年八月 名主杉本勘左衛門	縦帳	一冊	一七九〇
高反別其外取調書上帳 第五拾区多摩郡後ヶ谷村	(下書) 明治五年一〇月	縦帳	一冊	一七九三
畑田成反別帳 第五拾区多摩郡後ヶ谷村	明治五年一二月	縦帳	一冊	一七九〇
畑田成反別取調書上帳 第拾壹区拾番組後ヶ谷村	明治六年六月	縦帳	一冊	一七八
畑田成反別小前帳 第拾壹区拾番組後ヶ谷村	明治六年六月	縦帳	一冊	一八六
反別並米永括帳 十一大区十小区後ヶ谷村用係り杉本勘左衛門	明治七年八月改 神奈川県下第	横帳	一冊	一八四
覚 (畑成并諸入用共受取) 下南畑村名主弥市 後ヶ谷村御役人中宛	亥一二月三〇日	一通	一通	九四
武州多摩郡後ヶ谷村 (亥年田方引畝書付) 亥一二月 渡部久平他一名 右村名主・組頭・百姓 中宛 (包紙 上坂安左衛門飯免定役所 後ヶ谷村)		一通	一通	四三
高反別其外取調書上帳 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	心得書	縦帳	一冊	一九〇

入会

乍恐以書付御訴訟奉申上候（御領私領入会につき
届書）享和三年四月 廻り田新田百姓代忠兵衛他
三名 早川八郎左衛門様御役所宛

一通 六〇

後ヶ谷村
（宅部村
清水村）
入会耕地絵図） 明治五年九月 武蔵国多
摩郡後ヶ谷村元名主杉本勘左衛門他二名 神奈川県
御庁宛

絵図 一鋪 一八〇

用水・上水

入置申手形之事（用水引水につき） 宝永四年三月

浅井七平知行所名主清左衛門他二名 林甚五右衛門
様御代官所名主左衛門殿他一名宛

一通 七

入置申証文之事（玉川分水新川通船運賃について）

元文五年八月 五島屋次郎右衛門他三名 後ヶ谷村
名主中・百姓中宛

一通 三六

乍恐以書付奉願上候（玉川上水樋口取建願い） 天
明五年一〇月 多摩郡野口村願人名主勘兵衛 飯塚
常之丞様御役所宛

一通 五元

（羽村水口御検分等諸事書留帳）

安政四年四月一三日

縦帳 一冊 一四二

（自普請所高掛り三ヶ年分書上げ）

明治二・三・四年分 後ヶ谷村元名主杉本勘左衛門
神奈川県御庁宛

縦帳 一冊 一六八

武蔵国当県管下 後ヶ谷村 用水橋梁取調書
宅部村

明治四年五月 武州多摩郡 後ヶ谷村 入会
宅部村

縦帳 一冊 一七四六

武蔵国当県管下 後ヶ谷村 用水橋梁取調書
宅部村

明治四年五月 武州多摩郡 後ヶ谷村 入会
宅部村

縦帳 一冊 一七四七

入置申証文之事（玉川分水新川通船荷物の運賃につ
いて 後欠） 五島屋次郎右衛門他三名

一通 三三五

年 貢

年貢割付状

武州後ヶ谷村寅御年貢可納割付之事 延宝二年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	三〇五	天和貳戌之御成ヶ可納割付之事 天和二年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷新田庄屋・百姓宛	一通	三〇六
武州後ヶ谷村寅御年貢可納割付之事 写 延宝二年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	三〇九	天和二戌御成ヶ可納割付之事 天和二年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓宛	一通	三〇七
武州後ヶ谷村卯御成ヶ可納割付之事 延宝三年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	三〇五	天和三亥御成ヶ可納割付之事 天和三年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷新田庄屋・百姓宛	一通	三〇八
巳御成ヶ可納割付之事 延宝五年閏一二月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓宛	一通	三〇六	貞享元子之御成ヶ可納割付之事 貞享一年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓中宛	一通	三〇四
巳御成ヶ可納割付之事 延宝五年閏一二月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓宛	一通	三〇七	貞享貳丑御成ヶ可納割付之事 貞享二年一二月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓中宛	一通	三〇七
午御成ヶ可納割付之事 延宝六年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷新田庄屋・百姓宛	一通	三〇九	貞享三寅年御成箇可納割付事 後ヶ谷村 貞享三年一二月 今井九右衛門 (宛名分切れ)	一通	三〇九
未御成ヶ可納割付之事 延宝七年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷新田庄屋・百姓宛	一通	三〇九	貞享三寅御成箇可納割付之事 貞享三年一二月 今井九右衛門 後ヶ谷新田宛	一通	三〇八
未御成ヶ可納割付之事 延宝七年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓宛	一通	三〇〇	貞享四卯御成箇可納割付事 貞享四年一二月 今井九右衛門 後ヶ谷新田庄屋・百姓宛	一通	三〇九
延宝八申御成ヶ可納割付之事 延宝八年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓宛	一通	三〇二	貞享四卯御成箇可納割付事 写 貞享四年一二月 今井九右衛門 後ヶ谷新田庄屋・百姓宛	一通	三〇五
延宝八申之御成ヶ可納割付之事 延宝八年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷新田庄屋・百姓宛	一通	三〇二	貞享四卯御成箇可納割付之事 写 貞享四年一二月 今井九右衛門 後ヶ谷村庄屋・百姓宛	一通	三〇六
天和元酉之御成ヶ可納割付之事 天和一年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓中宛	一通	三〇四	武州多摩郡後ヶ谷村辰御年貢割付 元禄一年一二月 (西山)六郎兵衛 後ヶ谷村名主・惣百姓中宛	一通	三〇三
天和元酉御成ヶ可納割付之事 天和一年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷新田名主・百姓中宛	一通	三〇五			

武州多摩郡後ヶ谷新田辰御年貢割付 写 元禄一年一月 六郎兵衛 後ヶ谷新田名主・惣百姓中宛	一通	三	武州多摩郡後ヶ谷村亥御年貢可納割付 元禄八年一〇月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村辰御年貢割付 写 元禄一年一月 六郎兵衛 後ヶ谷村名主・百姓中宛	一通	三	武州多摩郡後ヶ谷村子御年貢可納割付 元禄九年二月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷新田辰御年貢割付 元禄一年一月 六郎兵衛 後ヶ谷新田名主・惣百姓中宛	一通	三	武州多摩郡後ヶ谷村寅御年貢可納割付 元禄一年一月 細 九左衛門 名主・惣百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村巳御年貢可納割付 写 元禄二年二月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	三	武州多摩郡後ヶ谷村卯御年貢可納割付 元禄二年一〇月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村巳御年貢可納割付 元禄二年二月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	三	武州多摩郡後ヶ谷村辰御年貢可納割付 元禄一三年一〇月六日 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	至
午御年貢可納賦 (元禄三年) 午四月 藤左衛門役所 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛	一通	完	可納巳御年貢割付 元禄一四年一〇月 今井九右衛門 後欠	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村午御年貢可納割付 写 元禄三年一月 細 九左衛門 名主・百姓中宛	一通	三	可納午御年貢割付 元禄一五年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	至
(年貢割付状 後ヶ谷村) 元禄三年一月 細 九左衛門 右村名主・百姓中宛 前欠	一通	五	可納未御年貢割付 元禄一六年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村未御年貢可納割付 写 元禄四年一〇月 細 九左衛門 名主・惣百姓宛	一通	三	可納申御年貢割付 宝永一年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村未御年貢可納割付 元禄四年一〇月 細 九左衛門 名主・惣百姓宛	一通	三	可納酉御年貢割付 宝永二年一〇月 今井九右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村申御年貢可納割付 写 元禄五年一〇月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	三	可納戌御年貢割付 宝永三年一月 林甚五右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村申御年貢可納割付 元禄五年一〇月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	三	可納亥御年貢割付 宝永四年一月 林甚五右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村酉御年貢可納割付 元禄六年一月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	三	可納子御年貢割付 宝永五年一月 林甚五右衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛	一通	至
武州多摩郡後ヶ谷村戌御年貢可納割付 元禄七年一〇月 細 九左衛門 名主・百姓宛	一通	三			

可納丑御年貢割付 宝永六年十一月 林甚五右衛門
代吉田權藏 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

可納寅御年貢割付 宝永七年十一月 林兵右衛門他
一名 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

卯年後ヶ谷村御年貢可納割付事
正徳一年二月 比 長左衛門 武蔵国多摩郡後ヶ
谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

辰年後ヶ谷村御年貢可納割付之事
正徳二年二月 比 長左衛門 武蔵国多摩郡後ヶ
谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

巳年後ヶ谷村御年貢可納割付之事
正徳三年二月 比 長左衛門 武州多摩郡後ヶ谷
村名主・惣百姓宛 一通 一〇

午年後ヶ谷村御年貢可納割付之事
正徳四年一月 比 長左衛門 武州多摩郡後ヶ谷
村名主・惣百姓宛 一通 一〇

未御年貢可納割付之事 正徳五年十一月
会 伊右衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

申御年貢可納割付之事 享保一年一〇月
石川伝兵衛 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

酉御年貢可納割付之事 享保二年一〇月
石 伝兵衛 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

戌御年貢可納割付之事 享保三年一〇月
石 伝兵衛 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

亥御年貢可納割付之事 享保四年一〇月
石 伝兵衛 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

子年御成箇可納割付之事 享保五年一〇月
朝 權左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

丑年御成箇可納割付之事 享保六年一〇月
朝 權左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

寅御年貢可納割付之事 享保七年十一月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

卯御年貢可納割付之事 享保八年十一月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

辰御年貢可納割付之事 享保九年十一月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一〇

武州多摩郡後ヶ谷村午ノ御年貢可納割付
(享保一二年) 後欠 一通 一〇

戌御年貢可納割付之事 享保一五年一〇月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一〇

亥御年貢可納割付之事 享保一六年一〇月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一〇

子御年貢割付之事 享保一七年一〇月
上坂安左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

可納丑御年貢割付之事 享保一八年一〇月
上坂安左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

寅御年貢可納割付之事 享保一九年一〇月
上坂安左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一〇

卯御年貢可納割付之事 享保二〇年一〇月
上坂安左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛 一通 一〇

午御年貢可納割付之事 元文三年一〇月
上 安左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一〇

戌御年貢可納割付之事 寛保二年十一月
大屋全之助 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一〇

亥御年貢可納割付之事 寛保三年一〇月
川崎平右衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一〇

子歲定免御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
延享一年一月五日 伊 半左 名主・惣百姓宛 一通 一〇

丑歲定免御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 延享二年二月五日 伊奈半左衛門 後ヶ谷村名主・百姓宛 一通 二六元

寅年定免御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 延享三年二月 伊半左 名主・百姓宛 一通 二五元

卯御年貢可納割付之事 高木新田 延享四年二月
 川崎平右衛門 名主・百姓宛 一通 二五元

卯年定免御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 延享四年二月 伊半左 名主・百姓宛 一通 二五元

辰歲定免御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寬延一年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二五元

巳歲定免御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寬延二年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二五元

午歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寬延三年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二六元

未年御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆一年二月五日 伊奈半左衛門 名主・百姓宛 一通 二六元

申年御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆二年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二六元

酉歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆三年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二七元

戌年御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆四年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二七元

亥歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆五年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二八元

子歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆六年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二八元

丑歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆七年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 二九元

寅歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆八年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

卯歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆九年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

辰年御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆一〇年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

巳年御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆一一年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

午歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆一二年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

未歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 寶曆一三年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

申歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 明和一年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

酉年御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 明和二年二月五日 伊半左 名主・百姓宛 一通 三〇元

戌歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 明和三年二月五日 備前 名主・百姓宛 一通 三〇元

亥歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 明和四年二月五日 備前 名主・百姓宛 一通 三〇元

子歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 明和五年二月五日 備前 名主・百姓宛 一通 三〇元

丑歲御年貢可納割付之事 後ヶ谷村
 明和六年二月五日 備前 名主・百姓宛 一通 三〇元

寅御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 明和七年一〇月
 久保田十左衛門 名主・与頭・惣百姓宛 一通 四〇元

寅御年貢可納割付之事 高木村 明和七年一〇月
久保田十左衛門 名主・与頭・惣百姓宛 一通 四二

寅御年貢可納割付之事 高木新田 明和七年一〇月
久保田十左衛門 名主・与頭・惣百姓宛 一通 四三

御割付写(延享子年書通・寛延三年夕明和四亥迄十
八通)書上帳控 明和八年四月 多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 四六

卯御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 明和八年一〇月
久保田十左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 四三

卯御取箇掛札之事 後ヶ谷村 明和九年二月
久保田十左衛門役所 名主・年寄・惣百姓宛 一通 四四

辰御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 明和九年一〇月
久保田十左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 四九

巳御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 安永二年一〇月
久保田十左衛門 名主・年寄・惣百姓宛 一通 四九

戌御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 安永七年一〇月
飯 伊兵衛 名主・組頭・惣百姓宛 一通 四九

亥御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 安永八年一〇月
飯 伊兵衛 名主・与頭・惣百姓宛 一通 四九

卯御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 天明三年一〇月
飯 伊兵衛 名主・組頭・惣百姓宛 一通 五三

辰御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 天明四年一〇月
飯塚常之丞 名主・組頭・惣百姓宛 一通 五六

申御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 天明八年一〇月
飯塚常之丞 名主・与頭・惣百姓宛 一通 五五

戌御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 寛政二年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 五五

亥御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 寛政三年一〇月
野田文蔵 名主・与頭・惣百姓宛 一通 六九

(年貢割付状の写 前後欠) 後ヶ谷村
寛政三年一〇月 一綴 六七

子御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 寛政四年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六八

丑御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 寛政五年一〇月
野田文蔵 名主・与頭・惣百姓宛 一通 六八

寅御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 寛政六年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

卯御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 寛政七年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六七

辰御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 寛政八年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

巳御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 寛政九年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

午御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 寛政一〇年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

未御年貢可納割付之事 後ヶ谷村 寛政一一年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

申御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 寛政一二年一〇月
野田文蔵 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

酉御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 享和一年一〇月
早川八郎左衛門 名主・年寄・惣百姓宛 一通 六九

戌御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 享和二年一〇月
早川八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

亥御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 享和三年一〇月
早川八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

子御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化一年一〇月
早川八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 六九

丑御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化二年一〇月 早川八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	六三
寅御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化三年一〇月 早川八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	六五
卯御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化四年一〇月 早川八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	六〇
巳御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化六年一〇月 篠山十兵衛 名主・組頭・百姓代・惣百姓宛	一通	六三
午御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化七年一〇月 川崎平右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	六六
未御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化八年一〇月 川崎平右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七一
申御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化九年一〇月 川崎平右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七五
酉御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化一〇年一〇月 川崎平右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七〇
戌御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化一一年一〇月 大岡源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七七
亥御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化一二年一〇月 大岡源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七七
子御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化一三年一〇月 大岡源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七三
丑御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文化一五年一〇月 大岡源右衛門 名主・与頭・惣百姓宛	一通	七五
寅御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政一年一〇月 大岡源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	六一
卯御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政二年一〇月 大岡源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	六四

辰御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政三年一〇月 大岡源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七三
巳御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政四年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	七三
午御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政五年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八〇
未御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政六年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八〇
申御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政七年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八六
酉御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政八年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八四
戌御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政九年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八元
亥御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政一〇年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八〇
子御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政一一年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八七
丑御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文政一二年一〇月 平岩右膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	八六
卯御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 天保二年一月 田中五郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	一通	九三
辰御年貢可納割附之事 武藏国多摩郡後ヶ谷村 天保三年一〇月 林金五郎・山本大膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	九五
未御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 天保六年一〇月 山本大膳 名主・組頭・惣百姓宛	一通	九七

申御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 山本大膳 名主・組頭・惣百姓宛	天保七年一〇月	一通	一〇三
西御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 山本大膳 名主・組頭・惣百姓宛	天保八年一〇月	一通	一〇七
戌御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 山本大膳 名主・組頭・惣百姓宛	天保九年一〇月	一通	一一三
亥御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 山本大膳 名主・組頭・惣百姓宛	天保一〇年一〇月	一通	一二八
卯御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 江 太郎左衛門 名主・与頭・惣百姓宛	天保一四年一〇月	一通	一五三
午御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	弘化三年一〇月	一通	一五五
可納割附之事 後ヶ谷村 安政五年一〇月 入江次郎太郎 原田十兵衛 名主・惣百姓宛		一通	一四三
未御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 安政六年一〇月 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛		一通	一四三
申御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 万延一年一〇月 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛		一通	一四九
酉御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 文久一年一〇月 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛		一通	一四六
辰御年貢可納割附之事 後ヶ谷村 明治一年一〇月 葦山県 名主・組頭・惣百姓宛		一通	一三七
已租税可納割附之事 後ヶ谷村 明治二年一〇月 葦山県 名主・組頭・惣百姓宛		縦帳 一冊	一六六
午租税可納割附之事 後ヶ谷村 明治三年一〇月 葦山県 名主・組頭・百姓代宛		縦帳 一冊	一七三
未租税可納割附之事 円乘院上知 後ヶ谷村 明治四年一〇月 葦山県 名主・組頭・惣百姓宛		縦帳 一冊	一七九
未租税可納割附之事 写 後ヶ谷村 明治四年一〇月 葦山県 名主・組頭・惣百姓宛		縦帳 一冊	一七六
未租税可納割附之事 宅部村 明治四年一〇月 葦山県 名主・組頭・惣百姓宛		縦帳 一冊	一七五〇
租税御割附 写 明治四年 蔵敷村他五村		縦帳 一冊	一七五五
御割附 写 明治五年 武州多摩郡後ヶ谷村		縦帳 一冊	一七五四
仮免状(田方・上知) 明治五、七年 神奈川県 武州多摩郡後ヶ谷村宛 包紙共		縦帳 四通	一八六六
壬申租税目録 後ヶ谷村 明治六年五月 神奈川県權令大江卓 戸長・副戸長・百姓宛		縦帳 一冊	一七五五
武州多摩郡後ヶ谷村丑御年貢可納割附 後欠		一通	三〇九
仮免定之事 寅二月 上坂安左衛門 後ヶ谷村名主・惣百姓宛		一通	四四四
(租税上納方廻状) 一二月九日 東京葦山県 蔵敷村他七ヶ村役人宛		一通	一八六三
已仮免定 武州多摩郡後ヶ谷村 包紙共		一通	二七四三
年貢割付拝見連判状			
御割付拝見仕連判之事 享保一年一二月 山口領後ヶ谷村名主左右衛門他四名		一通	一〇四
御割付拝見仕連判之事 (下書) 享保二年一二月 名主左右衛門他三名		一通	一〇〇
御割付拝見仕連判之事 享保二年一二月 山口領後ヶ谷村名主左右衛門		一通	一三三
御割付拝見仕候連判之事 享保三年一二月 名主左右衛門他三名		一通	一三九

(亥御割付立合拜見惣百姓連判状)
享保四年十二月 名主李右衛門他三九名

年貢皆済目録

宅部清水両所御年貢納帳 延宝七年七月

縦帳

一通 一冊

差上申手形之事(御年貢米殘納分につき皆納証文)
下書 延宝八年二月二八日 武州玉郡清水村權右
衛門他五名 浅井七兵衛様御内大山新之丞殿宛

天和式戌御成ケ納事 写(年貢皆済状)
天和三年五月 今井九太夫 後ヶ谷村庄屋宛

未御年貢皆済目録 正徳六年五月

後ヶ谷村名主李右衛門 会田伊右衛門様御役所宛

申御年貢米永皆済目録 後ヶ谷村 後欠(享保一年)

(申御年貢米永皆済状) 前欠 享保二年九月
石川伝兵衛 名主・惣百姓宛

差上ケ申証文之事(申西御年貢皆済連判) 下書
享保二年十一月

酉御年貢米永皆済目録 後ヶ谷村 享保三年八月

石 伝兵衛 名主・惣百姓宛

戌御年貢米永皆済目録 後ヶ谷村 享保四年五月

石 伝兵衛 名主・惣百姓宛

亥御年貢米永皆済目録 後ヶ谷村 享保五年六月

石 伝兵衛 名主・惣百姓宛

子御年貢米永皆済目録 享保六年六月

武州多摩郡後ヶ谷村名主李右衛門他二名 朝比奈権
左衛門様御役所宛

丑御年貢米永皆済目録 享保七年六月

後ヶ谷村名主武左衛門

武州多摩郡後ヶ谷村寅御年貢皆済之事
享保八年四月 岩手藤左衛門 名主・組頭宛

武州多摩郡後ヶ谷村卯御年貢皆済之事
享保九年七月 岩手藤左衛門 名主・組頭宛

(辰御年貢皆済状) 前欠 享保九年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

巳御年貢皆済之事 後ヶ谷村 享保一〇年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

午御年貢皆済之事 後ヶ谷村 享保一一年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

未御年貢皆済之事 後ヶ谷村 享保一二年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

申御年貢皆済之事 後ヶ谷村 享保一三年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

酉御年貢皆済之事 後ヶ谷村 享保一四年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

戌御年貢皆済之事 後ヶ谷村 享保一五年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

亥御年貢皆済之事 後ヶ谷村 享保一六年十二月

岩手藤左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

子御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享保一八年

上坂安左衛門 名主・惣百姓宛

丑御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享保一九年九月

上坂安左衛門 名主・惣百姓宛

寅御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享保二〇年四月

上坂安左衛門 名主・惣百姓宛

卯御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享保二二年三月

上坂安左衛門 名主・惣百姓宛

辰御年貢皆済目録 後ヶ谷村 元文二年二月
上 安左衛門 名主・百姓宛 一通 三二六

巳御年貢皆済目録 後ヶ谷村 元文三年二月
上 安左衛門 名主・惣百姓宛 一通 三二七

午御年貢皆済目録 後ヶ谷村 元文四年二月
上 安左衛門 名主・惣百姓宛 一通 三二九

申御年貢可納皆済目録 後ヶ谷村 元文五年二月
上 安左衛門 名主・与頭・惣百姓宛 中欠 一通 三三三

(申御年貢皆済目録) 前欠 元文六年二月
上 安左衛門 組頭・惣百姓宛 一通 三三三

酉御年貢皆済目録 後ヶ谷村 寛保二年二月
上 安左衛門 右村宛 一通 三三六

亥御年貢皆済目録 後ヶ谷村 寛保四年二月
川崎平右衛門 名主・惣百姓宛 一通 三三〇

覚(酉御年貢割賦皆済受取) 明和二年二月
大沼田新田名主伝兵衛 宅部村勘左衛門殿宛 一通 三三〇

寅御年貢米金皆済目録 後ヶ谷村 明和八年八月
久 左衛門 名主・与頭・惣百姓宛 一通 三三〇

卯御年貢米金皆済目録 後ヶ谷村 明和九年三月
久 十左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 三三六

辰御年貢米金皆済目録 後ヶ谷村 安永二年三月
久 十左衛門 名主・年寄・惣百姓宛 一通 三三六

巳御年貢米金皆済目録 後ヶ谷村 安永三年三月
久 十左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 三三六

午御年貢米金皆済目録 後ヶ谷村 安永四年三月
久 十左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 三三六

御年貢皆済目録 (田方畑方他) 下書
安永四年二月 五十嵐清左衛門 浅井小右衛門様
御内木村条右衛門殿宛 一通 四三三

未御年貢米金皆済目録 後ヶ谷村 安永五年四月
久 十左衛門 名主・与頭・惣百姓宛 一通 四三七

申御年貢皆済目録 清水村 控 安永五年二月
五十嵐清左衛門 浅井小右衛門様御内木村条右衛門
殿宛 一通 四三二

申御年貢皆済目録 多摩郡後ヶ谷村 安永六年三月
久 十左衛門 名主・年寄・惣百姓宛 一通 四三〇

酉御年貢皆済目録 下書 安永六年二月 五十
嵐清左衛門 浅井小右衛門様御内木村条右衛門殿宛 一通 四三七

酉御年貢米金皆済目録 多摩郡後ヶ谷村
安永七年四月 飯 伊兵衛 名主・与頭・惣百姓宛 一通 四三九

戌御年貢皆済目録 控 安永七年二月 五十嵐清
左衛門 浅井小右衛門様御内木村条右衛門殿宛 一通 四三〇

戌御年貢皆済目録 後ヶ谷村 安永八年四月
飯 伊兵衛 名主・組頭・惣百姓宛 一通 四三七

亥御年貢皆済目録 控 安永八年二月 五十嵐清
左衛門 浅井小右衛門様御内木村条右衛門殿宛 一通 四三三

亥御年貢皆済目録 後ヶ谷村 安永九年四月
飯 伊兵衛 名主・組頭・惣百姓宛 一通 四三六

子御年貢皆済目録 安永九年二月 五十嵐兵右衛
門 浅井小右衛門様御内木村条右衛門殿宛 一通 四三二

去子御年貢皆済目録 後ヶ谷村 安永一〇年四月
飯 伊兵衛 名主・組頭・惣百姓宛 一通 四三九

丑御年貢皆済目録 控 天明一年二月 五十嵐兵
右衛門 浅井小右衛門様御内近藤忠左衛門殿宛 一通 四三三

丑御年貢皆済目録 飯 伊兵 名主・与頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天明二年四月	一通	五七
寅御年貢皆済目録 兵右衛門 浅井小右衛門様御内近藤忠左衛門殿宛	下書 天明二年一二月 五十嵐	一通	五〇
寅御年貢皆済目録 飯 伊兵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天明三年四月	一通	五二
卯御年貢皆済目録 五十嵐兵右衛門 浅井小右衛門様御内宮川惣司殿宛	下書 天明三年一二月	一通	五三
卯御年貢皆済目録 飯 伊兵 名主・組頭・百姓代宛	後ヶ谷村 天明四年四月	一通	五五
辰御年貢皆済目録 五十嵐兵右衛門 浅井小右衛門様御内宮川惣司殿宛	控 天明四年一二月	一通	五七
辰御年貢皆済目録 飯 常之丞 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天明五年四月	一通	五八
巳御年貢皆済目録 五十嵐兵右衛門 浅井小右衛門様御内宮川惣司殿宛	控 天明五年一二月	一通	五〇
巳御年貢皆済目録 飯 常之丞 名主・与頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天明六年四月	一通	五四
皆済目録之記	後欠 天明六年一二月	一通	五五
午御年貢皆済目録 五十嵐兵右衛門 浅井小右衛門様御内宮川惣司殿宛	天明六年一二月	一通	五六
午御年貢皆済目録 飯 常之丞 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天明七年四月	一通	五七
未御年貢皆済目録 門 浅井小右衛門様御内門江治兵衛殿他一名宛	天明七年一二月 五十嵐兵右衛	一通	五八
未御年貢皆済目録 飯 常之丞 名主・与頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天明八年四月	一通	五九
申御年貢皆済目録 五十嵐兵右衛門 浅井小右衛門様御内渡辺孫一殿宛	天明八年一二月	一通	五五
申御年貢皆済目録 飯 常之丞 名主・与頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政一年四月	一通	五七
酉御年貢皆済目録 五十嵐兵右衛門 浅井小右衛門様御内木村左内殿宛	控 寛政一年一二月	一通	五八
酉御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・与頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政二年三月	一通	五九
戌御年貢皆済目録 五十嵐兵右衛門 浅井小右衛門様御内木村左内殿宛	控 寛政二年一二月	一通	五五
戌御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政三年三月	一通	五七
亥御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政四年三月	一通	五九
子御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政五年三月	一通	六一
丑御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・与頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政六年三月	一通	六三
寅御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政七年三月	一通	六四
卯御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政八年三月	一通	六六
辰御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政九年三月	一通	六八
巳御年貢皆済目録 野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 寛政一〇年三月	一通	六九

午御年貢皆済目録 後ヶ谷村 寛政一一年三月
野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛

一通 五五

未御年貢皆済目録 後ヶ谷村 寛政二二年三月
野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛

一通 五五

申御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享和一年二月
野 文蔵 名主・組頭・惣百姓宛

一通 五五

酉御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享和二年三月
早 八郎左衛門 名主・組頭・百姓代宛

一通 五三

戌御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享和三年三月
早 八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 五三

亥御年貢皆済目録 後ヶ谷村 享和四年一月
早 八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 五三

子御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化二年三月
早 八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 六〇

丑御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化三年三月
早 八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 六〇

寅御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化四年三月
早 八郎左衛門 名主・年寄・組頭・惣百姓宛

一通 六八

卯御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化五年三月
早 八郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 六九

辰御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化六年三月
榊 小兵衛他一名 名主・組頭・惣百姓宛

一通 六九

巳御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化七年三月
篠 十兵 名主・組頭・惣百姓代宛

一通 六九

午皆済目録 後ヶ谷村 文化八年一月
川 平右衛門 名主・与頭・惣百姓代宛

一通 七〇

未御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化九年一月
川 平右衛門 名主・組頭・惣百姓代宛

一通 七〇

申御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化一〇年一月
川 平右衛門 名主・組頭・惣百姓代宛

一通 七〇

酉御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化一一年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 七三

戌御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化二二年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 七三

亥御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化二三年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓代宛

一通 七三

子御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化一四年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 七三

丑御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文化一五年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 七三

寅御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政二年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 七三

卯御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政三年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓宛

一通 七三

辰御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政四年三月
大 源右衛門 名主・組頭・惣百姓代宛

一通 七〇

巳御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政五年三月
平 右膳 名主・組頭・惣百姓宛

一通 七三

午御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政六年三月
平 右膳 名主・組頭・惣百姓宛

一通 八〇

未御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政七年三月
平 右膳 名主・組頭・惣百姓宛

一通 八〇

申御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政八年三月
平 右膳 名主・組頭・惣百姓宛

一通 八三

酉御年貢皆済目録 後ヶ谷村 文政九年三月
平 右膳 名主・組頭・惣百姓宛

一通 八三

戌御年貢皆濟目錄 平 右膳 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 文政一〇年三月	一通	八四	子御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保一二年二月	一通	二〇五
亥御年貢皆濟目錄 平 右膳 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 文政一一年三月	一通	八五	丑御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天保一三年二月	一通	三三七
子御年貢皆濟目錄 平 右膳 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 文政一二年三月	一通	八六	寅御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天保一四年二月	一通	二四〇
丑御年貢皆濟目錄 平 右膳 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 文政一三年三月	一通	八七	卯御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天保一五年一二月	一通	二六三
寅御年貢皆濟目錄 田 五郎左衛門 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保二年一月	一通	九四	辰御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 弘化二年二月	一通	二六九
卯御年貢皆濟目錄 田 五郎左衛門 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保三年一月	一通	九四	巳御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 弘化三年二月	一通	二八一
辰御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天保四年一月	一通	九七	午御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 弘化四年二月	一通	二八八
巳御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 天保五年一月	一通	九八	未御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 弘化五年三月	一通	二九四
午御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・与頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保六年一月	一通	九八	申御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 嘉永二年二月	一通	三三七
未御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保七年一月	一通	九八	亥御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 嘉永五年	一通	三五四
申御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・与頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保八年一月	一通	一〇三	丑御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 嘉永七年一二月	一通	三七七
酉御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保九年一月	一通	一〇三	午御年貢皆濟目錄 入江次郎太郎・原田十兵衛 名主・惣百姓宛	後ヶ谷村 安政六年八月	一通	一四三
戌御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保一〇年一月	一通	一〇三	西御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 文久二年二月	一通	一四七
亥御年貢皆濟目錄 山 大膳 名主・組頭・惣百姓代宛	後ヶ谷村 天保一一年一月	一通	一〇三	去亥御年貢皆濟目錄 江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛	後ヶ谷村 元治一年二月	一通	一五〇

子御年貢皆済目録 後ヶ谷村 慶応二年二月
江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 一五〇三

丑御年貢皆済目録 後ヶ谷村 慶応二年二月
江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 一五〇三

寅御年貢皆済目録 後ヶ谷村 慶応三年二月
江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 一五〇〇

卯御年貢皆済目録 後ヶ谷村 慶応四年二月
江 太郎左衛門 名主・組頭・惣百姓宛 一通 一五〇四

午御年貢皆済目録 後ヶ谷村 明治四年二月
菲山県庁 名主・組頭・惣百姓宛 縦帳 一冊 一七三三

未御收納皆済目録 後ヶ谷村(他に壬申租税目録・
仮免状等有り) 明治五年一月 神奈川県令陸奥宗
光 戸長・副戸長・百姓宛 縦帳 一冊 一八五八

未租稅皆済目録 後ヶ谷村 明治五年二月
菲山県庁 名主・組頭宛 一通 一七五五

未租稅皆済目録 巴乘院上知 後ヶ谷村
明治五年二月 菲山県庁 名主・組頭宛 一通 一七六三

未租稅皆済目録 武州多摩郡御靈神社上知 後ヶ谷
村 明治五年二月 菲山県庁 名主・組頭宛 一通 一七六六

未租稅皆済目録 武州多摩郡愛宕神社上知 後ヶ谷
村 明治五年二月 菲山県庁 名主・組頭宛 一通 一七六七

未租稅皆済目録 武州多摩郡山神上知 後ヶ谷村新
田 明治五年二月 菲山県庁 名主・組頭宛 一通 一七九八

辰御年貢皆済目録 写(巳御年貢皆済目録とも小
区扱所へ提出のための写・提出依頼文書付) 明治
一〇年五月二三日 依頼者村用掛真野新左衛門 杉
本勘左衛門様宛 一通 三三六

年貢勘定目録

武州多摩郡後ヶ谷村卯御年貢御勘定目録 正徳二年
四月 後ヶ谷村名主李右衛門他五名 御代官様宛 一通 六

武州多摩郡後ヶ谷村辰御年貢御勘定目録 正徳三
年四月 後ヶ谷村名主李右衛門他五名 御代官様宛 一通 六

武州多摩郡後ヶ谷村巳御年貢御勘定目録 正徳四
年四月 後ヶ谷村李右衛門他五名 御代官様宛 一通 六

武州多摩郡後ヶ谷村午御年貢御勘定目録 正徳五
年七月 後ヶ谷村名主李右衛門他五名 御代官様宛 一通 六

年貢定免請納

巳御年貢定免請納之事 享保一〇年十一月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一三

午御年貢定免請納之事 享保一一年一〇月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一五

未御年貢定免請納之事 享保一二年一〇月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一七

申御年貢定免請納之事 享保一三年一二月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一七

酉御年貢定免請納之事 享保一四年一〇月
岩手藤左衛門 後ヶ谷村名主・組頭・惣百姓宛 一通 一八

年貢受取証文

御年貢納帳 天和一年一二月
武州多摩郡宅部清水西村清左衛門 縦帳 一冊 二二三

覚(卯御年貢米請取証) 元禄一二年一二月二五日
高田東藏 後ヶ谷村 一通 二七四〇

覚(酉御年貢金請取証) 享保一四年九月一七日
弥左衛門 勘左衛門殿宛 一通 三三五

<p>覚 (子御年貢) 延享二年七月 伊奈半左衛門内森丹治 後ヶ谷村宛</p> <p>覚 (丑年御年貢受取証) 延享二年八月一日 菩提木村名主忠右衛門 やげべ孫七殿宛</p> <p>覚 (秋成御年貢金受取証) 延享三年九月二日 菩提木村名主忠右衛門 宅部村孫七殿宛</p> <p>覚 (御年貢錢請取証) 延享三年一〇月一日 菩提木村市左衛門 宅部村孫七郎殿宛</p> <p>覚 (丑御年貢請取証) 延享三年一月 伊奈半左衛門内森丹治他一名 後ヶ谷村宛</p> <p>覚 (寅御年貢請取証) 延享四年五月 伊奈半左衛門内夏目善太夫他一名 後ヶ谷村宛</p> <p>覚 (皆濟請取証) 宝曆二年一二月 大沼田新田名主 宅部勘左衛門分納人弥兵衛宛</p> <p>覚 (秋成年貢請取証文) 宝曆八年九月四日 名主伝右衛門 宅部勘左衛門殿宛</p> <p>覚 (卯御年貢皆濟請取証文) 宝曆九年一二月 大沼田新田名主 宅部勘左衛門納人宛</p> <p>覚 (多摩郡藏數分・同新田年貢米永の書上) 宝曆一〇年</p> <p>請取永之事 宝曆一二年一〇月二二日 平川茂左衛門・小森伝左衛門 後ヶ谷村宛</p> <p>請取米永之事 (御年貢米永請取証文) 明和一年八月 平川茂左衛門・小森伝左衛門 後ヶ谷村宛</p> <p>請取米永之事 (未御貢米永納請取皆濟証文) 明和二年二月 栗田六郎左衛門 後ヶ谷村宛</p>	<p>覚 (辰新田御年貢請取証文) 安永一年一二月 大沼田新田弥十郎 宅部村勘左衛門殿宛</p> <p>覚 (年貢請取証) 安永五年一二月八日 御年貢請取之事 安永七年一二月 大沼田新田名主弥十郎 宅部屋敷分納人弥兵衛宛</p> <p>覚 (御年貢上納受取) 安永八年一二月 大沼田新田名主文右衛門代印弥十郎 宅部屋鋪分納人弥兵衛宛</p> <p>新田分寅夏成取立帳 文政一年六月 覚 (年貢受取) 文政六年一二月四日 清水村与右衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛</p> <p>覚 (年貢受取) 文政七年一二月一四日 久左衛門 杉本勘左衛門様宛</p> <p>覚 (本新田分年貢請取) (文政一〇年) 亥六月一五日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛</p> <p>覚 (秋成年貢本新田分請取) (文政一〇年) 亥九月一 二日 清水村名主市郎右衛門 勘左衛門様宛</p> <p>(戌年貢請取) 断簡 (文政一〇年) 平 右膳手附 館雄治郎他一名 武藏国多摩郡後ヶ谷村宛</p> <p>入置申一札之事 (年貢上納証文) 文政一三年八月 七日 藤助他二名 御本家勘左衛門殿宛</p> <p>文政一三寅年勘定帳 文政一三年 御年貢請取之通 天保六年二月吉日 清水村名主藤右衛門 杉本勘左衛門宛</p>	<p>一通 二四五</p> <p>一通 三三三</p> <p>一通 三三五</p> <p>一通 三三四</p> <p>一通 二五三</p> <p>一通 二五三</p> <p>一通 三二六</p> <p>一通 二六九</p> <p>一通 三三〇</p> <p>一冊 二七四</p> <p>縦帳</p> <p>一通 二七三</p> <p>一通 二六八</p> <p>一通 二六七</p>	<p>受取米永之事 (戌御年貢米永納受取証文) 明和四年八月 横山市郎左衛門・栗田六郎左衛門 後ヶ谷村宛</p> <p>一通 二六八</p> <p>一通 四〇〇</p> <p>一通 三三三</p> <p>一通 四九一</p> <p>一通 四九一</p> <p>一冊 七六</p> <p>一通 八二</p> <p>一通 八九</p> <p>一通 九〇</p> <p>一通 九〇</p> <p>一通 九〇</p> <p>一通 九〇</p> <p>一通 九〇</p> <p>一通 八九</p> <p>一冊 八四</p> <p>横帳</p> <p>一冊 三〇四</p>
--	--	---	--

覚(金子請取)(天保七年)申一〇月二日 野口文蔵 手附大塚太作他二名 後ヶ谷村勘左衛門宛	一通	二〇〇
覚(寅ノ夏成御年貢金受取)(天保一三年)六月二五日 日 名主後三郎 名主平重郎殿宛	一通	二六五
覚(清水村御年貢請取証) 明治三年六月 杉本氏	一五通	二七九
御年貢請取之通 明治三年一二月 清水村名主五十嵐清助 納人後ヶ谷村名主杉本勘左衛門宛	一冊	二七七
記(明治三年上納の米永書上) 明治七年五月 後ヶ谷村用掛杉本勘左衛門	一通	二七五
覚(亥の夏割夫錢書上) 子七月晦日	一通	二六九
覚(当子年夏成ケ他請取証) 子一二月二四日 大沼田新田名主弥十郎 宅部屋敷方納人弥兵衛宛	一通	三六六
覚(子御年貢等上納書上げ) 子一二月一三日 多摩郡後ヶ谷村納人組頭武右衛門	一通	二七五
覚(本田分丑御年貢夏成請取) 丑六月七日 清水伝兵衛 杉本平重郎殿宛	一通	七六
覚(御成箇割賦皆濟請取証) 丑一二月 大沼田新田名主伝兵衛 宅ヶ部村孫七郎殿宛	一通	二七五
寅御年貢金請取通 武州多摩郡清水新田 寅六月二八日 大 源右衛門手代田中東蔵他一名	一通	三〇九
覚(寅御年貢請取覚) 寅一二月一四日 名主市郎右衛門 杉本様宛	一通	七五
覚(御年貢金内金受取証) 卯四月二六日 久保田十左衛門手代中田代右衛門他二名 後ヶ谷村名主中宛	一通	三三七
覚(御年貢秋成請取覚) 卯九月六日 名主市郎右衛門 杉本様宛	一通	七六
覚(卯御年貢内金受取証) 卯九月一六日 清水村名主藤右衛門 後ヶ谷村納人勘左衛門宛	一通	三三九
覚(卯年御年貢諸役錢殘金請取証) 辰一月二三日 宅部名主庄兵衛 杉本勘左衛門様宛	一通	三三八
覚(御年貢代金諸請取証) 辰六月二三日 当役七郎左衛門 杉本勘左衛門様宛	一通	三三七
覚(年貢請取覚) 辰九月二六日・巳九月二四日・巳十一月二一日・未九月二二日 新左衛門 勘左衛門殿宛	四通	三六九
覚(本田分・新田分御年貢請取証) 巳九月一九日 当役藤右衛門 勘左衛門殿宛	一通	三三九
覚(巳御年貢金他請取証) 巳一二月二七日 名主利兵衛 杉本勘左衛門様宛	一通	三六九
当巳田方仮免状 武州多摩郡後ヶ谷村 巳一月	一通	三四三
覚(御年貢金受取証) 午六月二〇日 清水村名主市郎右衛門 勘左衛門様宛	一通	三六八
午歳御取箇覚 後ヶ谷村 未四月 伊 半左 名主・惣百姓宛	一通	三三〇
覚(年貢請取) 未六月一四日 清水村名主市郎右衛門 後ヶ谷村勘左衛門様宛	一通	三六〇
覚(御年貢秋成本田分・新田分請取) 未九月二二日 清水村名主市郎右衛門 杉本勘左衛門殿宛	一通	三六三
(内金請取) 未一二月二九日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛	一通	三六四
覚(年貢請取) 未一二月四日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛	一通	三六五

覚(新田御年貢皆濟請取証) 未二月一四日 弥左衛門 勘左衛門殿宛	一通	三六九	子御年貢金請取通 後ヶ谷村 六月一六日 山本大膳手附齊藤晋八郎他三名	三通	三三七
覚(年貢請取) 申六月二〇日 清水村名主市郎右衛門 杉本勘左衛門殿宛	一通	八〇六	覚(丑御年貢夏成請取覚) 六月一七日 清水村名主市郎右衛門 杉本勘左衛門殿宛	一通	七九二
覚(年貢受取) 申七月一日 新左衛門 勘左衛門様宛	一通	一〇〇六	覚(戌御年貢金請取通) 後ヶ谷村 七月一〇日 山本大膳手附齊藤晋八郎他二名	一通	三三〇
覚(年貢請取) 申九月二日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛	一通	八〇六	仮免状之写(清水村不作一件) 一〇月九日 大和田新平 清水村宛	一通	一〇五一
覚(年貢金請取) 申九月二五日 名主新左衛門 納人勘左衛門殿宛	一通	一八〇五	覚(年貢皆濟請取証) 一二月一日 名主伝右衛門 宅部勘左衛門宛	一通	三二七
覚(本田分・新田分御年貢請取証) 西六月一九日 清水村名主市郎右衛門 杉本勘左衛門様宛	一通	三三七	覚(御年貢代金請取証) 一二月六日 清水村市郎右衛門 杉本様宛	一通	三三六
覚(御年貢買納代金受取証四通分一括記載控) 西一〇月一日 飯塚伊兵衛手代秋山茂八他 村宛 後ヶ谷	一通	三三九	覚(御年貢納入願) 一二月一六日 庄兵衛 勘左衛門様宛	一通	二四四
覚(新田御年貢皆濟受取証) 西二月二三日 弥左衛門 勘左衛門殿宛	一通	三三九	覚(御年貢金請取証) 一二月二四日 宅部庄兵衛 清左衛門殿宛	一通	二四四
覚(本田分・新田分夏成請取証) 戌六月九日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛	一通	三三五	覚(石代金書上げ) 石屋長四郎 上宛	一通	二四四七
覚(御年貢買納代金請取証) 戌一〇月二五日 山本大膳手附齊藤晋八郎他二名 後ヶ谷村宛	一通	三三五	覚(年貢受取り証文) 後ヶ谷村市郎右衛門 扱人勘左衛門殿宛	一通	二四四七
覚(御取箇永方上納日限について) 亥一二月 岩手藤左衛門役所 後ヶ谷村名主宛	一通	四〇六	年貢小手形		
覚(寅御年貢夏成本田分・新田分請取証) 六月一二日 名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛	一通	三三〇	請取米永之事(年貢小手形) 寬延一年一二月 伊奈 半左衛門内夏目善太夫他一名 多摩郡後ヶ谷村宛	一通	三三〇
覚(夏成御年貢受取証) 六月二二日 名主後三郎 平重郎殿宛	一通	三三二	請取米永之事(午御年貢小手形) 寬延四年七月 小崎全之丞 多摩郡後ヶ谷村宛	一通	三三七
			請取米永之事(年貢小手形) 宝曆二年一二月 小崎全之丞 後ヶ谷村宛	一通	三三〇

請取米永之事(年貢小手形) 宝曆四年六月 森丹治 後ヶ谷村宛	一通	三五	覚(安永六年四年小手形写シ) 安永六年 飯塚伊兵衛手代秋山茂八 後ヶ谷村名主中宛	一通	四六
請取米永之事(年貢小手形) 宝曆五年六月 森丹治 後ヶ谷村宛	一通	二七	覚(巳年小手形) (天保五年) 午四月四日 八幡宿六郎兵衛 後ヶ谷村勘左衛門様宛 包紙共	二通	六〇
覚(米代金請取) 宝曆七年 二月三〇日 李右衛門 定右衛門殿宛	一通	三五	(後ヶ谷村御年貢請取小手形) 嘉永二年(安政四年) 江川太郎左衛門手代長沢与四郎他二名 包紙共	五通	二六〇
請取米永之事(丑御年貢小手形) 宝曆八年三月 小森伝左衛門 後ヶ谷村宛	一通	三〇〇	(後ヶ谷村御年貢請取小手形) 嘉永五年ほか 江川太郎左衛門手代長沢与四郎他二名 包紙共	三通	二六三
請取米永之事(寅御年貢小手形) 宝曆九年六月 小森伝左衛門 後ヶ谷村宛	一通	三一	(後ヶ谷村御年貢請取小手形) 寅一月二七日ほか 江川太郎左衛門手代長沢与四郎他二名	五通	二六四
請取米永之事(卯御年貢小手形) 宝曆一〇年一二月 小森伝左衛門他一名 後ヶ谷村宛	一通	三三	覚(卯小手形) 寅六月二六日 和泉屋健藏 上宛 包紙共	一通	二四二
請取米永之事 宝曆一一年九月 平川茂左衛門他一名 後ヶ谷村宛	一通	三五	覚(年貢小手形・他金錢請取証) 巳一月二三日ほか 久保田十左衛門手代中田代右衛門他二名 多摩郡後ヶ谷村	四通	二五五
覚(年貢皆済小手形) 宝曆一一年一月 大沼田新田名主伝兵衛 宅ヶ部村勘左衛門殿宛	一通	三七	国 役 金		
請取米永之事 宝曆一三年二月一四日 松本藤八他一名 後ヶ谷村勘右衛門宛	一通	三〇〇	覚(国役金請取につき) 延享三年一月 森丹治他一名 後ヶ谷村宛	一通	二五
請取米永之事(午御年貢小手形) 宝曆一四年一月 宇田川喜兵衛 後ヶ谷村宛	一通	二七	請取銀之事(寅卯国役銀受取) 宝曆一〇年一二月七日 平川茂左衛門他二名 後ヶ谷村宛	一通	三三
請取永之事 明和二年一二月二二日 松本藤八他一名 多摩郡後ヶ谷村勘右衛門殿宛	一通	三〇	請取銀之事(国役銀請取) 宝曆一一年八月四日 平川茂左衛門他一名 後ヶ谷村宛	一通	三三
(請取米永之事ほか) 明和三年六月・五年八月・七年六月 栗田六郎左衛門ほか 後ヶ谷村宛	五通	三七	請取銀之事 宝曆一二年一〇月二日 平川茂左衛門 後ヶ谷村宛	一通	三〇
請取永之事 明和六年六月二五日 松本藤八他一名 後ヶ谷村半右衛門宛	一通	三九	請取申銀之事(国役銀受取) 宝曆一三年一月三〇日 栗田六郎左衛門他一名 後ヶ谷村宛	一通	三九
請取米永之事 明和六年 小野沢善助 後ヶ谷村宛	一通	三九			

請取銀之事(川々御普請国役銀請取証) 明和二年一
〇月二日 松本藤八他一名 後ヶ谷村宛 一通 三三三

請取銀之事(国役銀受取) 明和三年二月二日
松下藤八他二名 後ヶ谷村宛 一通 三三五

請取銀之事(川々御普請国役銀請取証) 明和四年一
二月二日 松本藤八他一名 後ヶ谷村宛 一通 三三三

請取銀之事(川々御普請国役銀請取証) 明和五年一
二月三日 松本藤八他二名 後ヶ谷村宛 一通 三三三

(川々御普請国役金上納) 安永九年一〇月一日
飯塚伊兵衛手代堀内兵助 後ヶ谷村 一通 三三〇

覚(川々国役金請取) 文政六年二月二日 平岩
右膳手附館雄次郎他三名 武州多摩郡後ヶ谷村宛 一通 八三

覚(国役金請取) (文政一〇年) 亥二月二日
平岩右膳手附田村弥三治他三名 多摩郡後ヶ谷村宛 一通 九〇

覚(本・新田分川々国役金村役錢他請取)
(文政一〇年) 亥二月四日 清水村名主市郎右
衛門 納人勘左衛門殿宛 一通 九〇

覚(国役金受取) (文政一〇年) 亥二月六日
平岩右膳役所田中八十次郎他四名 後ヶ谷村 一通 九七

(川々国役金請取証及び明治四年川々国役金御切
手) 明治二年・同四年 葦山県三科大属他二名
後ヶ谷村宛 包紙共 三通 一六六

記(国役金等領収書の綴) 明治七、八年
拾小区会所 納人宛 一綴 一八九

覚(御法会国役金請取) 子三月四日 大岡源右衛門
手附高木三郎次他二名 武州多摩郡後ヶ谷村宛 一通 五三

覚(川通御普請国役金請取) 子二月一四日
野田文蔵手代松永弥兵衛 後ヶ谷村 名主中宛 一通 五三

覚(川々国役金受取) 後ヶ谷村 子二月一八日
大岡源右衛門手附高木三郎次他二名 後ヶ谷村宛 一通 五四

覚(御法会国役金受取) 後ヶ谷村 子二月一八日
大岡源右衛門手附高木三郎次他二名 一通 五九

(朝鮮人來朝につき心得事書付並びに国役金上納
につき廻状) 丑三月 朝比奈権左衛門役所
後ヶ谷村他宛 一通 三三六

覚(川々国役金請取) 丑二月三日 大岡源右衛
門手附木下民右衛門他二名 多摩郡後ヶ谷村宛 一通 五五

覚(御法会国役金請取) 丑二月三日 大岡源右
衛門手代田中東蔵他一名 多摩郡後ヶ谷村宛 一通 五六

覚(川々御普請高役金請取証) 寅二月七日
久保田十左衛門手代中田代右衛門他二名 後ヶ谷村
名主宛 一通 三三六

覚(川々国役金受取) 後ヶ谷村 寅二月一八日
大岡源右衛門手代田中東蔵他一名 一通 五二

覚(御法会国役金請取) 武州多摩郡後ヶ谷村
寅二月一八日 大岡源右衛門手代田中東蔵他一名 一通 五三

覚(国役金請取証) 卯九月二十四日 久保田十左衛門
手代石川織右衛門他二名 多摩郡後ヶ谷村名主・与
頭中宛 一通 三五三

覚(国役金他請取証) 卯二月二〇日
清水村当役徳兵衛 杉本勘左衛門様宛 一通 三七一

覚(二ヶ年分国役金請取証) 卯二月二〇日
清水新田当役徳兵衛 勘左衛門様宛 一通 三五四

覚(御法会国役金受取) 多摩郡後ヶ谷村
卯二月一五日 大岡源右衛門手代田中東蔵他一名 一通 五三

覚(川々国役金請取) 多摩郡後ヶ谷村
卯二月一五日 大岡源右衛門手代田中東蔵他一名 一通 五三

覚(国役金請取証) 辰三月二十五日 飯塚常之丞手代内藤忠蔵 後ヶ谷村名主中宛 一通 三〇六

覚(琉球人参府につき国役金請取証) 巳八月四日 山本大膳手附齊藤普八郎他二名 武州多摩郡後ヶ谷村宛 一通 三〇五

覚(国役金請取証) 巳二月一日納 川崎平右衛門手代佐藤兵次兵衛ほか 多摩郡後ヶ谷村宛 包紙有 一通 三〇四

覚(川々国役金請取) 午二月二十四日 平岩右膳手附館雄次郎他四名 武州多摩郡後ヶ谷村宛 一通 八六

覚(川々国役金 本田分・新田分請取) 未一〇月二六日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛 一通 八五

覚(国役金受取証) 未一月一六日 久保田十左衛門手代岩佐専九郎他二名 多摩郡後ヶ谷村宛 一通 三三八

覚(諸夫錢・国役金・営膳入用その他書上げ) 未二月二〇日 名主原仁兵衛 三光院御世話人中様宛 一通 三三九

覚(国役金請取証) 未二月 川崎平右衛門手代佐藤兵次兵衛ほか 多摩郡後ヶ谷村宛 二通 三三四

覚(国役金請取証) 申一〇月二日 清水村名主市郎右衛門 勘左衛門様宛 一通 三三三

覚(申年国役金請取証) 申二月一〇日 久保田十左衛門手代中田代右衛門他二名 多摩郡後ヶ谷村宛 一通 三三六

(国役金等請取控) 戌七月五日〜亥三月六日 飛田義十郎 一通 三五

覚(関東筋川々御普請国役金上納請取) 戌二月一日 飯塚伊兵衛手代高橋文内 後ヶ谷村名主中宛 一通 五八

覚(川々国役金請取) 戌二月二六日 平岩右膳手附田村弥三治他三名 武州多摩郡後ヶ谷村宛 一通 八五

覚(川々国役金請取) 亥二月一七日 大岡源右衛門手附高木三郎次他二名 多摩郡後ヶ谷村宛 一通 五九

その他

荏・大豆代永請取申手形之事 元禄二年二月一日 〇日 勘右衛門他四名 李右衛門殿宛 一通 三五

覚(享保元年夏成御年貢につき) 享保一年八月 後ヶ谷村 一通 一〇三

乍恐書付を以御訴訟申上候(当夏秋作物皆損につき) 享保五年八月 武州多摩郡山口領村々箱根ヶ崎村他一六ヶ村 朝比奈権左衛門様御役所宛 一通 一〇〇

覚(小物成之場所御改につき木山・荒地調) 享保二〇年一〇月一八日 名主・組頭 上坂安左衛門様御役所宛 一通 三五

巳ノ御年貢之通 元文二年閏一月 勘左衛門 横帳 一冊 三四

(宝曆十辰年より明和六丑年までの年貢書上) 縦帳 一冊 八五

納金巳入用(宝曆一年) 巳二月五日 平川茂左衛門 後ヶ谷村宛 一通 三六

(年貢取過ぎその他書付) 宝曆一年 一綴 三九

(年貢覚書留綴) 明和三年〜安永九年二月二五日 明和三年戌一月八郎右衛門分喜三郎へ渡し候覚その他 一綴 五三

一札之事(年貢内割相違につき) 安永二年三月六日 宅部村名主代新助他一名 後ヶ谷村長右衛門殿他三名宛 一通 四四

一札之事(御年貢内割相違につき) 安永二年三月六日 宅部村惣百姓代小平治他四名 後ヶ谷村長右衛門殿他三名宛 一通 四四

一札之事(御年貢間違出入引合につき連印状)
 安永二年三月 宅部村組頭市左衛門他九名 勘兵衛様他三名宛
 覚(当申年上納受取) 安永五年二月 名主弥十郎 納入宅部屋敷弥兵衛宛
 (当戌御切替三付増米被仰付承知仕、連判帳)
 後ヶ谷村 安永七年二月 七郎左衛門他一六名
 新屋鋪取永増改帳 後ヶ谷村 安永八年三月
 米納高帳 寛政三年二月
 覚(御買上米の内へ差出金請取証) 文化七年三月二八日 篠山十兵衛元手附小林源左衛門他三名 後ヶ谷村名主勘左衛門外拾三人宛
 覚(代米請取覚) 文政四年七月二五日 清水村名主仁兵衛 後ヶ谷村勘左衛門殿宛
 覚(菜種大豆代米渡) 文政五年一月二二日 平岩右膳手代福田元五郎他四名 武州多摩郡後ヶ谷村名主・組頭中宛
 乍恐以書付奉願上候(年々不作につき七ヶ年定免を十ヶ年季定免に等願書) 文政一年三月 多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他二名 下書
 覚(御年貢真木代請取) (文政一二年) 丑二月一〇日 清水村市郎右衛門 納入勘左衛門殿宛
 覚(大豆代請取) (文政一二年) 丑八月一四日 清水村名主市郎右衛門 納入勘左衛門殿宛
 文政一二年丑年増米永書付 包紙有
 武蔵国多摩郡後ヶ谷村本免小前帳 文政一二年 横帳
 武蔵国多摩郡後ヶ谷村本免小前帳 文政一二年 横帳
 武蔵国多摩郡後ヶ谷村本免小前帳 文政一二年 横帳

乍恐以書付奉願上候(宅部村五カ村破免願書)
 天保七年九月三日 藏數分役人惣代名主左衛門他一名 山本大膳様御役所宛
 南新左衛門方所持書付写并御年貢一件為取替一札(御年貢米永その他過不足差引諸勘定受取証文等)
 天保七年二月二日 名主勘左衛門 納入新左衛門宛
 永取小前帳 天保九年三月改 後ヶ谷村名主平重郎
 乍恐以書付奉願上候(隣村並に定石代金納願い)
 天保九年八月 藏數分名主左衛門他二名・奈良橋村名主伝右衛門他二名・後ヶ谷村名主平重郎他三名 山本大膳様御手代河野愛助様・山根兼助様宛
 乍恐以書付奉願上候(地味悪く悪天候の為御年貢上納出来兼につき破免検見入願い) 天保九年八月 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎他二名・宅部村名主半兵衛他二名・奈良橋村名主伝右衛門他二名・藏數分名主左衛門他二名・廻り田村名主後見組頭六郎右衛門他二名 山本大膳様御役所宛
 反別并取米永改帳 天保九年二月 武州多摩郡後ヶ谷村 横帳
 (延宝二年より天保まで年貢割付・目錄數書上げ) 天保 一通 二八四
 小手形写・真加金請取 嘉永二年〜安政四年 九ヶ年分 包紙有 五通 二四〇
 (安政六年より慶応四年迄後ヶ谷村本途米永証明書) 明治一年五月 葦山県 後ヶ谷村名主・組頭宛 一通 三六五
 当辰違作三付畑田成内見帳 明治一年一〇月 横帳 一冊 二六三
 武州多摩郡後ヶ谷村

乍恐以書付奉願上候(当年凶作につき破免御検見願い) 明治二年九月 武州多摩郡在来御料・酒井上知・中川上知 七ヶ村惣代芋久保村年番名主弥五兵衛・藏敷分名主左右衛門 葦山県御役所宛	一通	一六五
当巳違作二付田方内見帳 明治二年九月 武州多摩郡後ヶ谷村	一冊	一六六
巳仮免定(田方仮免定) 明治二年 多摩郡後ヶ谷村 包紙有	一通	一六七
乍恐以書付奉願上候(当年より子年まで七ヶ年季御定免切替願い) 下書 明治三年二月 武州多摩郡後ヶ谷村 葦山県宛	一冊	一六七
記(金銭差引勘定書上げ証) 明治二〇年六月七日改 北玉郡清水村紺や泰助 サ山村杉本惣太郎様宛	二通	二四七
覚(御年貢諸役錢皆済受取証) 子五月二日 清水村名主鉄五郎 後ヶ谷村慶次郎殿宛	一通	二四六
覚(大豆代金ほか請取証) 子八月二〇日 市郎右衛門 納人勘左衛門殿	一通	二四五
乍恐以書付を願上候(年貢米の買納願書) 子一〇月五日 藏敷分・奈良橋村・後ヶ谷村右三村惣代 山本大膳様御役所宛	一通	二四六
覚(御年貢諸役書上げ証) 子一月二九日 清水村名主鉄五郎 杉本慶次郎殿宛	一通	二四三
覚(返納金請取証) 丑三月晦日 清水村三光院 杉本石井慶治郎様宛 包紙有	一通	二三七
覚(御進筈二付献金小手形) 丑九月二九日 江川太郎左衛門役所根本慎藏他四名 後ヶ谷村宛 包紙有	一通	二四一
納金包入用(金子受取) 丑二月二日 小森伝左衛門他一名 後ヶ谷村宛	一通	二四〇
覚(御年貢諸役差引勘定証) 丑二月 清水村名主鉄五郎 杉本慶次郎殿宛	一通	二四七
覚(真木代請取・丑年代米請取) 寅二月十五日 清水村名主市郎右衛門 後ヶ谷村御名主様宛	一通	二四四
覚(大豆代請取) 寅八月一日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛	一通	二四五
おぼへ(秋成年貢受取証) 卯九月二〇日 名主彦四郎 納人勘左衛門殿宛	一通	二四〇
卯年勘定帳	一冊	二七七
覚(辰御年貢米・真木代金請取証) 辰一月二十九日 名主彦兵衛 勘左衛門殿宛	一通	二三三
覚(御年貢金・村入金等書上げ) 巳二月二〇日 清水村利兵衛 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二三三
(年貢不納についての書付) 午二月 浅井武次郎	一通	二三五
納金包入用(午年分請取) 午二月八日 平川茂左衛門他一名 後ヶ谷村宛	一通	二五五
覚(大豆代請取) 未八月一四日 名主市郎右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二四四
(納金包入用ほか請取証) 未二月一四日ほか 松下藤八ほか 後ヶ谷村宛	一綴	二三九
覚(種根大豆代米渡請取) 申一月一四日 清水村名主市郎右衛門 後ヶ谷村名主勘左衛門殿宛	一通	二四七
覚(御年貢請取証・小手形ほか) 酉一月二二日 江川太郎左衛門役所長沢与四郎他三名 後ヶ谷村宛	一通	二五三
覚(御年貢諸役差引勘定書上げ証) 酉二月二七日 清水村鉄五郎 平重郎殿宛	一通	二四四

覚(御年貢諸役勘定書上げ証) 戌六月五日改
清水村鉄五郎 一通 二四四

覚(御年貢諸役銭勘定書上げ証) 戌二月二十九日
清水村鉄五郎 杉本平重郎殿宛 一通 二四七

覚(御年貢諸役銭内金預り証並びに口上書)
亥一月五日 清水村名主鉄五郎 平重郎殿宛 一通 二四八

覚(御割返代米三ヶ年分請取証) 亥二月十九日
清水村名主市郎右衛門 後ヶ谷村御名主様宛 一通 二五二

覚(御割返代米ほか請取証) 亥二月十九日
清水村名主市郎右衛門 後ヶ谷村名主勤左衛門様宛 三通 二五〇

覚(大豆代金請取証) 八月十八日
宅部村役人市郎右衛門 杉本勤左衛門様宛 一通 二五七

覚(年貢反取壱坪につき入用覚) 二月一六日
彦兵衛他二名 杉本勤左衛門様宛 一通 二五六

雑記帳(子御年貢可納割附之事、他)
横帳 一冊 二〇九
一冊 二五五

(田方・畑方班別収納帳)

村政

村役人

乍恐以書付奉願上候(病身につき名主退役願)
安永三年八月 多摩郡高木村名主宇兵衛悻源藏 一通 四五五

一札之事(年寄役交替につき) 安永七年四月
年寄新助 組頭伝七殿・治兵衛殿宛 一通 二五三

差出申一札之事(名主役年番勤証文 控)
安永七年四月 宅部村与頭茂左衛門他七名 後ヶ谷村伝七殿・藏敷村治兵衛殿宛 一通 二五四

一札之事(名主役出入につき年番とする旨の内済証文)
安永七年四月 宅部村佐兵衛 取持人藏敷村治兵衛殿 後ヶ谷村伝七郎殿宛 一通 二五〇

差出申一札之事(名主役出入一件糺談の上内済証文)
安永七年四月 宅部村与頭茂左永門他七名 次兵衛殿他一名宛 一通 二四八

乍恐以書付奉願上候(名主勤左衛門病死につき悻惣四郎の跡役願) 後欠 天明二年三月 多摩郡後ヶ谷村左衛門 飯塚伊兵衛様御役所宛 一通 二五四

乍恐以書付奉願上候(名主勤左衛門病死につき悻惣四郎の跡役願百姓連印状) 後欠 天明二年三月 多摩郡後ヶ谷村八右衛門他四三名 一通 二五三

乍恐以書付奉願上候(遠隔地につき名主後代人一名承認願) 控 享和一年九月 多摩郡後ヶ谷村名主勤左衛門煩三付代兼組頭伝七他二名 早川八郎左衛門様御役所宛 一通 二五六

乍恐以書付奉願上候(新助悻名主役入願) 享和一年一〇月 茂右衛門他百姓四四名連印 早川八郎左衛門様御役所宛 一通 二五九

差出申一札之事(名主役願証文) 享和一年一〇月
当人・後ヶ谷村新助他二名 同村名主勘左衛門殿宛
一通 六一

諸雜綴込(年番名主につき奈良橋一件済口証文)
文化二年 縦帳 一冊 三五三

乍恐以書付奉願上候(名主勘左衛門改名願)
文政三年一二月一九日 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘
左衛門 大岡源右衛門様御役所宛
一通 七六

差出申一札之事(不正の名主・組頭退役一件願書預
りにつき証文 写) 天保五年二月三日 扱人廻り
田村名主太郎右衛門他一名 清水村治右衛門殿・忠
藏殿宛
一通 七五

差出し申受取一札(名主不正一件につき願い筋の金
高受取証文 写) 天保五年二月四日 清水村組頭
惣代忠藏他一名 御扱人御名主中様宛
一通 七五

乍恐以書付奉願上候(清水村名主不正一件隣村廻り
田村・後ヶ谷村兩名主による塾談内済の願書)
天保五年二月 中川將監知行所武州多摩郡廻り田村
名主太郎右衛門・山本大膳支配所同州同郡後ヶ谷村
名主新左衛門 浅井吉太郎様御役人中様宛
一通 七五

乍恐以書付奉願上候(清水村名主退役願い)
天保五年二月 武州多摩郡清水村名主七郎左衛門・
名主市郎右衛門 御地頭所様御役人中様宛
一通 七五

乍恐以書付奉願上候(後ヶ谷村相名主新左衛門の勤
方につき御利解願) 天保一〇年一月一八日 後ヶ
谷村名主平重郎 山本大膳様御役所宛
一通 二五七

乍恐以書付奉願上候(後三名主役人につき願書
控) 天保一一年三月 役入願人後三郎他四五名連
名 山本大膳様御役所宛
一通 二五五

乍恐以書付奉願上候(名主後三郎乱心同様につき圍
入願い) 天保一五年八月一七日 武州多摩郡後ヶ
谷村名主後三郎母ミよ并親類惣代兼三右衛門他二名
江川太郎左衛門様御役所宛
一通 二五九

一札之事(名主役人につき証文) 弘化四年一〇月
役入願人彦四郎他一名 名主平重郎殿宛
一通 三三〇

一札之事(彦四郎名主役人若年につき証文) 弘化四
年一〇月 組頭三右衛門他一名 名主平重郎殿宛
一通 三三九

慶次郎役入願入用割合帳 弘化四年一〇月
後ヶ谷村名主平重郎 横帳 一冊 三三八

乍恐以書付奉願上候(平重郎・後三郎兩名主退役及
び後役願い 下書) 弘化四年一〇月二六日
一通 三三六

乍恐以書付奉願上候(平重郎・後三郎兩名主病氣退
役につき後役願い連印状) 弘化四年 武州多摩郡
後ヶ谷村百姓錢次郎他四六名 江川太郎左衛門様御
役所
一通 三三三

口上書(俸慶治郎幼年につき名主役後見口上書)
嘉永二年六月
一通 三三六

清水村一件記録(名主不正糾弾の訴訟 控)
慶応四年六月 杉本平重郎 縦帳 一冊 二五九〇

乍恐以書付奉願上候(名主彦四郎死亡につき跡役願
い連印状) 慶応四年九月一七日 武州多摩郡後ヶ
谷村百姓源三郎他四四名 江川太郎左衛門様御役所
宛
一通 二五九四

入置申一札之事(名主役人につき証文)
慶応四年九月 当人新左衛門他二名 平重郎殿宛
一通 二五九五

清水村一件(名主不正糾弾訴訟・皆済目録他村控)
明治一年二月 杉本平重郎 縦帳 一冊 二六五

村高名主給書上帳 控 明治二年六月 武州多摩郡
後ヶ谷村 縦帳 一冊 二六五

村高名主給書上帳 本書 明治二年六月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六五
御利解願(名主小町大膳の跡式相続につき願書) 明治三年一〇月二八日 武州多摩郡廻り田村九郎左衛門組役人惣代組頭野沢長左衛門他三名 葦山県役所宛	縦帳	一冊	一六一
褒状(貧民救助につき) 明治三年一〇月 葦山県 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎他一六名宛	二通		二五六
為取替儀定一札之事(名主大膳死去のため跡役入証文) 明治三年閏一〇月一九日 大膳死失跡養子相続人小町九内他八名 組頭衆中・惣百姓中	一通		一七三
名主小町九内より村役人七人江年番名主役代として勤役中諸書類相預候写 明治三年一二月三日 杉本勘左衛門控	縦帳	一冊	一七三
印鑑(浜松行につき改印書) 明治四年三月二三日 杉本平重郎	一通		二五二
乍恐以書付奉願上候(組頭役入願い) 下書) 明治四年五月二四日 武蔵国多摩郡後ヶ谷村先村役人惣連印・役入願人文右衛門事武右衛門 葦山県御役所宛	一通		一七五
名主杉本平重郎退役願 志通 御印章願書付 (明治四年) 辛未八月八日 何ノ区何州何郡村 葦山県御役所宛	縦帳	一冊	一七四
(後ヶ谷村名主・組頭改称および給料取調書) (明治五年) 申五月	縦帳	一冊	一七〇
庄屋給米覚(名主給) 辰十一月 山口領村々名主・組頭・百姓共 六郎兵衛宛	一通		二五三
飛札(今日中に出府のこと他) 未二月二九日 八丁堀御屋敷内弥右衛門 御名主杉本平十郎様他三名宛 入置申一札之事(跡役入証文 下書) 当人新左衛門他二名 平重郎殿宛	一通		二五二
	一通		二三三
(多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門改名願い) 下書	一通		八〇〇
乍恐以書付奉願上候(名主死亡につき跡役願い) 武州多摩郡後ヶ谷村小前・村役人一同 江川太郎左衛門様御役所宛	一通		二三三
乍恐以書付御届奉申上候(水帳・名寄帳筆写保存につき願書)	一通		二六〇
百姓等			
惣百姓願名帳 寛政一年三月 多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門	縦帳	一冊	五八
惣百姓讀書連判帳 寛政二年一月 新左衛門他四三名 名主勘左衛門殿宛	縦帳	一冊	五〇
穢多始末書上帳(エタの所持地年貢等についての書上げ) 文化六年一月 多摩郡久米川村名主伝右衛門・組頭磯右衛門・百姓代宇平治 篠山十兵衛御役所	縦帳	一冊	三〇五
惣百姓落着由緒之記 明治 武蔵国多東郡宅部郷住人石井氏控	横帳	一冊	二五七
村議定			
一札之事 写(村中相談の上過料銭取極め証文) 明和九年七月二四日 宅部村連印	一通		四七
義定証文之事(馬療治場所取極め証文) 文化一〇年二月一五日 組頭定右衛門他三名 杉本勘左衛門殿	一通		七五
義定一札之事 下書(馬療治場所証文) 文化一〇年二月一五日 組頭定右衛門他三名	一通		七六
村擬議定連判帳 天保七年一〇月 後ヶ谷村市郎左衛門他四二名連判	縦帳	一冊	一〇四

御用留

久保早左衛門様御触書・切金通用御触書 明和九年一月 後ヶ谷村	縦帳	一冊	六五七	御用留 天保九年四月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村 (御用留) 天保一四年二月二七日	縦帳	一冊	二一〇〇
(御用留の一部) 前後欠 安永五年一二月	縦帳	一冊	二六七	御用留 改二番 天保一五年一月吉日 後ヶ谷村名主平重郎	縦帳	一冊	二二九
諸御用廻状留 安永六年一月	縦帳	一冊	二六九	御用留 改三番 弘化三年二月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二八〇
御用留日記 第貳番 天明八年一二月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	五五	御用日記録 嘉永三年一月吉日 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二三三
御用留 貳番 寛政二年 多摩郡後ヶ谷村名主金兵衛	縦帳	一冊	五七	御用日記録 改六番 嘉永四年三月吉祥日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四四
御用留 亥春貳番 寛政三年	縦帳	一冊	六一	御用日記録 嘉永五年一月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四七
(万覚書留帳) 寛政四年二月下旬	横帳	一冊	六三	村用日誌 安政二年二月ヨリ 後ヶ谷村名主慶次郎 控	縦帳	一冊	二四八
御用留 春貳番 寛政五年 後ヶ谷勘左衛門	縦帳	一冊	六七	御用日記 安政三年一月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二五二
御用向書物 寛政七年	縦帳	一冊	二五〇	御用日記帳 安政四年四月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四三
(御用留の一部) 前欠 文化一三年〜文化一四年 (触書留帳) 文政一〇年二月二〇日	縦帳	一冊	二四八	御触留 安政四年六月 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四三
文政度御用留 文政一二年	縦帳	一冊	二八	村用日記帳 安政四年八月吉日 後ヶ谷村名主後見平重郎	縦帳	一冊	二四六
御用留 天保二年一月四日	縦帳	一冊	九〇	御用日記帳 安政六年一月吉日 後ヶ谷村名主杉本平重郎	縦帳	一冊	二四四
御用日記 天保二年一月吉日	横帳	一冊	九〇	御触留帳 安政六年三月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四七
御用留 天保三年一月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	九九	諸用控 安政六年七月吉日	横帳	一冊	二四〇
御用留 天保三年一月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	九〇	村用日記帳 安政七年三月吉日 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四八
御用留 天保五年一月 後ヶ谷村名主勘左衛門	縦帳	一冊	九〇	村用日記帖 文久三年四月吉日 後ヶ谷村名主平重郎	縦帳	一冊	二四九
御用留 天保六年閏七月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	九一	御用日記帳 慶応二年九月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二五九

御用留 慶応三年一〇月 後ヶ谷村名主平重郎	縦帳	一冊	一五九	御貯稗穀拝借小前帳 天保五年六月	横帳	一冊	九三三
村用日記 明治二年一月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六四三	武蔵多摩郡後ヶ谷村			
御用日記 午壹番 明治三年一月吉日 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六五五	御貯穀年賦拝借詰戻小前帳 天保七年三月	横帳	一冊	九六六
御用日記 貳番 明治四年五月	縦帳	一冊	一五五五	武州多摩郡後ヶ谷			
武蔵国多摩郡後ヶ谷村名主杉本勘左衛門				御貯穀年賦拝借詰戻小前帳 天保七年三月	横帳	一冊	九七七
杉本家御用留目録 (明治廿四年十月蔵敷村内野左衛門庫三写置もの也) 明治二十四年一〇月	縦帳	一冊	二〇三三	武州多摩郡後ヶ谷村			
(杉本家旧御用留帳などを蔵敷村内野氏の庫に写置ときの控記録状) 明治二四年	三通		二〇三三	乍恐以書付奉願上候 (貯穀詰戻延年願い) 下書			
貯穀・夫食				天保七年一〇月二〇日 武州多摩郡高木村代兼蔵敷			
請取申金子之事 (夫食返納金受取書) 延享二年一二月 江川郷助・牛尾友八 多摩郡後ヶ谷村宛	二通		二六六	分左衛門他二名 山本大膳様御役所宛			
乍恐書付以申上候 (当年豊年につき貯穀願) 明和四年九月	一通		三七七	夫食代拝借小前帳 天保八年一二月	縦帳	一冊	二〇三三
御困穀小前帳 寛政三年一〇月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	六〇八	武州多摩郡後ヶ谷村			
去酉年分御困穀小前帳 文化一二年一月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	七三三	乍恐以書付奉願上候 (貯穀拝借詰戻し延年願い) 天保九年二月一六日 武州多摩郡砂川村他一四ヶ村惣代砂川村名主源五右衛門 山本大膳様御役所宛			
御貯穀半年分御返納書上帳 文政五年 多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊	七九	為取替一札之事 (拝借返納詰戻貯穀取集め預り証文) 天保二二年三月 預り人名主平重郎・同後三郎			
御貯穀小前帳 天保二年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊	九七	貯穀年賦拝借詰戻小前帳 天保一三年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊	二二三
御貯穀小前帳 天保三年一月 武州多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊	九六	貯穀書上帳 安政四年八月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四七
御貯穀小前帳 天保四年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊	九六	入置申一札之事 (先代名主大善預り分の貯穀困備の内残穀につき証文) (明治三年) 庚午閏一〇月一八日 廻り田村大善養子相続人小町九内他一名 惣百姓中宛			
売麦穀高書付 天保五年四月 山本大膳御代官所武蔵多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	九六				
貯穀拝借小前帳 天保五年六月 多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊	九三三				

覚(返納穀請取証) 子六月八日
大沼田新田名主伝兵衛 孫七殿宛
一通 二四七

村入用帳

覚(御願見入用高割後ヶ谷分請取証)
正徳一年六月一日 多摩郡日野本郷名主彦右衛門
他三名 多摩郡後ヶ谷新田共十兵衛殿宛
一通 二五八

覚(御願見入用高割後ヶ谷分請取証)
正徳一年六月一日 多摩郡拜島村庄左衛門他一名
後ヶ谷村御名主中宛
一通 二五七

入置申証文之事(隣家につき定使給分割合除外一札)
明和三年二月 隣家権右衛門他五名 名主後代勘
左衛門殿宛
一通 二五九

村勘定帳請書 写 明和七年六月
村入目帳・庭帳請書
多摩郡後ヶ谷村
縦帳 一冊 四〇六

覚(石橋造築代金受取証) (天保五年) 午八月二五日
石屋長右衛門 杉本様宛
一通 九六六

入置申一札之事(村入用割合につき)
天保七年二月一日 宅部村百姓物代長左衛門他二
名 後ヶ谷村名主勘左衛門殿
一通 二五六

戌年村入用控帳 天保九年一月 後ヶ谷村名主
横帳 一冊 二六三

酉年村入用書上帳 天保九年三月
武州多摩郡後ヶ谷村
横帳 一冊 二二七

覚(村入用他受取) (天保一〇年) 亥二月一〇日
名主新左衛門 名主平重郎殿宛
一通 二六六

覚(村入用夫錢受取) (天保一〇年) 亥二月一〇日
名主平重郎 納人新左衛門殿宛
一通 二六七

廻り田村嘉兵衛出府中雑用割合帳 嘉永二年九月
縦帳 一冊 三三〇

乍恐以書付奉申上候 写(火災による貯穀御封印
外しにつき再御見分願い)(安政四年) 巳六月三日
武州多摩郡後ヶ谷村役人惣代与頭忠右衛門 江川太
郎左衛門様御役所宛
一通 二四三

出府中諸入用覚帳 明治三年三月
後ヶ谷村名主平重郎
横帳 一冊 一六九

書状(菜種所持所持取調について・貯穀詰戻延年願
書提出の件について等願達状) 酉九月一六日
後ヶ谷村名主勘左衛門 宅部村他四ヶ村村御名主中
一通 二〇五

(村入用増額につき小前不承知難渋申につきお知
らせの書状) 戌二月四日 真野新左衛門 石
井平重郎様宛
一通 二六八

内堀翁建碑諸費計算簿 三月八日 関田金蔵他三名
縦帳 一冊 二〇九

口上(村入用割合使いの者に渡し願い)
一二月二九日 新左衛門 杉本勘左衛門様宛
一通 二三五

口上(村入用殘金請取ほか) 二月一七日
新左衛門 杉本勘左衛門様ほか宛
三通 二五七

覚(村入用分担金通知書) 一二月一七日
庄兵衛 杉本勘左衛門様
一通 二四五

記(村入用等の請取書)
村方出入
一二通 一八三

入置申手形之事(金錢出入の和談証文)
貞享五年七月二一日 十兵衛・助左衛門・喜三郎・
惣百姓 御扱人衆左近殿他六名宛
一通 二六

差出申一札之事(平助松木伐荒につき詫証文)
宝曆九年一二月 多摩郡奈良橋村名主勘兵衛他四名
同郡後ヶ谷村勘左衛門殿宛
一通 三五

奈良橋村平助・助左衛門・善兵衛後ヶ谷村勘左
衛門持山伐荒候出入覚 宝曆九年二月二二日
一綴 二六

指出申一札之事(平助等松木伐荒につき詫一札) 宝曆九年一月、多摩郡奈良橋村当人平助他四名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三四	入間郡小ヶ谷戸村・糺谷村喧嘩一件日延願ニ付 議定写 文政一三年六月	縦帳	一冊	八五
(連判状) 前欠 宝曆一〇年一月 市郎兵衛他四名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三八	添証文之事(重兵衛不心得不埒の件につき詫入起証文) 天保七年一月 中藤村清五郎他三名 新左衛門殿宛	一通	一通	九四
(娘衣類等返却要求書) 前欠 明和五年五月 円達院 清左衛門殿宛	一通	二五九	添証文之事 下書(重兵衛不埒一件詫入起証文) 天保七年一月 中藤村清五郎他二名 新左衛門殿宛	一通	一通	九五
差出申一札之事(盗物一件内済につき) 安永七年 一月 杉本勘左衛門 ほたへき村定八殿他三名宛	一通	四七	差出申一札之事 下書(木伐通一件御察当につき 詫証文) 天保八年六月 当人内堀喜三郎他五名 奈良橋村名主長左衛門殿・村役人中宛	一通	一通	一〇八
一札之事(不作法詫証文) 天明七年九月 高木村出来蔵他一名 清水村兵右衛門殿宛	一通	三三	為取替議定一札之事(村人用夫錢之儀疑惑一件塾談 内済につき証文 控) 天保一〇年一月 小前村役 人廿七人惣代名主新左衛門他扱人六ヶ村一〇名	一通	一通	二六五
乍恐書付を以奉願上候(口論打擲一件済口証文) 寛政一年七月	一通	三四	為取替議定之事(清水村出入一件につき諸雜用割合 議定書) 天保一二年九月 廻り田村小前惣代組頭 重右衛門・名主太郎右衛門・後ヶ谷村同平十郎	一通	一通	三三五
相渡申一札之事(酒犯喧嘩内済証文控) 寛政一年七月 相手廻り田村勘左衛門他一〇名 久米川村伝次郎殿他一名	一通	五七	差出申一札之事(廻り田村名主他二名に掛る難渋出 入一件済口証文など関連文書綴) 嘉永七年三月二 八日 訴訟人荒幡村名主八郎右衛門・相手廻り田村 名主龜八他二名	一綴	一綴	三〇八
乍恐以書付奉願上候(喧嘩詫済口証文持参日延願) 文化一年四月 早川八郎左衛門御代官所多摩郡奈良 橋村長吉代兼親類百姓孫市他一五名 勘左衛門殿・ 勘兵衛殿・金左衛門殿宛	一通	六七	(利兵衛口論・乱暴一件関係文書一括綴) 嘉永七年四月九日	一綴	一綴	三三三
差出申一札之事(隣荒地開発境木掘取等不義につき 詫証文) 文化一二年八月一八日 当人宅部村百姓 伊兵衛他三名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	七五	(小川村百姓熊右衛門と小川寺との出入内済証文) 前欠 安政四年三月二四日 願人百姓熊右衛門他一 二名 江川太郎左衛門様御手代月岡十一郎様宛	一通	一通	三六三
差出申一札之事(隣地開発境木掘取等不義につき詫 一札) 文化一二年八月一八日 当人宅部村百姓伊 兵衛他三名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	七五	儀定之事(小川村百姓弥五兵衛并娘ふて兩人病死葬 式につき差縫れ的一件) 安政四年三月 小川村願 人熊右衛門他一三人 御扱人中宛	一通	一通	三〇七
差出申一札之事 下書(隣地開発境木掘取等不義 につき詫一札) 文化一二年八月一八日 当人宅部 村百姓伊兵衛他三名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	七五	詫一札之事 下書(娘誘引につき詫証文) 万延二年一月 当人清水村善吉他二名 高木村清 兵衛殿宛	一通	一通	四〇〇

詫一札之事(芝山地境上木伐込につき詫証文)
 元治二年二月 当人宅部村彦兵衛他二名 後ヶ谷村
 平重郎殿宛 一通 一五五

宅部村一件相手方歎願書 明治三年四月四日
 武州多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 一六五

一札(地境差纏れ一件和解証文) 明治六年九月八日
 竹内竹藏・竹内茂左衛門 正副戸長御中 一通 一八〇

西田平右衛門諸出入控 明治二年ヨリ 杉本氏控 横帳 一冊 一九九

議定一札之事(孫七一件雑用金をもって内済済口議
 定書)申一月一日 訴訟人嘉兵衛・相手孫七親
 九兵衛他一七名 暖人太郎右衛門殿・清左衛門殿・
 平十郎殿宛 一通 一四七

一札之事(内堀村と出入の為境内分間絵図等差出す
 後日返還につき受取状) 後ヶ谷村円乗院他一名
 勘左衛門殿宛 一通 四五

打毀し捨札

打毀捨札ニ付請書連判帳 天保七年二月一日
 後ヶ谷村 縦帳 一冊 二〇七

打毀徒党企捨札ニ付御請書連判帳
 天保七年二月五日 後ヶ谷村 縦帳 一冊 二〇八

徒党取鎮方御請書連判帳 天保七年二月
 多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 二〇〇

戸口

宗門人別帳

武州山口領後ヶ谷村宗旨改帳 下書 縦帳 一冊 二四五
 元禄二年六月二五日

(元禄式年宗旨帳など村文書名の書上げ)
 元禄二年、明治三年 一通 九九

武州多摩郡山口領後ヶ谷村百姓人別宗門改帳
 下書 宝永四年九月 名主全右衛門他五名 林甚五
 右衛門様御代官所宛 縦帳 一冊 五

武州多摩郡山口領後ヶ谷村人別宗門改帳 控 縦帳 一冊 二三
 享保三年二月 石川伝兵衛様宛 表紙のみ

武州多摩郡後ヶ谷村人別宗門改帳 控 縦帳 一冊 一八
 享保一四年七月 後ヶ谷村名主全右衛門他五名 岩
 手藤左衛門様御役所宛

多摩郡後ヶ谷村人別宗門書上ヶ帳 控 縦帳 一冊 二〇三
 享保一八年六月 名主全右衛門他五名 上坂安左衛
 門様御役所宛

武州多摩郡後ヶ谷村人別宗門書上ヶ帳 控 縦帳 一冊 二七
 享保二〇年一月 後ヶ谷村名主全右衛門他五名
 上坂安左衛門様御役所宛

武州多摩郡後ヶ谷村人別宗門改帳 宝曆八年三月 縦帳 一冊 三〇
 人別宗門改書上帳 下書 安永七年四月

多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 四三
 宗門人別 下書 安永九年三月 後ヶ谷村

人別宗門改書上帳 控 天明二年三月 縦帳 一冊 五五
 多摩郡後ヶ谷村

人別宗門改書上帳 控 天明二年三月 縦帳 一冊 五五
 多摩郡後ヶ谷村

人別宗門改書上帳 控 天明二年三月 縦帳 一冊 五五
 多摩郡後ヶ谷村

武藏国多摩郡後ヶ谷村人数書上帳	天明六年三月	縦帳	一冊	五五
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	天明八年	縦帳	一冊	五七
中欠				
人別宗門改書上帳	控 寛政二年三月	縦帳	一冊	五四
多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他五名				
人別宗門改書上帳	寛政六年	縦帳	一冊	五三
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	寛政七年三月	縦帳	一冊	五四
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	控 寛政一〇年三月	横帳	一冊	六四
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	享和一年三月	縦帳	一冊	六五
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門書上帳	文化一年三月	縦帳	一冊	六七
多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門				
人別宗門改書上帳	文化六年	縦帳	一冊	六四
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文化七年三月	縦帳	一冊	六六
多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門				
人別宗門改書上帳	文化八年三月	縦帳	一冊	七〇
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文化九年三月	縦帳	一冊	七〇
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文化一〇年三月	縦帳	一冊	七七
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文化一一年三月	縦帳	一冊	七四
武州多摩郡後ヶ谷村				
去西年人別増減書上帳	文化一二年三月	縦帳	一冊	七五
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文化一二年三月	縦帳	一冊	七三
武藏国多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文政三年三月	縦帳	一冊	七三
武藏国多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文政五年三月	縦帳	一冊	七八
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文政六年三月	縦帳	一冊	八〇
多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文政九年三月	縦帳	一冊	八六
多摩郡後ヶ谷村				
人別増減書上帳	文政九年三月	縦帳	一冊	八六
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文政一一年三月	縦帳	一冊	七五
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	文政一二年三月	縦帳	一冊	八〇
武州多摩郡後ヶ谷村				
卯年人別改	本新屋敷共反別改 小作帳 宅部	横帳	五冊	七九
反別帳	宅部越石反別帳 文政十三年 一括綴			
人別宗門改書上帳	天保五年三月	縦帳	一冊	九五
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	天保八年三月	縦帳	一冊	一〇三
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	天保九年三月	縦帳	一冊	一一八
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	天保一〇年三月	縦帳	一冊	一二三
武州多摩郡後ヶ谷村				
人別宗門改書上帳	天保一二年三月	縦帳	一冊	九五
武州多摩郡後ヶ谷村				
宗門人別改書上帳	天保一五年三月	縦帳	一冊	二五七
武州多摩郡後ヶ谷村				

宗門人別改書上帳 弘化二年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四七	村況	
人別宗門改書上帳 明治二年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二四九	村鑑・村明細書上帳	武蔵国多摩郡山口領後ヶ谷村諸色覚書上帳(村明細書上帳 林甚五右衛門様書上ヶ下帳) 宝永三年四月 名主左右衛門他五名
(家数・人別書上げ) 去巳年・当午年 後ヶ谷村 (宗門改人別帳) 前・後欠	縦帳	一通	九八	村鑑案文 明和七年三月二四日	縦帳
人別送り状	縦帳	一冊	二五六	(村明細帳の一部) 断簡 明和七年三月 武蔵国多摩郡高木村長兵衛他二名	縦帳
人別送り之事 弘化二年二月 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎 赤尾村御名主中宛	一通	一通	二七〇	村鑑明細書上帳 控 安永七年四月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳
覚(人別送り一札受取覚) 弘化三年三月二五日 浅井才治郎知行所武州多摩郡幸久保村名主由五郎 江川太郎左衛門様御代官所同州同郡後ヶ谷村御名主中宛	一通	一通	二六五	(藏敷分村明細書上帳) 前欠 天明五年一〇月 藏敷分名主左衛門他七名 飯塚常之丞様御役所宛	縦帳
入置申一札之事(人別送り申立違いにつき訂正方ならび託証文) 文久二年五月 百姓三左衛門叔父安五郎他二名 名主平重郎殿宛	一通	一通	二六二	覚(御領所・御私領所・寺社領等藏敷分明細書上) 享和三年四月 多摩郡藏敷分名主等左衛門他二名	縦帳
五人組帳				村鑑明細帳 文化四年八月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	縦帳
御仕置五人組帳 (会田伊右衛門様より出候下書) 正徳六年二月	縦帳	一冊	一〇〇	乍恐以書付奉申上候(村鑑・村絵図等差出証文) 天保二年一月二八日 多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門 煩二付百姓代勘兵衛 田中五郎左衛門様御役所宛	縦帳
武州多摩郡後ヶ谷村五人組連判帳 延享二年四月 名主孫七他五名 伊奈半左衛門様御役所宛	縦帳	一冊	二四四	村鑑明細書上帳 天保二年 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門	縦帳
五人組連判書上帳 天保三年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	九三	村差出書上帳(村明細帳 控) 天保九年三月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村・宅部村	縦帳
五人組帳請書 天保九年十一月	縦帳	一冊	二二八	武州多摩郡後ヶ谷村商屋書上帳 天保九年八月二五日	縦帳
書状(借用の五人組帳紛失につき) 包紙・封筒共 大正一四年一月二五日 東京市牛込区穂積陳重 東京市外中渋谷杉本想太郎殿宛	一通	一通	二五五	村鑑明細書上帳 天保二二年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳

武蔵国多摩郡後ヶ谷村・宅部村明細書上帳 天保二二年三月	縦帳	一冊	三三二
除地産物書上帳 安政二二年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	二三八
産物有無書上帳 安政四年二月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一四〇六
村鑑明細書上帳 明治二二年二月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六四七
産物書上帳 明治二二年九月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六四四
産物書上帳 控 明治二二年九月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六三三
村明細帳 下書 明治六年一月二八日 第十二区拾番組後ヶ谷村旧名主杉本勘左衛門	縦帳	一冊	一八八
数目調 (村明細帳) 下書 明治七年四月 後ヶ谷村 (村役書上帳・村高家数人別書上帳等雛形) 前欠 子四月	縦帳	一通	三三〇七
馬捨場・馬捨場	縦帳	一冊	三三六
多摩・入間・高麗三郡村名集 杉本太市郎	半横帳	一冊	二〇五五
(武蔵国多摩郡高木村家数人別書上)	一通		二七六
村 絵 図			
後ヶ谷村絵図方角附帳 元文五年一〇月	横帳	一冊	三三
後ヶ谷村絵図方角附帳 (虫喰ニ相成候ニ付写置) 元文五年一〇月 杉本勘左衛門控	横帳	一冊	三三〇
後ヶ谷村絵図面方角附帳 元文五年一〇月	横帳	一冊	三三
元文中後ヶ谷村地図 元文五年一〇月 後ヶ谷村 名主勘左衛門 (元文五甲申年十月相改候後ヶ谷村絵 図面方角附虫喰相成候ニ付天保三辰年八月写替置も の也)	一冊		三三
(武州多摩郡山口領後ヶ谷村・宅部村村絵図) 延享二二年九月 後ヶ谷村名主孫七・宅部村名主半七	一冊		二四七
(永荒絵図面) 寛政五年四月 野田文蔵御代官所武 州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他一名	二冊		二七四
永不作下々畑絵図面 一部欠損 寛政五年 多摩郡後ヶ谷村名主他二名	一冊		二七一
永不作芝地絵図 寛政五年 多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他二名	一冊		六三
(後ヶ谷村村絵図) 寛政八年九月 名主勘左衛門他二名	二冊		二七〇
(後ヶ谷村村絵図) 文化六年六月一〇日 後ヶ谷村名主勘左衛門他二名	一冊		二六四
村絵図 武蔵国多摩郡後ヶ谷村 天保七年七月改 百姓代勘兵衛他二名	一冊		二六六
(後ヶ谷村・宅部村籠絵図) 天保七年七月 山本大膳支配所武州多摩郡宅部村名主半兵衛他五名	一冊		二七八
耕地絵図面 (田方御検見につき控) 天保七年九月 多摩郡後ヶ谷村・宅部村 山本大膳様御役所宛	一冊		二六九
耕地絵図面 武州多摩郡後ヶ谷村・宅部村 天保九年九月 宅部村百姓代長左衛門他二名・後ヶ 谷村百姓代勘兵衛他二名 山本大膳様御役所宛	二冊		二七四
耕地絵図 (中川平四郎様知行所入会) 天保九年九月 廻り田村百姓代勘右衛門他二名	一冊		二六五

(橋々御見分用繪図面の控) 天保九年一月四日 武州多摩郡 ^{後ヶ谷村} 入会名主半兵衛他三名 御勘定 宮田管太郎様宛	一 舗	二六九
(龜繪図) 天保十一年八月二二日 多摩郡藏敷村名 主左衛門他七ヶ村 立川村御陣屋御見廻衆中様宛 村繪図 写(地方御改正三付) 天保一四年八月	一 舗	二四七
番町繪図(江戸番町繪図) 嘉永六年五月 杉本茂林 堂写之	一 舗	二四六
常陸国茨城郡水戸城并城下凡繪図面 一部欠損(武 藏国入間郡久米郷平塚氏所持) 安政五年夏下旬 水戸殿家隠士谷重守	一 舗	二六三
後ヶ谷村 宅部村入会之図 写 明治二年二月一五日 葦山県御下吏大沢克之助様宛	二 舗	二六九
(田無村組合繪図) 明治二年二月一五日 杉本氏控 葦山県御下吏大沢克之助様宛	一 舗	二七〇
(奈良橋・藏敷・宅部・後ヶ谷の各村入会繪図) 明治二年一〇月 武州多摩郡酒井上知孝久保村弥五 兵衛他・在来御料中川上知六ヶ村六名	一 舗	二六九
御霊神社境界龜繪図 下書 明治三年三月 多摩郡後ヶ谷村名主平重郎	一 舗	二七五
後ヶ谷村鹿繪図面 明治四年一月 多摩郡後ヶ谷村役人惣代名主平重郎	一 舗	二七〇
(悪用水路橋梁御取調用繪図面) 明治四年五月 武州多摩郡藏敷分名主見習内野嘉一郎他四ヶ村名主・ 年寄 御支配葦山県権大属飯塚様宛	一 舗	二七〇
後ヶ谷村悪水路(川筋用水路御取調用下調図不用分) 明治四年五月	一 舗	二七〇
(後ヶ谷村上知繪図面) 明治四年九月 武州多摩郡 後ヶ谷村百姓代杉本勘兵衛他二名 葦山県御役所宛 (上知田方御検見用耕地繪図面) 明治四年九月 後ヶ谷村百姓代杉本勘兵衛他二名 葦山県御役所宛	一 舗	二六八
宅部村 後ヶ谷村耕地繪図 明治六年一〇月 清水村 第拾壹区拾番組後ヶ谷村百姓代杉本勘兵衛他二名	二 舗	二八九
(後ヶ谷村龜繪図) 明治七年四月九日 後ヶ谷村用掛杉本勘左衛門	一 舗	二七六
(戸山御庭之内御道之儀奉伺候繪図) 午九月 繪図	一 舗	二七九
利兵衛所持地面大積繪図見取・浅右衛門所持地 面見取繪図面	二 舗	二〇五
村繪図	一 舗	二〇五
畑繪図	一 舗	二二三
大沼田新田繪図	一 舗	二八九
繪図面控 武州多摩郡後ヶ谷村 武州多摩郡後ヶ谷 村百姓代勘兵衛他二名 平岩大膳様御手附堀口安兵 衛様他一名宛	一 舗	二六〇
(後ヶ谷村村繪図) 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他二名	一 舗	二六二
(後ヶ谷村村繪図) 後ヶ谷村百姓代勘兵衛他二名 田口五郎左衛門様御役所宛	一 舗	二六五
村繪図 武州多摩郡高木村	一 舗	二六六
耕地繪図 多摩郡後ヶ谷村	一 舗	二六七

武州多摩郡後ヶ谷村御料私領入会無役地山絵図
一部欠損

遠江小図 全

絵図面 武蔵国高木村 高木村名主金左衛門

分絵図百間老尺 武州多摩郡山口領 訴訟人後ヶ谷
村田乘院他四名・相手内堀村後ヶ谷戸方式拾町程名
主半十郎他一名

絵図面 武州多摩郡後ヶ谷村

(後ヶ谷村村絵図) 後ヶ谷村百姓代勤兵衛他二名

村絵図 武蔵国多摩郡後ヶ谷村

絵図面 後ヶ谷村・宅部村入会

後ヶ谷村名主平重郎・宅部村名主半兵衛他四名
(後ヶ谷村村絵図)

武州多摩郡後ヶ谷村名主勤左衛門他二名

水戸城図

村絵図 下書 武州多摩郡後ヶ谷村 百姓代勤兵衛
他二名

(狭山村近村絵図)

一 鋪 二六八

一 鋪 二六九

一 鋪 二九〇

一 鋪 二九一

一 鋪 二九二

一 鋪 二九七

一 鋪 二七〇

一 鋪 二七二

一 鋪 二七〇

一 鋪 二七三

一 鋪 二四五

伝馬役

助郷

道中入用夫銭預り金諸事覚帳

元禄一六年一月二八日

横帳 一冊 七

拾馬所覚書之事 享保一八年四月二日

中田伊左衛門 杉本勤左衛門殿宛

一通 二〇三

蔵宿人馬村役控帳 明和二年五月 右七ヶ村

横帳 一冊 三〇七

夫食代拝借小前帳 天保八年三月

武州多摩郡後ヶ谷村

縦帳 一冊 二〇〇

(助郷廻状添書) (天保八年) 西二月七日

大宮宿問屋甚之丞・同甚左衛門・年寄仙太郎 田木
村・後ヶ谷村・箱根ヶ崎村御惣代中宛

一通 二〇六

御伝馬廻状 (人足差出、松明、渡舟等につき)

(天保八年) 西二月七日 大宮宿年寄仙太郎他二
名 多摩郡後ヶ谷村他宛

一通 二〇七

上下高井戸宿より差村日記 控 天保二三年二月
後ヶ谷村

縦帳 一冊 二三三

就日光御参詣御伝馬御買揚賃銭取達帳

天保一四年閏七月 後ヶ谷村名主平重郎

横帳 一冊 二四八

天保一四年閏七月 後ヶ谷村名主平重郎
嘉永三戌年御法事 二付日光御成海道川口両宿増助人
元治二年御法会
馬一件記録 控 天保一四年・嘉永三年・元治二
年 後ヶ谷村名主平重郎

縦帳 一冊 二五五

人馬駄賃帳 弘化五年二月二九日
和州小池坊役者普門院

半横帳 一冊 二二三

於日光山就御法事岩瀨川口兩宿伝馬一件記録帳
 嘉永三年三月 武州多摩郡後ヶ谷村 横帳 一冊 二三四

日光御成道岩瀨・川口兩宿加助郷村々高調帳
 (嘉永三年) 戊午 後ヶ谷村名主平重郎 横帳 一冊 二六六

甲州道中内藤新宿方代助郷差村一件日記 控
 元治一年九月 多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 一五〇

内藤新宿伝馬助合一件入用帳并田沼玄蕃頭様御
 継立 元治一年一〇月 武州多摩郡後ヶ谷村 横帳 一冊 一五九

(内藤新宿増助郷免除願) 前後欠
 元治一年一〇月 江川太郎左衛門御代官所武州多摩
 郡後ヶ谷村名主平重郎他八名 一通 二七四

乍恐以書付奉歎願候(困窮難波の村柄につき内藤新
 宿代助郷差村免除歎願書) 元治一年一月 江川
 太郎左衛門御代官所武州多摩郡後ヶ谷村他七ヶ村小
 前役人惣代後ヶ谷村名主平重郎他一名 道中御奉行
 所様宛 一通 一五二

(内藤新宿代助郷免除歎願書) 前欠 下書案文
 元治一年一月 八ヶ村惣代後ヶ谷村名主平重郎他
 一名 道中御奉行所様宛 一通 二五五

駄賃帳 元治二年一月八日 半横帳 一冊 一五三
 武州多摩郡清水村三光院

大宮宿御伝馬二付諸入用帳 慶応一年六月 横帳 一冊 一五九
 多摩郡後ヶ谷村

中山道大宮宿御伝馬日記帳 控 慶応一年六月ヨ
 リ 武州多摩郡後ヶ谷村名主杉本平重郎 縦帳 一冊 一五〇

為取替申議定之事(当分助郷難波につき人馬雇揚願
 い並びに人馬雇替代金取極書) 慶応一年六月 江
 川太郎左衛門御代官所武州多摩郡後ヶ谷村名主平十
 郎他五ヶ村 大宮宿御役人中・右宿助郷惣代中宛 一通 一五三

東海道川崎宿伝馬一件 慶応二年二月ヨリ
 多摩郡後ヶ谷村 縦帳 一冊 二四四

東海道川崎宿人馬買揚帳 慶応二年二月ヨリ
 多摩郡廻り田村・清水村・高木村・後ヶ谷村 縦帳 一冊 一五五

差出申対談書之事 写(当分増助郷一件遠村にて
 難波につき雇動に對談取極一札) 慶応二年三月 一通 一五七

覚(増助郷雇動對談金の内金請取覚)
 (慶応二年) 寅四月一七日 川崎宿助郷惣代次郎兵
 衛 後ヶ谷村名主勘左衛門殿宛 一通 一五七

東海道川崎宿江当分助合人馬不動出入
 慶応三年一月六日 縦帳 一冊 一五〇

覚(増助郷示談金皆済取 控) 他一点
 慶応三年二月一六日 川崎宿助郷惣代宮内村名主
 長右衛門 奈良橋村他四ヶ村惣代高木村名主金左衛
 門・後ヶ谷村名主勘左衛門宛 二通 一五二

覚(増助郷示談金皆済請取覚)
 (慶応三年) 卯二月一六日 川崎宿助郷惣代宮内
 村名主長右衛門 後ヶ谷村御名主中宛 一通 一五八

一札之事(御通行繁多につき余荷勤の証文)
 慶応四年一月 甲州道中府中宿問屋長左衛門他二名
 後ヶ谷村・高木村・清水村・奈良橋村・宅部村・藏
 敷村石村々御役人中宛 一通 一六〇

覚(助郷宿泊料受取覚) (慶応四年) 辰二月二日
 宿岡田安兵衛 後ヶ谷村平十郎様宛 一通 一六七

(品川宿への人足賃錢覚書)
 (慶応四年) 辰三月一三日 横帳 一冊 一六九

覚(後ヶ谷村他四ヶ村出人足勤高書上げ)
 (慶応四年) 辰三月二九日 甲州道中府中宿役人
 後ヶ谷村外四ヶ村御役人中宛 一通 一六四

中山道蕨宿定加助郷村々高取調帳
 慶応四年七月改 武州多摩郡後ヶ谷村名主杉本平重 横帳 一冊 一四三

覚(人馬買揚金之内金請取証) 慶応四年四月二五日
 甲州道中府中宿問屋長左衛門他二名 多摩郡後ヶ谷村外五ヶ村御役人中宛 一通 一五五

覚(勤人足金皆済受取証) (慶応四年) 辰八月六日
 蕨宿定助郷惣代上青木村茂七他一名 当分助郷組合惣代蔵敷村左衛門殿宛 一通 一六五

覚(助郷宿泊賄料請取証) (慶応四年) 辰八月二日
 蕨宿岡田安兵衛 後ヶ谷村・中藤村御惣代中様宛 一通 一六三

中山道蕨宿加助郷村々高取調帳
 慶応四年九月一八日改 武州多摩郡後ヶ谷村杉本平重郎控 横帳 一冊 一四三

人足勤高覚帳 慶応四年九月 多摩郡糸川村 半横帳 一冊 一五七

人足勤高覚帳 慶応四年九月 多摩郡廻り田村 半横帳 一冊 一五八

人足勤高帳 慶応四年九月 多摩郡清水村 半横帳 一冊 一五九

人足勤高控帳 慶応四年九月 多摩郡高木村 半横帳 一冊 一六〇

人足勤高控帳 慶応四年九月 多摩郡奈良橋 半横帳 一冊 一六一

人足勤高控帳 慶応四年九月 多摩郡蔵敷村 半横帳 一冊 一六二

人足勤高帳 慶応四年九月 玉郡後ヶ谷村 半横帳 一冊 一六三

蕨宿当分助郷勤人足過未進再勘定帳
 明治一年九月二八日改 多摩郡糸川村外九ヶ村惣代後ヶ谷村平重郎控 横帳 一冊 一六〇

覚(助郷平等割勤金請取証)
 (明治一年) 辰九月二八日 蕨宿年寄市郎右衛門他四名 糸川村外九ヶ村惣代後ヶ谷村平重郎殿宛 一通 一六三

覚(助郷平等割勤金請取証)
 (明治一年) 辰九月二八日 蕨宿年寄市郎右衛門他四名 糸川村外九ヶ村惣代後ヶ谷村平重郎殿宛 一通 一六三

覚(助郷宿泊賄料請取証) (明治一年) 辰一〇月七日
 岡田屋安兵衛 上宛 一通 一六四

覚(助郷宿泊料請取証) (明治一年) 辰一〇月二日
 蕨宿岡田屋安兵衛 上宛 一通 一六五

差出申一札之事(大宮二宮御幸の当分助郷触替証文)
 明治一年一〇月 蕨宿役人惣代年寄五郎右衛門他二名 多摩郡糸川外拾七ヶ村惣代後ヶ谷村平十郎殿宛 一通 一六三

覚(助郷金子請取証) (明治一年) 辰一月二日
 岡田ヤ 上宛 一通 一六六

覚(助郷宿泊料請取証) (明治一年) 辰一月五日
 蕨宿岡田屋安兵衛 後ヶ谷村平重郎様宛 一通 一六七

覚(助郷酒倉代受取証) 他四点 (明治一年) 辰一月五日
 蕨宿岡田屋安兵衛 後ヶ谷村平十郎様宛 五通 一六八

覚(助郷宿泊料請取証) (明治一年) 辰一月一日
 岡田屋安兵衛 後ヶ谷村平重郎様宛 一通 一六九

外宿助郷書上 明治二年三月 縦帳 一冊 一七〇

上 神奈川宿附属助郷御免除願 縦帳 一冊 一七一

品川県支配所武州多摩郡廻り田村外四ヶ村 縦帳 一冊 一七二

御一新二付東海道神奈川宿助郷組替三付御用日記
 明治二年三月 後ヶ谷村名主平重郎 縦帳 一冊 一七三

御宿料之控 明治三年四月 泉屋 後ヶ谷様宛 半横帳 一冊 一七四

証(東海道神奈川駅附属合併諸入費出金受取) (明治三年) 庚午八月二六日・九月一七日 神奈川駅御伝馬所年寄源右衛門他一名 武州多摩郡後ヶ谷村宛 二通 一七五

東海道神奈川宿御伝馬御印状之写

子一二月二九日

縦帳 一冊 三三七

覚(人足雇替賃銀請取証) 他七点 辰八月二〇日

蕨宿問屋下役勤五郎他一名 当分助郷桑川村外拾七ヶ村惣代中藤村安助殿外二ヶ村名主宛

八通 一六〇

(日光御参詣通人馬請負高役金書付) 他一点

卯閏九月一七日 関保右衛門手代水島団助他一名 後ヶ谷村宛

二通 三三六

覚(御備場勤夫金受取証 後ヶ谷村・高木村分)

未三月二六日 肥後御預所

一通 三三三

覚(加助郷人足飯米代金受取証) 酉一〇月二七日

大宮宿大野屋伝左衛門他一名 後ヶ谷村平十郎殿宛

一通 三三七

覚(人夫賃請取証) 戌二月二三日 小川村役人

後ヶ谷御名主中宛

一通 八五三

覚(助郷人足賃錢請取証) 一月六日

立川村原川長兵衛 高木村御名主中宛

一〇通 一六〇

覚(大宮宿より御下向急廻状の受取証) 二月二一日

小野村名主 後ヶ谷村御役人衆中様宛

一通 三三〇

(桑川村外九ヶ村人足勤書上帳)

八月一日、二〇日

横帳 一冊 一六三

覚(人足買揚賃金納入内訳書)

桑川村役人 蕨宿御問屋中様宛

一通 一六三

覚(人足勤過不足等書上げ) 一〇月一七日

(助郷人足詰札) 一〇月二六日

短冊 二四通 一六四

覚(助郷人足勤過不足覚) 一二月二四日改

覚(蕨宿加助郷村々高帳・大宮宿人足勤高日メ他助郷人足雇賃覚等)

一通 一六五

一綴 一九二

(大宮一ノ宮へ御幸の爲の人足差出し方触替につき御請連印状) 下書

一通 一六五

覚(蕨宿助郷賄金覚) 住吉屋留二郎 春学庵宿御役人衆中様宛

一通 一六六

宿割(助郷人足宿割) 宿茂八

一通 一六九

臨時入用(助郷人足茶菓代等書き上げ)

一通 一七〇

(当分助郷人足継立覚) 下書

一通 一七四

扱証文之事(伝馬出入の件地頭より扱人依頼につき) 下書 寺院 百姓中宛

一通 一七五

和宮下向

差出申御請書之事(和宮様御下向につき助郷御達書受取一札)(文久一年) 酉一〇月八日 江川太郎左衛門御代官所武州多摩郡後ヶ谷村平重郎他一名

一通 一七六

大宮宿御問屋中宛 控

一通 一七六

差出申一札之事(和宮様御下向につき当分助郷惣代名主平重郎に取極証文) 文久一年一〇月 江川太郎左衛門御代官所武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎他八ヶ村八名 大宮宿御役人中宛

一通 一八二

和宮様御下向ニ付大宮宿助郷惣代入用

一冊 二五三

文久一年一〇月 多摩郡後ヶ谷村

一冊 二五三

和宮様御下向ニ付人足勤方議定書

一冊 二六〇

文久一年一〇月

一冊 二六〇

志村三而札揚人足名前帳

一冊 二六五

文久一年一二月一三日 後ヶ谷村組

一冊 二六五

和宮様御下向御通行膳数并木賃覚帳

一冊 二六六

文久一年一二月一三日 加助郷後ヶ谷村

一冊 二六六

乍恐以書付奉申上候（和宮様御下向に付繼立御用滞り無く相勤歸村報告）文久一年一月二十六日 武州多摩郡後ヶ谷村他七ヶ村村々役人物代後ヶ谷村名主平重郎 江川太郎左衛門御役所宛

和宮様御下向ニ付後ヶ谷村人足遣弘帳
文久一年二月 武州多摩郡後ヶ谷村

和宮様御下向ニ付中仙道大宮宿助郷村々高帳
文久一年二月 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎

（和宮様御下向ニ付御繼立諸向心得取極メ議定書）
文久一年一月 江川太郎左衛門御代官所武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎他八ヶ村・年寄・名主・与頭・百姓代 大宮宿御役人中宛

和宮様御下向ニ付村々人足着到取調帳并操出し覚
文久一年二月 中仙道大宮宿ニ而後ヶ谷村平重郎

和宮様御下向御当日御繼立人馬仕訳帳
文久二年二月 中仙道桶川宿・上尾宿・大宮宿・浦和宿・蕨宿

覚（和宮様御下向御用人足勤高内訳） 文久二年二月
武州多摩郡榎戸新田名主榎戸源蔵

官軍御用

官軍御先鋒御勅使御下向ニ付大宮宿御伝馬記録帳
慶応三年一〇月 武州多摩郡後ヶ谷村

御勅使岩倉殿御下向ニ付中仙道大宮宿加助郷村々惣代名前帳
慶応四年四月五日取極 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎控

官軍御用ニ付蕨宿并下高井戸宿伝馬記録帳
慶応四年閏四月二十九日 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎控

一通 一五六

横帳 一冊 一四七

横帳 一冊 一四三

縦帳 一冊 一四四

横帳 一冊 一四五

縦帳 一冊 一四七

一綴 一四八

縦帳 一冊 一五三

横帳 一冊 一五四

縦帳 一冊 一五六

覚（官軍御用ニ付人足雇代金請取証）

慶応四年五月一日 甲州道中下高井戸宿問屋弥惣右衛門 後ヶ谷戸村御名主平十郎殿宛

官軍御通行ニ付東山道蕨宿御伝馬一件日記帳
慶応四年五月より 後ヶ谷村名主平重郎控

諸海道宿々江御達書写 慶応四年八月記
中山道蕨宿当分助郷武州多摩郡後ヶ谷村外拾九ヶ村惣代右村名主杉本平重郎控

再議定請印帳（官軍通行の助郷につき）
慶応四年九月 多摩郡桑川村外拾七ヶ村・外四ヶ村

一通 一五六

縦帳 一冊 一五九

縦帳 一冊 一五二

縦長 一冊 一五二

寺社

寺院

(三光院御朱印) 写 天正一九年二月〜万延二年九月	一一通	二五三
三光院過去帳 写 文禄〜元禄二二年	一冊	二〇四
(三光院客分証文) 写共 寛永一〇年三月一九日 金剛寺他七扱衆 三光院參	二通	二〇九
宝珠山西楽寺地藏堂地絵図 元禄一四年三月・正徳二年八月・文化一年三月・天保二年三月改 施主 石井勘左衛門	一鋪	三六
(清水村大日堂寄進状) 写 宝永一年一〇月 浅井七郎左衛門 清水村大日堂宛	一通	九
入置申一札之事(御除地預りにつき) 宝永二年二月三日 預り主伝左衛門他一名 地主 勘左衛門殿宛	一通	七
武州多摩郡後谷村除地帳 宝永三年七月 名主李右衛門他五名	一冊	三
覚(大明神除地免につき) 宝永六年二月二〇日	一通	八
乍恐以書付御訴訟申上候(円乗院除地改めにつき) 享保二年一〇月 石神井村三宝寺門中後ヶ谷村訴訟 人円乗院他四名	一通	一〇
(円乗院除地一件につき) 享保二年一〇月 溝口佐左衛門知行所訴訟人名主半十郎 御奉行所様宛 前欠	一通	二〇
乍恐以返答書御訴訟申上候(円乗院一件) 享保二年一〇月 溝口佐左衛門知行所訴訟人名主半十郎他二名 御奉行所様宛	一通	二三

円乗院除地一件 半十郎返答書 写 享保二年一〇月	縦帳	一冊	二三
乍恐以返答書御訴訟申上候(円乗院除地一件につき) 半十郎返答書 享保二年一〇月 溝口佐左衛門知行所訴訟人名主半十郎他二名 御奉行所様宛	一通	二四	
取替証文之事(円乗院除地一件につき) 享保二年一月二五日 後ヶ谷村円乗院・名主半十郎他七名 御評定所宛	一通	二五	
享保式酉年後ヶ谷村円乗院除地一件訴状写 後ヶ谷村控 享保二年一月二五日 後ヶ谷村名主半十郎他二名・五人組・年寄	縦帳	一冊	二六
享保式酉年円乗院除地一件取替下御裁許状写 後ヶ谷村控 享保二年一月二五日 後ヶ谷村名主半十郎他三名	縦帳	一冊	二七
取替証文之事(円乗院除地一件につき) 享保二年一月二五日 後ヶ谷村円乗院・名主半十郎他七名 御評定所宛	一通	二八	
取替証文之事(円乗院除地出入一件、延宝年中の檢地帳記載により落着) 享保二年一月二五日 石川伝兵衛御代官所武州多摩郡後ヶ谷村円乗院・同村名主勘左衛門他七名 御評定所宛	一通	三三	
(書状) 享保三年三月 宅部村三光院 金剛寺法印様宛	一通	三三	
覚(御霊大明神御供米並びに諸役免除の証文) 享保四年一月 溝口政五郎 御霊明神別当乗院宛	一通	三三	
差上ヶ申濟口証文之事(且方出入一件濟口証文) 享保六年閏七月一五日 武州正楽寺村仏藏院他二名 御四ヶ寺様御役者衆中宛	一通	三三	
書状(仏眼寺へ附属願い) 享保一五年七月 前欠	一通	三六	

旧筆記之内虫喰写 (武蔵国多摩・入間両郡之内旧御朱印除地略記等) 享保一八年三月二日 杉本定智誌	横帳	一冊	二〇六
乍恐以書付を申上候 (山伏りんしやうに關する訴狀) 享保一八年二月二四日 後ヶ谷村名主 上坂安左衛門様御役所宛 包紙有	一通	二〇四	
乍恐書付を以願上申候 (三光院法印大病につき) 寛保二年一月一五日 清水村孫八郎他一六名 青梅村金剛寺方丈様宛	一通	三三三	
村々寺社御朱印之儀ニ付御触書 七冊之内卷 延享三年一月	縦帳	一冊	二五
一札之事 (新八出家につき) 寛延一年一月二二日 久米川村喜助 三光院様宛	一通	二五九	
覚 (三光院住職死去につき金子・衣類書上げ) 宝曆七年五月一三日	一通	二六八	
(三光院住職死去五ヶ日目道場払いの記録) 宝曆七年五月一七日	一通	三三六	
(三光院遷化につき) 宝曆七年五月一八日	一通	三三九	
差上申一札之事 (三光院遷化につき) 下書 宝曆八年八月 三光院檀家惣代 金剛寺様御役僧中宛	一通	三〇四	
差上申一札之事 (三光院遷化につき) 宝曆八年八月 三光院且那惣代清右衛門他三名 金剛寺様宛	一通	二九四	
差上申一札之事 (三光院遷化につき) 宝曆八年八月 三光院且中惣代勘左衛門他三名 金剛寺様宛	一通	三〇五	
起立書 (三光院起立書他関連書状等) 宝曆九年三月 武州多摩郡清水村三光院 真福寺様御役僧中宛	三通	三〇九	
一札之事 (西楽寺寺号所望一件につき) 宝曆一一年三月 清水村清左衛門他一六名 勘左衛門殿	一通	三三三	
金四両奉納金 宝曆一二年三月一日 武州入間郡山口観音別当金乘院 宅部村杉本勘左衛門殿宛	一通	二四三	
山口観音入仏行列覚帳 宝曆一二年三月	横帳	一冊	二五四
乍恐以書付奉申上候 (院号并に座配につき願書) 明和四年四月二七日 青梅村金剛寺様御役者中宛	一通	二六〇	
円乘院ヨリ大畑宝勝寺へ移転并後任敏運坊取極帳 明和七年五月一〇日	横帳	一冊	三三六
大幡差引帳 (寺院) 明和七年	横帳	一冊	三三七
書状 (三光院へ出会申入れ御達依頼状 杉本控) (安永二年) 巳四月五日 青梅金剛寺役僧 三光院 且中村役人・且頭衆中宛	一通	二三五	
覚 (三光院鐘建立につき材料の貫目かね合証明書 控) 安永九年四月一日 神田鍛冶町鑄物師西村和泉 弥〇郎様宛	一通	三三五	
(武蔵国多摩郡清水村本山修験円達院の書式その他書上げ) 断簡 天明八年三月三日	一通	三九九	
文恭院様御朱印・家斉様御朱印 写 天明八年九月一日 多摩郡清水村三光院	二通	三三九	
(円達院所持氷川明神境内絵図面之写) 天明年間 包紙共	一通	三三七	
差出申一札之事 (院主退院につき後任願書) 寛政一年五月二二日 利右衛門他一四八名連印 法印密岸様宛	一通	三七一	
什物帳 写 寛政一年五月 三光院	縦帳	一冊	一四六
手日記 (三光院一件控) 寛政一年六月 杉本勘左衛門所持	半横帳	一冊	三〇四

乍恐以書付を奉願上候(院主退院につき後住願書)
寛政二年八月 利右衛門他一五〇名連印 金剛寺様宛

一通 五三

一札(看住退役につき) 寛政二年二月
三光院看住圭山 金剛寺様御役僧衆中宛

一通 五一

乍恐以書付奉願上候(三光院本住職願書)
寛政二年三月 三光院旦頭清右衛門他四名 金剛寺御役僧衆中様宛

一通 五五

寺院書上状 控 寛政二年四月 後ヶ谷村

縦帳 一冊 五六

書付を以奉願候事(三光院無住につき後住願書)
寛政二年八月 武州入間郡荒幡村隣寺光藏寺

一通 五七

乍恐書付を以奉願上候(三光院後住職に行識法印任命願書) 寛政二年八月 清水村三光院旦頭清左衛門他五名 青梅山金剛寺御役僧中様宛

一通 五六

乍恐以書付奉願上候(清水村三光院無住につき堯識法印任命願書) 寛政二年九月 善藏他五名 金剛寺様御役僧中宛 控

一通 五九

乍恐以書付奉願上候(堯識法印任命願書下書)
寛政二年九月 光藏寺他 金剛寺様御役僧中宛

一通 五〇

三光院入院献立 一七日献立
寛政二年一〇月一七日

一通 五一

継目檀廻音物記 寛政二年一〇月 輪王山知事

横帳 一冊 五二

一札(密岸老師への扶持証文) 寛政二年一〇月
三光院意宝 密岸老師様宛

一通 五三

二拾二世法印意宝代 三光院替目一件日記
寛政二年 杉本勘左衛門

横帳 一冊 五六

差出申一札之事(三光院住職就任につき御制法等遵守証文) 寛政二年 三光院意宝他二名 金剛寺様御役僧中宛

一通 五九

三光院住堯識法印出奔記録 寛政三年四月二十八日
什物内改帳 寛政三年四月 三光院
縦帳 一冊 六〇

乍恐以書付を御届申上候(行識法印出奔につき)
寛政三年五月 三光院旦方惣代新右衛門他一名 金剛寺様御役僧中宛 届書控
横帳 一冊 六一

乍恐以書付奉願上候(清水村三光院法印欠落につき隠居密岸再度住職願書) 寛政三年五月 三光院旦方惣代勘左衛門他一名 青梅村金剛寺様御役僧中宛
添簡(清水村三光院檀那共よりの吟味願) 寛政三年六月 武州多摩郡青梅村金剛寺 真福寺様御役者中宛
一通 六三

乍恐以書付奉願上候(三光院法印欠落につき吟味願書) 寛政三年六月 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門 真福寺様御役者中様宛
一通 六五

差上申済口証文之事(三光院住職欠落一件) 寛政三年六月 勘左衛門他二名 真福寺様御役者中宛
乍恐以書付奉願上候(三光院住職不行跡につき願書控) 寛政三年六月 三光院代中 真福寺様御役者中宛
一通 六六

差出申一札之事(三光院住職欠落の後始末証文)
寛政三年 武藏国入間郡正楽寺仏藏院 三光院御旦頭惣代勘左衛門殿宛
一通 六三

三光院隠居密岸法印死去入用并凡訳書帳
寛政二年十一月十五日
横帳 一冊 六六

(列座格御免加金献上の披露状)
文化四年二月二十九日 池永外記三裕 武州豊島郡江戸築地御地中海岸寺智禪宛
一通 六七

房号之事(善命房授与証) 文化五年六月二十七日
羽黒山執行別当代篤行院法印義研
一通 六九

勸化帳 (後ヶ谷村円乘院寺立替人仏供養勸化帳 写)
文化六年一〇月 後ヶ谷村円乘院

什物帳 文化八年六月 三光院住沙弥光寛

法如地藏尊出金覚 文化一〇年三月

当所三光院境内地藏尊建立之訳并金毘羅大権現
天神山江安置之訳 文化一〇年四月四日 清水村
住五十風清左衛門汎親

三山不動尊建立化帳 文化一〇年 発起中
奉納

契券 (大聖歡喜天一体宅部村三光院へ寄附につき)
文化一一年一月 講中兼旦頭石井勘左衛門 湯島
円満寺様飯田藤右衛門殿宛

契券 (尊像奉納につき) 文化一一年一月
武州多摩郡宅部村三光院講中且中惣代石井勘左衛門
湯島円満寺様尊天施主飯田藤右衛門殿宛

三光院無住日記 文化一二年七月

結縁院号之事 (石井勘左衛門事葉寿院授与証)
文化一三年九月 羽黒山荒沢寺常火別当聖之院法印
覚仙 武州多摩郡宅部村葉寿院宛 包紙共

儀定一札之事 (清水村三光院無住につき)
文化一四年二月 青梅山金剛寺現住 控

乍恐以書付奉願上候 (清水村三光院後住願書)
文化一四年一〇月 武州多摩郡清水村三光院檀頭清
左衛門他五名 青梅金剛寺様御役僧中宛

起請文 熊野牛王宝印 (前文なし)
文化一四年一二月二八日 白岩初蔵 小倉九郎兵衛
殿宛

縦帳 一冊 六九五

縦帳 一冊 一四七

横帳 一冊 七八

縦帳 一冊 七九

縦帳 一冊 八六

一通 七九

一通 七〇

一冊 七三

一通 二五六

一綴 七四五

一通 七五

一通 七〇七

乍恐以書付奉願上候 (三光院住職の件お尋ねにつき
代兼願い) 文政一年七月四日 武州多摩郡後ヶ谷
村名主勘左衛門煩二付代兼浅井楯之助知行所同州同
郡清水村名主清左衛門 大岡源右衛門様御役所宛

差上申済口証文之事 (三光院住職の件請書拒否出入
一件につき) 文政一年八月 願入金剛寺他一二名

議定書之事 (三光院住職願書) 文政一年八月
武州多摩郡青梅村金剛寺他二四名

(東光院・常覚院・御料大明神他由来書上げ)
文政三年一月 石井勘左衛門定賢誌

不動賀化帳 (勸化帳) 文政七年四月

寄進 上 金式百疋 文政八年二月二三日
円達院・勘左衛門・市郎右衛門

来ル廿三四日火生三昧勸化帳 文政八年二月

聖徳太子三盗誠 文政八年五月
金色山恵甚 杉本好恭君宛

口上覚 (円達院住職病氣につき二代目法系相続の件)
(文政一〇年) 亥三月六日

請取 (小田原入用金・院号官金請取覚) (文政一〇年)
亥七月二日 年行事門善房 円達院御房宛 包紙
共

差上申住職証文之事 (三光院住職の件につき 控)
文政一一年八月 多摩郡清水村三光院他三名
青梅村金剛寺様御役僧中宛

乍恐以書付奉願上候 (清水村三光院住職願書 控)
文政一一年八月 清水村三光院檀頭惣代半七郎他一
名 青梅村金剛寺様御役僧中宛

差出し申一札之事 (道元身分引請証文) 天保四年
七月四日 引請人福生村市蔵他一名 勘左衛門殿宛

一通 七五九

一通 三三三

一通 三三三

一冊 七六六

一冊 八六六

一冊 八三三

一冊 三三三

一通 二四八

一通 八九九

二通 九〇一

一通 三三三

一通 三三三

一通 三三三

乍恐以書付御届奉申上候(氏子難權届 控)

天保一一年九月 御朱印地清水村円達院 浅井永之丞様御内山本泉太夫殿宛

一通 二五二

御願奉申上一札之事(清水村三光院無住につき御朱印状・御法統状等預け証文) 天保一五年九月一五日

清水村三光院旦頭半治郎他一名 金剛寺御役僧衆中宛

一通 二六〇

御預ケ奉申上候一札之事(清水村三光院無住につき御朱印状・御法統状等預け証文) 天保一五年九月一五日

清水村三光院旦頭惣代半治郎他一名 金剛寺様御役僧衆中宛

一通 二六二

覚(御朱印巻通預り証文) 弘化二年二月二日

青梅金剛寺 清水村三光院世話人中宛

一通 二六八

乍恐以書付奉願上候(三光院諸堂修履費用難洪につき枯木透伐願い 下書) 弘化二年二月 武州多摩郡清水村三光院兼帯久米村仏眼寺・同院檀頭平重郎他一八名 金剛寺様御役僧衆中宛

住職御請書 弘化三年八月二日 清水村三光院快真他檀頭清左衛門代兼平重郎他三名・隣寺久保村仏眼寺 金剛寺様御役僧中宛

一通 二九五

一札(御朱印・御法統請取証文) 弘化三年八月二日 清水村三光院旦頭平重郎他一名・隣寺仏眼寺 金剛寺様御役僧中宛

乍恐以書付奉願上候(清水村三光院無住につき住職願い) 弘化三年八月二日 清水村三光院旦頭清左衛門代兼平重郎他三名・隣寺久米村仏眼寺 金剛寺様御役僧中宛

一通 二五二

寺社祭日書上帳 宅部村 後ヶ谷村 入会 弘化四年二月

三光院出入中久米村彦四郎方借財書抜勘定帳 嘉永四年七月 平重郎手控

一通 二五三

縦帳 一冊 二五九

横帳 一冊 二五五

縦帳 一冊 二五九

横帳 一冊 二五五

縦帳 一冊 二五九

横帳 一冊 二五五

乍恐以書付奉願上候(青蓮寺後住一件發明不法につき御吟味願い) 嘉永五年一月 上総国周准郡人見村青蓮寺門末惣代同国同郡貞元村満隆寺他一寺

一通 二五三

十八道加行作法 嘉永六年六月二〇日 授与聖雲青蓮寺發明宛

一通 二四七

乍恐以書付奉歎願候(正珊寺住職開基家より御察當につき歎願書) 嘉永七年閏七月 上総国周准郡西川村正珊寺他二ヶ寺 会津様御役人衆中様宛

一通 二七四

御朱印写書上帳 嘉永七年八月 清水村三光院

縦帳

一冊 一七五

乍恐以書付奉願上候(本師村東福寺へ隠居中の聖昇病死につき法事届書) 安政三年五月 本師村役人惣代八郎右衛門・法類惣代二間塚村善龍寺

一通 二九四

乍恐以書付奉願上候御事(清水村三光院住海信病身につき退寺願い 下書) 安政三年一二月 清水村三光院・隣寺桑村仏眼寺他一名 金剛寺様御役僧中宛

一通 二九八

御願奉申上候(鈴木新田宝寿院無住につき後住願い) 安政五年五月 名主利左衛門他二名 妙光院様御役僧中宛

一通 二四〇

法類請一札之事(宝寿院住職請書 控) 安政五年五月 国分寺 妙光院様御役僧中宛

一通 二九七

差上申一札之事(宝寿院住職請書 控) 安政五年五月 宝寿院住良山他四名 妙光院様御役僧中宛

一通 二九九

(良山和尚履歴) 安政五年五月 良山 妙光院様御役僧中宛 前・後欠

一通 二四七

覚(御室御所御成納金割合) 安政五年一〇月 金剛寺役僧 門末諸寺院御中宛

一通 二五〇〇

覚(青梅山金剛寺勸化金割合等書上げ) 安政六年三月一六日

一通 二五〇

勸獎金請取帳 安政六年三月 金剛寺納所 三光院様	半横帳	一冊	一四六	三光院書付之写 文久三年一月二日 杉本氏控	縦帳	一冊	一四九
青梅山金剛寺勸化割合帳并取立控 安政六年三月 三光院日頭杉本平重郎控	横帳	一冊	一四九	以書付印鑑御届申上候(円乘院印鑑改 包紙共) 元治一年四月 武州多摩郡円乘院 江川太郎左衛門 様御役所宛	一通	一五〇	
差上申御請書之事(住職交代の節繼目御披露につき 請書) 安政七年二月三日 久米村仏眼寺煩ニ付代 清水村三光院 真福寺様御役者中宛	一通	一四五		聖定入滅香料受納帳 慶応一年九月一八日 輪王山世話人中	横帳	一冊	一五三
三光院本堂其外修復ニ付記録帳 式 万延一年八月吉日 檀頭杉本平重郎手控	縦帳	一冊	一四五	乍恐以書付御届奉申上候(三光院住良山病死につ き仮葬式届 下書) 慶応一年九月九日 清水村 三光院檀中惣代他 青梅村金剛寺様御役僧衆中宛	一通	一五五	
乍恐以書付御届奉申上候(清水村三光院損潰届 下書) 万延一年八月 清水村三光院檀中惣代・隣 寺桑村仏眼寺 金剛寺様御役僧中宛	一通	一四六		什物帳 慶応一年九月 三光院	縦帳	一冊	一五六
乍恐以書付奉申上候(風損難洪の次第御届 下書) 万延一年八月 清水村三光院世話人惣代他隣寺仏眼 寺 金剛寺様御役僧中宛	一通	一四七		法印聖定忌明諸入用帳 慶応二年一月七日	横帳	一冊	一五〇
(三光院三石の収納永安堵状) 万延一年九月二二日	一通	一六三		差出申借席一札之事(較格願いのため借席証文) 慶応二年一月 借席主光藏寺他二名・立合仏眼寺 三光院様御檀頭衆中・御村役人衆中宛 包紙共	一通	一五二	
附施餓鬼靈簿記 文久一年七月一六日	縦帳	一冊	一四八	御宝御所御直触写 慶応三年七月	横帳	一冊	一五五
差入申一札之事(人別無加入者の葬式宮方の願書) 文久一年八月二四日 清水村村主藤右衛門他施主等 三名 三光院様宛	一通	一四九		四箇寺触達御被仰知状写 慶応三年一〇月	一綴	一三〇	
文久元西年新開三光院境内新田鹿絵図面 文久二年三月 现住良山代杉本平重郎改之	絵図	一鋪	一四九	仁和寺宮御触 写 慶応四年八月二〇日	縦帳	一冊	一五一
輪王境内新開鹿絵図面 文久二年三月 现住良山代杉本平重郎改之	絵図	一鋪	一四〇	(御除地書上げの控) 明治二年三月一日 後ヶ谷村 垂山原大沢克之助様宛	一通	一五三	
証状(普請料寄附につき一代居士大姉号戒名許状) 文久二年四月 三光院聖定 浅見定右衛門殿宛	一通	一四八		清水村之内三光院分并御朱印除地反米書上帳 明治二年三月 杉本平重郎控	縦帳	一冊	一五六
以書付奉願上候(石塔造立場所水借地願い) 文久二年一〇月 願人次郎吉他一名 三光院様宛	一通	一四八		常光院復飾願ニ付願書 写 明治二年六月 杉本氏控	縦帳	一冊	一六三
				役寺御触書 写 明治二年七月 三光院檀頭杉本平重郎控	縦帳	一冊	一五七
				御室御所御触書 明治二年一月 三光院世話人杉本平重郎控	縦帳	一冊	一七三

寺院戸籍 明治三年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六九
社寺領郷村高其外取調帳 雛型 (明治三年)庚午二月一七日	縦帳	一冊	一七四
天台宗・浄土宗・古義真言宗・新義真言宗・五 山派・済家宗・大徳院派・曹洞宗・黄檗宗・ 日蓮宗・一向宗・時宗・普化宗 本末寺号其 外明細帳 雛型帳 明治三年 後ヶ谷村控	縦帳	一冊	一七六
(御口達書留書) 明治三年	一綴	一	三三
(住持相続免許状) 明治四年八月二〇日 本願寺執事所 円正寺殿門徒武蔵国豊島郡東京築地 御地中海岸寺海照門徒中宛	一通	一	二七九
寺院人別帳 明治四年 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一四六
円乘院除地見捨地御取調ニ付書上候控 明治五年六月 後ヶ谷村元名主杉本勘左衛門控	縦帳	一冊	一七九
(円乘院境内見捨地見取図) 明治五年六月 武州多摩郡後ヶ谷村社人後藤兵吾他四名 神奈川県 御序宛	絵図	二舗	一七四
公私雜記 明治五年九月より 三光院忍雅代	縦帳	一冊	一七四
(狭山村円乘院寺上知開墾書上げその他) 明治八年七月	一綴	一	一八八
(寺上知御下ヶ願書) 明治八年九月 御下ヶ主円乘院 神奈川県令中島信行殿宛	一綴	一	一八三
証(三光院旧山林下ヶ代金請取) 明治九年五月二日 第十一大区十小区会宛 包紙共	一通	一	一九三
什物帳 明治一六年九月 三光院	縦帳	一冊	一九七
(前年三光院へ貸与の資堂金返納方督促依頼状) 明治二九年二月二日 青梅町金剛寺住職文屋憲譽 三光院兼仏眼寺長駒有勝殿宛 封筒共	一通	一	二〇二
覚(三光院関係領収証) 子四月ほか 久米村升屋彦四郎ほか 三光院様御納所宛ほか	八通	一	二五二
覚(三光院釣鐘注文関係) 子九月一〇日 神田鍛冶町御鋳物師西村和泉 三光院様他四名宛	一通	一	二二
口上書覚(西楽寺引寺につき) 丑一月一五日 後ヶ谷村名主勘左衛門 大岱村弥左衛門殿宛 控	一通	一	三三
覚(勸化金請取証) 丑一〇月二九日 青梅村金剛寺 三光院御檀中様宛	一通	一	三五
書状(三光院住職願の件未春迄御猶予願) 丑一二月四日 三光院旦頭中 真福寺様御役僧中宛	一通	一	三〇一
覚(三光院宛書類・金銭受取証) 寅四月五日ほか 仏眼寺ほか 三光院様宛	四通	一	三九
開運講掛金取集帳 卯一二月 三光院世話人	一冊	一	三五
覚(御宝御所献金請取証) 辰一〇月二日 金剛寺納所 三光院御世話人中宛	一通	一	三五〇
覚(祠堂利分・益供料・燈明料他金銭受取証) 午七月二日 金剛寺役僧 三光院世話人中宛	一通	一	二四五
覚(公用御触書等受取証) 午七月二八日 仏眼寺 三光院御世話人中様宛	三通	一	二五〇三
覚(巳年燈明料等受取証) 午八月二二日 金剛寺役僧 三光院檀頭平十郎殿宛	二通	一	三三六
覚(公用御触書他順達書類請取証) 午一〇月二九日 廻り田村光明院世話人太郎右衛門 三光院様御世話 人衆中宛	一通	一	三三
覚(祠堂金利分ほか受取証) 申三月二日 金剛寺役僧 三光院檀頭当番衆中宛	一通	一	二四六
(高野山御初穂送り覚他) 申六月一三日 杉本勘 左衛門	三通	一	三七四

釣鐘注文事(三光院釣鐘の件)申一〇月四日 神田鍛冶町西村和泉 杉本勘左衛門様宛	一通	三三三
(当住病身につき弟子派遣願い) 亥七月一日 氏子役人代兼後ヶ谷村武右衛門 宝塔山門豊坊様宛	一通	三三〇八
書状(住職依頼状) 三月二二日 真福寺役者大鏡 青梅山金剛寺御院代中宛	一通	二四九
書状(相談事につき御入来依頼) 六月二日 光蔵寺 清水村輪王山御主様宛	一通	三六四
書状(拝借礼状) 七月一日 北田新田宝泉寺住 清水三光院御丈室宛	一通	二四七
(青梅山梅岩寺内杉本亮管宛書状 一括) 八月二八日ほか 杉本勘左衛門ほか 杉本亮管様宛	一五通	二五七三
書状(横手瀧泉寺の曼茶羅緑色について) 一〇月二五日 法如 聖天院様御役者中宛	一通	二五九六
書状(瀧泉寺先住模写の曼茶羅緑色について) 一〇月二五日 宝泉隠居法如 瀧泉寺様御役者中宛	一通	三三七
書状(曼茶羅関係) 一〇月二五日 法如 山口喜四郎様宛	一通	三三九六
口達(東福寺住職一件取纏につき) 十一月一日 金剛寺 久米村仏眼寺主席他五寺院主席宛	一通	二四八
書状(勸化金式百文下付願い) 十二月二三日 伝右衛門 勘左衛門様宛	一通	三四九
口上(諸什物御改めにつき) 十二月一四日 仏眼寺 三光院御世話人中様宛	一通	三四六
(清水村三光院無住のところ大風雨のため大破に 及び当惑の旨の書付) 二四日 仏眼寺認	一通	三三三
差引覚書(寅五月、巳三月迄大幡山王前二而かり)	一通	四六

(寺社別割附)	縦帳	一冊	一八九
宅部山三光院 法統血脈写(元禄二二年己卯年 一二月二日開基也) 包紙共	縦帳	一通	三三三
三光院記録(寛永年中入魂の由ほか)	縦帳	一冊	三〇四
入置申一札之事(西楽寺引寺一件関係) 多摩郡後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	一通	三五九
(西楽寺号引寺一件承知並びに、冥加金一札) 下書 三光院勘左衛門	一通	一通	三六〇
鐘楼覚(三光院鐘楼の件)	一通	一通	三六一
寺支配之覚	一通	一通	三六一
諸法名 包紙共	一通	一通	三六七
東照神君様御朱印之写并信玄公御朱印之写 一色村々江宛 包紙共	三通	三通	三六八
乍恐以書付御訴訟申上候(円乗院出入一件) 訴訟人円乗院他 断簡	一通	一通	三〇〇
差上申濟口一札之事(三光院法号并座配之儀につき 控) 願人新右衛門・相手清水村三光院 金剛寺様宛	一通	一通	三五五
指上申為取替一札之事(三光院寺格不分明につき 下書)	一通	一通	三七三
施餓鬼祭文(金毘羅大権現)	一通	一通	三三三
(歴代法印名書上げ 文明七年円長、二八代良山ま で)	一通	一通	二四七
施餓鬼法則	半横帳	一冊	二七一

神社

権現様御朱印写 (水川明神領地寄進状) 天正一九年二月	折紙	一通	一
清水村之内水川明神御朱印之写 天正一九年(宝曆二年) 包紙共		三通	三三六
東照神君様正像下画巻枚 (石井杉本家伝) 寛永二一年四月二七日 部分 包紙共	絵図	一鋪	三三三
奉捧願文 (水川大明神へ) 万治三年七月二五日 曾我十郎尉竹成・道黄 御神宛		一通	三〇三
水川大明神社領御朱印状 (書替改めにつき差出しの写) 貞享二年六月二日		一通	一六
円達院水川大明神御朱印写 享保三年七月二日		一通	二四
水川明神職造立覚 寛政四年六月一四日 宅部氏子中		一通	六六
清水村之内水川明神領御朱印之写 円達院持 寛政四年六月一四日 杉本氏控	縦帳	一冊	六七
後ヶ谷村鎮守御料明神之記 文化三年一月 石井勘左衛門定賢誌	縦帳	一冊	七七
水川宮本社拜殿葺替 文化一五年三月二七日	横帳	一冊	五三
水川宮太鼓安永八右破ニ付文政五壬午年六月新太鼓奉納 文政五年六月	縦帳	一冊	〇三
十二所大明神贖罪行事御進帳 文政七年三月二二日 三ツ木村役人	横帳	一冊	八三
祭礼入用帳 文政一〇年六月 宅部氏子	横帳	一冊	八六
覚 (野州春日岡御宮造管料請取) 文政一〇年二月二二日 平岩右膳手附田村弥三治 他三名 多摩郡後ヶ谷村宛	一通	一通	六六

伊勢遷宮勸化并石神井鋪石牛浜橋勸化 文政一二年二月二日	横帳	一冊	八七
大神宮託宣四十七字神代文字一頁納金色山庫 文政十三年晚春 狭山谷平好恭謹言 包紙共		二通	三三七
御霊大明神附置候御供靈之事 天保三年四月 江川太郎左衛門支配所武州多摩郡内堀村常覺院 御勘定所宛		一通	九四
府中六所宮奉納書付 (永代神燈料請取之事) 万延一年五月 六所宮社内鹿島田隼人他三名 宅部 村杉本平十郎殿宛 包紙共		一通	一四三
金毘羅宮再建諸般之控 文久四年一月 輪王山三光院納所	横帳	一冊	一四九
金毘羅宮石坂建立勸化帳 文久四年三月 別当清水村三光院	縦帳	一冊	一五〇
金羅毘殿遷宮行列順道記 元治一年三月一五日 三光院執事	横帳	一冊	一五五
奈良橋村鎮守八幡宮并末社山王山神御除地立木 伐木之儀ニ付出入一件訴答済口証文之写 慶応三年三月 杉本平重郎 控	縦帳	一冊	一五四
覚 (御宮米代金皆済受取証) 慶応四年八月 別当常覺院他一名 後ヶ谷村御名主平重郎殿		一通	一五三
後ヶ谷村鎮守天狗大明神神主復節日記録 明治一年二月 後ヶ谷村名主杉本平重郎控	縦帳	一冊	一六四
神主戸籍 明治三年三月 武州多摩郡後ヶ谷村 鎮守御料明神除地一件諸記録 明治三年三月 後ヶ谷村名主平重郎	縦帳	一冊	一六八
	縦帳	一冊	一六〇

武州多摩郡宅部村御靈明神主内堀宅美より同郡後ヶ谷村名主勘左衛門外式人江相掛御理解願訴状 明治三年三月 武州多摩郡宅部村神主内堀宅美	縦帳	一冊	一六九三
武州多摩郡宅部村神主内堀宅美より相掛り候鎮守免御除地一件始末書 明治三年三月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六九四
御料明神御除地作徳取調帳 明治三年四月後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六九七
神主役御免并社村進退願 明治三年四月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一六九八
為取替対談儀定書(鎮守天狗大明神他四社に関する初穂その他取極書) 明治三年四月 武州多摩郡後ヶ谷村天狗大明神神主後藤兵庫他六名	一通	一通	一七〇〇
入置申一札之事(御靈明神供米として玄米三升差出し証文) 扱人廻り田村源内他一名 内堀宅美殿宛	一通	一通	一七〇〇
御吟味下ヶ願為取替(御靈明神主内堀宅美除地につき出訴一件) 明治三年五月	縦帳	一冊	一七〇三
鎮守神号称替請書(御料明神を御靈明神と改) 明治三年五月	縦帳	一冊	一七〇一
鎮守御料明神免収納控帳 明治三年五月改 武州多摩郡後ヶ谷村名主平重郎	横帳	一冊	一六九八
武蔵国多摩郡清水村鎮座御調書上帳 明治三年二月 清水大学下書控	縦帳	一冊	一七〇五
社地并除地御取調ニ付鎮守御料明神社地境界一件日記 明治四年一月八日 後ヶ谷村杉本平重郎手控	縦帳	一冊	一七三三
上(後ヶ谷村御料明神社地について宅部村との所持論争書上げ) 明治四年一月一七日 武州多摩郡後ヶ谷村役人惣代名主杉本平重郎 葦山県御役所宛	縦帳	一冊	一七四〇

上(御靈明神社地論争一件糺明願 後ヶ谷村名主平重郎控) 明治四年一月 武州多摩郡宅部村小前村役人惣代名主榎本半兵衛 葦山県御役所宛	縦帳	一冊	一七五五
鎮守御料明神社地一件諸人用覚帳 明治四年一月 後ヶ谷村役人惣代名主杉本平重郎	横帳	一冊	一七五八
御吟味下ヶ願為取替(御靈明神社地論争一件) 明治四年二月 願人宅部村名主榎本半兵衛・相手後ヶ谷村名主杉本平重郎 葦山県御役所宛	縦帳	一冊	一七四四
宅部村一件相手方始末書(社地論争一件) (明治四年) 未二月 後ヶ谷村	縦帳	一冊	一七四三
社務人別帳(天狗大明神) 明治四年 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一七四八
再改神社上知取調書 心得書(明治六年カ) 杉本勘左衛門	縦帳	一冊	一七四三
(後ヶ谷村愛宕神社上知書上げ) 明治七年一〇月 後ヶ谷村用掛杉本勘左衛門	一通	一通	一七五〇
(神社六社所在書上げ) 明治七年一月 武蔵国多摩郡清水村清水安請	一通	一通	一七四九
記(鎮守水川社集米控ほか) 明治一二年一二月 (内務省訓令第十二号府県郷村社神官奉務規則等書付) 明治二四年七月六日	一綴	一綴	一七四九
謹奉上願状之事(悪念退散善心祈願) 卯七月二〇日 某敬白 当所鎮守水川大明神ほか宛	一通	一通	一七六五
覚(水川明神社堂修履金寄進請取証) 巳七月二五日 別当円達院 平重郎殿他四名・御村中宛	一通	一通	一七六五
社地境内其外御取調ニ付御伺 未一月二二日 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊	一七五八

(御靈明神社勸請場所論争一件) 下書
未二月二十五日

一綴 三九七

覚(御初穂神納証) 二月一日 松平和泉神役人
石井宗四郎様宛 包紙共

一通 三三四

太鼓勘定(奉納の覚他)

一通 三三五

社会

教育

指上申制詞之事(塾生入門誓詞) 文化一〇年一月
裕藏 石井勘左衛門殿・執事宛

一通 七三三

一札之事(裕藏塾生入門につき一札)
文化一〇年一月 多摩郡小野路村父友七他一名 石
井勘左衛門殿宛

一通 七四

鹿算 六三九図之法(他に手相図・梵号・口演等々)
文化一三年五月写 書写文仏子榮

七通 一四五

(村立高狭学校 学費出納所有品及学資寄附表・
学齡就学調査表・学校取調書等) 明治一五年
学務委員杉本勘左衛門

一綴 一九六

若者組

記(芝居幕・楽屋油代・衣裳代その他請取証)

明治二七年三月二六日 野火止村石山文五郎 狭山
村若者連中様宛

一通 二三六

若者共身行被仰渡御請証文議定書付

廻り田村九兵衛他六村一〇名連印

一冊 九〇九

頼母子

諸法催合掛金帳 万延二年二月 杉本氏

横帳 一冊 一四四

頼母子講金預り之証 明治一六年二月一八日

預り主杉本想太郎他一名 埼玉県下入間郡坊村野
弥七殿宛

一綴 一九四

頼母子講金預り之証 明治一六年二月一八日

預り主杉本想太郎他一名 埼玉県下入間郡坊村野
弥七殿宛

一綴 二〇三

(頼母子講仲間取極書) 明治一八年五月一三日 会主世話人内堀宅美他四名	一通	一九五	石橋寄進受納帳 天保五年八月吉日	横帳	一冊	九六四
譲与約定解散証(清水安清頼母子講) 明治二〇年五月二日 廻り田村西久右衛門他二名 清水村清水安清殿外世話人御中宛	一通	二〇〇元	西楽寺池堤之事(池廻りの立木伐取等につき覚書) 天保七年四月二十九日 杉本勘左衛門	一通	一冊	一〇〇三
書状(五郎兵衛殿無尺簡に当り金子渡済につき礼状) 三月一四日 当間伝兵衛 石井勘左衛門様宛	一通	二三四	横池普請人足帳 安政四年七月 後ヶ谷村名主後見平重郎控	横帳	一冊	二四四
書状(堀口無尺引当証文への印形願い) 三月二六日 内ほり武左衛門 杉本平重郎様宛	一通	二九九	御請(水利提防の修繕の入札につき) 明治七年七月一日	一通	一冊	二七〇
(清水安清頼母子講記録) 子掛り清水記	一冊	一六〇六	(後ヶ谷村道路橋県民費取調抜書分書上げ) 明治八年三月 後ヶ谷村代議人内堀武兵衛他一名	縦帳	一冊	一八四
日待ニ付花(日待講出資金書上げ)	一通	二四〇一	林前 はつき田三ヶ所せき覚 外堀并道普請覚 荒神前	横帳	一冊	三九五
無縁講議定 寛政一年六月	一冊	五七				
釜住連順名覚帳(釜神講) 天保一五年二月吉日 輪王山三光院参事	縦帳	一冊				
伊勢大々講規約并連名表 明治三〇年三月二五日	縦帳	一冊				
杉本林 伊勢大々講規約 明治三〇年三月二五日創立	縦帳	一冊				
(十会講集金願いの書状) 一月二二日 太郎右衛門 杉本御專家様宛	一通	二六二				
(庚申の掛軸の文面)	一通	二四九				
雜綴(諸真言記・寿命呪いほか)	一綴	二三四				
普請						
亥年池普請人足覚 享保四年二月二五日 包紙共	一通	一三三				
小沢池浚覚 文化一四年七月二四日	縦帳	一冊				

副戸長

戸長・副戸長

- (東京横浜間鉄道開通布達書)
明治五年九月一七日 神奈川県 刷物 一通 二五九
- 以書付御届奉申上候(早魁届) 明治六年一〇月
辛久保村峯岸四郎左衛門他六名 神奈川県権令大江
卓殿宛 二通 二四九
- 御請書(村用掛請書) 明治六年一二月一三日
杉本勘左衛門 拾壹区拾番組正副戸長御中宛 一通 一八四
- (杉本勘左衛門履歴書一通) 明治七年三月九日
神奈川県令・大小区宛 二通 一九四
- 免役願(村用掛り役儀御免願 下書)
明治八年二月五日 第拾壹大区拾小区杉本勘左衛門 一通 二五九
- 御請(副戸長拜命請書) 明治八年三月三〇日
第拾壹大区拾小区後ヶ谷村御用懸り杉本勘左衛門 二通 一八六
- 神奈川県令中島信行殿宛
- (副戸長辞令) 明治八年三月三〇日
神奈川県 杉本勘左衛門宛 一通 一八九
- (拾小区副戸長進退廻達状) 明治八年四月五日
拾小区会所 教員世話役御中宛 一通 一八五
- 記(入費等受取証) 明治八年九月二二日
榎本半兵衛 杉本勘左衛門様宛 一通 二五九
- (戸長病氣届・辞表その他) 明治九年八月二日
第拾壹大区拾小区戸長内野奎左衛門 大区区務所御
中宛 一綴 一九〇

(区長・副戸長とも病氣につき書役への委任状その他) 明治九年八月三日 第十一大区十小区長内野奎左衛門 書役川鍋八郎兵衛殿宛 一綴 一九三

(副戸長病氣届その他) 明治九年八月五日 第十一大区十小区副戸長杉本勘左衛門 神奈川県権令野村靖殿宛 一綴 一九四

(副戸長への呼出状) 明治九年八月三十一日
神奈川県 第十一大区十小区戸長御中宛 一通 一九五

(依願免職辞令) 明治九年九月一日
神奈川県 副戸長杉本勘左衛門 一通 一九六

埋葬承認証(竹内いね分) 明治一四年一月一〇日
戸長関田象右衛門 一通 二四〇

委任状(杉本副戸長大病疾につき辞表差出し)
明治一六年六月一八日 第十一大区十小区長内野奎左衛門 書役川鍋八郎兵衛殿宛 一通 二六五

(戸長辞職による後任選挙につき通知状)
明治一八年六月二九日 戸長未定筆生石井権左衛門 一通 二四四

狹山村竹内吉左衛門殿宛 封筒共

(戸長役場其他の諸費予算連合会開会通知)
明治一八年九月五日 高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛 連合会議員杉本勘左衛門殿宛 二通 一九九

辞職御届(村会議員・連合会議員辞任申出)
明治一八年一二月一五日 北多摩郡狹山村村会議員 兼連合会議員杉本勘左衛門 高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛殿宛 一通 二四九

印鑑御届 下書 明治二二年一月九日
届人杉本勘左衛門 二通 二〇六

印鑑証明願 明治二二年五月一四日 杉本勘左衛門 一通 二〇七

北多摩郡高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛殿宛

印鑑証明願 明治二年七月 杉本忠左衛門 北多摩郡高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛殿宛	一通	二〇七五
印鑑証明願 明治二年九月二七日 宮鍋孝吉 高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛殿宛	一通	二〇七六
印鑑証明願 明治二年九月二七日 杉本源五郎 高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛殿宛	三通	二〇七九
委任状 明治二年	八通	二〇八三
記(紙筆代請取証)(明治)二六年一月二七日 鈴木金藏 戸長役場御中宛	一通	二〇八三
(本県権大属殿以下巡見につき書状) 四月一四日 内野戸長 杉本副戸長殿宛	一通	二〇八三
記(給料受取証) 一二月一日 伊東周作 杉本勘左衛門殿宛	一通	二〇八七
区长副区长事務条例	縦帳	一七六
南分戸籍下調書 明治四年三月	縦帳	一七四
平民人別帳 明治四年 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一七五
平民人別帳 案文 明治四年	縦帳	一七五
神奈川県管轄武蔵国多摩郡後ヶ谷村戸籍 下書 (第五拾区之内は八小川寄場也) 明治五年四月 (戸籍調へ下書) 明治五年四月	一綴	一七五
壬申戸籍取調帳 下書 明治五年七月 後ヶ谷村	縦帳	一七一
戸籍帳 (明治五年) 七月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一七六
宅部村戸籍下書 明治六年二月	縦帳	二〇四

人員出入取調書 明治六年二月 第五十区後ヶ谷村 僕婢取調戸籍帳 明治六年 後ヶ谷村	縦帳	一冊	二〇五
(出生・死亡・加籍・除籍届書書式雛形他綴) 明治七年五月	縦帳	一冊	一八七
出生人名簿 明治一三年二月ヨリ 死亡 神奈川県北多摩郡狭山村衛生委員杉本勘左衛門	縦帳	一冊	一九九
(男女別年齢調査) 明治一四年一月一七日 戸長関田兵右衛門・杉本勘左衛門	横帳	一冊	二七七
除籍御届 下書(加籍御届文も有り) 明治一一年一月九日 西田平右衛門 高木村組合戸長宮鍋庄兵衛殿宛	一通	一冊	二〇〇
寄留御届 下書 明治一一年一月一〇日 届人戸主 杉本惣太郎 高木村組合戸長宮鍋庄兵衛殿宛	一通	一冊	二〇八
出生御届 下書 明治一二年一〇月九日 届人杉本想太郎 高木村組合戸長役場御中宛	一通	一冊	二〇二
(出入寄留人の記録) 明治一七年二月二日入 (廿七年度出生送入加除籍調その他綴) (明治)一七年度	横帳	一冊	三九五
(平民人別帳他) 断簡 四月一九日 伺(奈良橋村和地喜之助他二名高木村へ転籍願) 一二月二八日 拾小区会所 第拾壹大区正副区长御中宛	一通	一冊	二七三
送籍			
寄留送籍状之事(明治四年) 辛未八月八日 後ヶ谷村名主杉本勘左衛門他二名 韭山県御役所宛	一綴	一冊	二四九

送籍(中村清五部分の送籍状) 明治六年四月 宅部村旧名主榎本半兵衛 後ヶ谷村旧名主御中宛	一通	一八五
送籍証(市川嘉兵衛姉すみ分の送籍状) 明治六年二月二八日 熊ヶ谷県管下南第三大区巻 小区副区長齊藤武右衛門 神奈川県御管下第十一区 十番組正副区長御中宛	一通	一八五
(転籍願い並びに関係文書綴) 明治八年一〇月三 〇日 和地喜兵衛他二名 神奈川県令中島信行殿宛	一綴	一八九
送籍願 明治二七年六月二三日 平尾賢 北多摩郡高木村外五ヶ村組合役場御中宛	一通	二〇四
租 税		
武蔵国多摩郡之内社寺御除地取調帳 明治四年 一月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村 葦山県御役所宛	縦帳	一冊 一七三
武蔵国多摩郡之内社寺御除地取調帳 明治四年 一月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村 葦山県御役所宛	縦帳	一冊 一七三
武蔵国多摩郡之内社寺御除地取調帳 本書 明治四年一月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村 葦山県御役 所宛	縦帳	一冊 一七三
壬申田方上知内見帳 明治五年九月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 一七七
畑永増税請書 明治五年一月 武州多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 一七六
畑永増税御請書 下書 明治五年一月 第五十区多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 一七八
増永三付改反別並永取小前帳 明治五年一二月 武州多摩郡後ヶ谷村旧名主杉本勘左衛門	横帳	一冊 一八〇
反取米永増改帳 明治五年一二月 武州多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊 一八〇
米取小前帳 明治五年二月 武州多摩郡後ヶ谷村旧名主杉本勘左衛門	横帳	一冊 一八〇
永取小前帳 明治五年二月 武州多摩郡後ヶ谷村旧名主杉本勘左衛門	横帳	一冊 一八三
作徳米永社寺領上知取調書 下書 明治六年一月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 一八〇
社寺領畑永増税御請書 下書 明治六年三月 多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊 一八七
地租雜租上納簿 明治六年五月 拾番組納人杉本勘左衛門 第拾壹区会所御中宛	半横帳	一冊 一八六
無税地小前帳 明治六年五月 宅部村旧組頭竹内吉 左衛門・旧名主杉本勘左衛門 神奈川県御出役少属 飯島憲章殿・史生篠崎常孝殿	一綴	一八四
無税地取調小前帳 明治六年五月 武蔵国多摩郡宅 部村旧名主榎本半兵衛他一名	一綴	一八四
隠田無税地書上雛形 明治六年五月 第十一区拾番組後ヶ谷村控	縦帳	一冊 一八〇
無税地書上帳 明治六年六月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村旧名主杉本勘左衛門	一綴	一八四
社寺領上知御払下願林反別柴山反別林税と改称 林柴山増永其外改称 明治六年六月改 多摩郡第十区拾番組後ヶ谷村	縦帳	一冊 一八四
(当西増税の件につき御差紙写並びに始末書) 明治六年二月一六日	一綴	一八四
(旱損破免聞き届け難く定免通り年貢納達書) 明治六年一二月二六日 神奈川県 第拾壹区拾番組 武蔵国多摩郡後ヶ谷村宛	一通	一八四
村税増改并反別取調帳 明治七年一月 武州多摩郡後ヶ谷村	横帳	一冊 一八五

癸酉租税目録(皆済目録(写) 明治七年五月 神奈川県令中島信行 後ヶ谷村戸長・副戸長・百姓宛

諸税其外上納簿 明治八年九月

第十一大区十小区狭山村農杉本勘左衛門

(明治十二年畑宅地税納金証その他受取証等)

明治十二年 狭山村戸長役場 納人杉本勘左衛門宛

(税金関係納金証綴) 明治十三年、明治十九年

戸長役場 納人杉本勘左衛門宛

(納金受取綴) 明治一四年

狭山村戸長役場 納人杉本勘左衛門宛

(地方税等領収証の綴) 明治二〇年、二九年

(地方税等領収証一括) 明治二年、四四年

(芋窪村明治廿五年度村税書上げ他雑綴)

明治二五年

芋窪村廿六年度村税未納者調 (明治) 二六年度

口演(税金不足分使の者に渡し願い等) 六月二〇日
榎本 杉本様宛

学校

就学取調書上帳 明治六年六月 多摩郡後ヶ谷村

建儀(教育の振興) 明治七年三月 第百四拾四番小
学研精学会訓導内堀大一郎・源頼国 森治良吉君他
五名宛

(武蔵国多摩郡後ヶ谷村学校地所反別等書上)

明治七年一月 後ヶ谷村用懸杉本勘左衛門

明治十三年十月ヨリ同十四年第七月迄学費(出納
証書) 狭山村世話役 納人杉本勘左衛門宛 包紙
共

半横帳

一冊 一八七

一〇通 一五六

一綴 二〇〇一

一綴 一九五七

一綴 二〇〇二

八八通 二四九

一綴 二四〇八

一通 二五三

一通 二四三

縦帳

一冊 一八六

一綴 一八〇

一通 二七七

一通 一五五

学務委員給料旅費決議伺 高木村・狭山村・清水
村 明治一五年一月二一日 高木村戸長宮鍋庄兵衛
神奈川県令冲守固殿宛

(狭山村・高木村・清水村学区学務委員任命辞令)
明治一五年四月二一日 神奈川県 杉本勘左衛門宛

請書(狭山村・高木村・清水村学区学務委員) 明治
一五年五月三日 杉本勘左衛門 神奈川県令冲守固
殿

記(学費予算金請取証) (明治) 一五年五月三〇日
高狭学校学務委員杉本勘左衛門 世話役内堀吉左衛
門殿

学事係日誌 明治一五年五月
高狭学校学務委員杉本勘左衛門

村立小学設置開申 控 明治一五年七月
北多摩郡狭山村高狭学区学務委員杉本勘左衛門他一
名 神奈川県令冲守固殿

(学務関係領収証綴) 明治一五年

算法記 下之卷 明治一五年 杉本氏誌

(学校費その他領収証) 明治一五年、二七年
記(管掌教員日当・試験費用受取、試験日制通知等)
明治一六年四月三〇日

未就学児童并初等卒業後ノ者調査表
明治一六年五月一七日 高狭学区学務委員杉本勘左
衛門 北多摩郡書記木村新之助殿宛

申請(教員雇入申請書) 明治一六年七月九日
学務委員杉本勘左衛門 神奈川県令冲守固殿宛

学事用件記 明治一六年一月二五日
高狭学校杉本学務委員

半横帳

一冊 一九七

一通 一九七

四通 二四〇

一冊 一九七

半横帳

一冊 一九七

一綴 一九七

七通 二四八

縦帳

一冊 一九三

一九通 二四七

六通 一九三

一綴 一九七

一綴 一九七

半横帳

一冊 一九六

申請（高狭学校の担当教員功労者推せん書類） 明治一六年 高狭学区学務委員杉本勘左衛門他一名 神奈川県令沖守固殿宛	一綴	一七九	口演（キカエ廿組代金の内残金御渡し願ひ）未三月 二五日 武州玉狭山村内伝 学校世話役御中宛	一通	一七九
（高狭学校学務委員宛書状の綴） 明治一六年一八年	三通	一九五	注文受取書（生徒机・櫻懸甘脚手金受取証）三月一 一日 狭山村内堀伝左衛門 高狭学校掛り御中宛	一通	二四三
（学齢人員名簿・入学之受書等学務委員関係書類 一括）明治一六年ほか	六綴	二四七	（試験に関する協議会開催につき回状）四月二日 昇隆学校教員・学務委員 奈良橋学校・高狭学校 学務委員・教員御中宛	一通	二四四
（当校経費の月給支払催促の書状）明治二六年五 月二日 鈴木戒三 杉本勘左衛門様宛	一通	二六五	記（公試験費用受取証）六月一九日 小川校世話役 高狭学校世話役御中宛	一通	二四九
書状（退職に際し立合願いほか） （明治一七年五月二一日 教員平尾賢 助役池谷 藤右衛門殿宛 封筒共	一通	二〇七	書状（美菓并燈明料その他拝納御礼状）一〇月五日 恵比 杉本好恭先生様宛	一通	二五九
請求書（月給内金請求書）明治一七年五月二七日 奈良橋小学校教員鈴木戒三 高木外五ヶ村助役池谷 藤右衛門殿宛	一通	二〇〇	記（給料請取証）一一月一日 伊藤周佐 杉本大人宛	二通	二四三
俸給領収記 明治三四年一一月二四日	一冊	二〇四	回章（試験用物品購求方について）一一月九日 中藤学校学務委員 昇隆校他二校御中宛 包紙共	一通	二四七
高狭学校費日割課法 明治	一綴	二〇八	記（試験場入費受取証）一一月二〇日 中藤学校学務委員 高狭学校御中宛	一通	二四八
束脩其他預金引繼（学校基金等）大正六年一〇月	一冊	二五八	記（金銭領収証）一一月二〇日 中藤学校学務委員 高狭学校御中宛	一通	二四三
（学校除幕式覚書）大正九年二月一日	一冊	二五八	徴兵・軍事		
来賓名簿 大正九年四月一八日	横帳	一冊	武器類取調書上・拝借筒取調書上・銃炮筒取調 書上 明治六年一月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村	縦帳	一冊
第三村山小学校謝恩会	横帳	一冊	（満十八歳以上四拾歳以下の者取調べ書上げ） 明治六年七月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村旧名主杉本勘 左衛門 第十屯区会所御中宛	縦帳	一綴
（元第三村山小学校内堀太一郎先生の建碑除幕式 祝辞）大正九年四月一八日 第一村山小学校同窓 会総代三角又蔵ほか	五通	二七三	満拾七歳書上 明治六年九月 十番組後ヶ谷村 （年齢十七歳届書綴） 明治六年一一月	縦帳	一冊
内堀先生寿碑建設収支明細書 大正九年四月一八 日	横帳	一冊		縦帳	一綴
運動会順序（プログラム）昭和二年一〇月一六日 東京市大和田尋常小学校荻野真一	一通	二五九		縦帳	一綴

(明治七年十二月現在十七歳並びに二十一歳の者 書上げ下書) 明治六年	一綴	一八三		
徴兵異動御届(養子縁組により) 明治一七年三月一 五日 北多摩郡清水村平民農戸主森田運次郎 北多 摩郡高木村外五ヶ村戸長関田糸右衛門殿宛	一通	二七九		
(杉本想太郎徴兵切符 補充員申付候事) 明治一九年二月二七日 東京鎮台 神奈川県武蔵国 北多摩郡狭山村住平民農杉本想太郎宛 包紙共	二通	三四五		
近衛歩兵第二連隊宿泊人員表 明治二四年一〇月 一〇日 陸軍歩兵一等軍曹石井金吉ほか	三四通	〇五		
宿泊割附	一通	二〇五		
(宿泊料・厩損料ほか表示)	一通	二〇六		
(近衛歩兵関係文書綴) (明治) 二四年	一綴	二〇五		
(後備役歩兵一等卒中村広助村葬葬儀諸費用及び 遺族への扶助料等書上げ控 明治二七年九月三 〇日必召出兵中)	一冊	三五〇	横帳	
地租改正				
(地所売買譲渡につき地券渡方規則) (明治五年) 壬申二月 宮鍋孝五控	一綴	二六五		
(地所売買并譲渡の地券渡方等規則他) 木版印刷 (明治五年) 二月 大蔵省	一綴	二七二		
(地所売買并譲渡の地券渡方規則その他) 木版印 刷 (明治五年) 五月 大政官	一綴	二七三		
(武州多摩郡後ヶ谷村・宅部村入会御霊社他寺社 除地見捨地取調書上げ) (明治五年) 壬申六月	一綴	一八六		
差上申御請書之事(一筆限り地価書上げ日限につき 請書) 下書 明治五年九月一六日 第五十区村々 ほか	一通	三五六		
作徳調ニ付抜書(再調是帳ヲ用) 明治五年一〇月 旧名主杉本勘左衛門	一冊	二六三	横帳	
(地券発行につき太政官通達書) 刷物 明治六年三月二五日	一綴	二五〇		
(後ヶ谷・宅部両村入会御霊明神除地払下げ示談 成立書) 明治六年六月一八日 杉本勘左衛門	一綴	一八四		
大蔵省ヨリ地租改正施行規則御発布ニ付別冊地方 官心得書 明治六年七月 第拾壹大区拾小区副戸 長杉本氏	一冊	一八二	縦帳	
地券取調入費書上帳 明治六年八月二五日 第拾壹区拾番組後ヶ谷村	一冊	一八九	縦帳	
(後ヶ谷村社寺除地・見捨地等色分け図) 明治六年一月 第拾壹区拾番組後ヶ谷村仮神官後 藤兵吾他四名	一冊	一八五	絵図	
(後ヶ谷村元除地・見捨地書上げ) 明治六年一月 第拾壹区拾番組武州多摩郡後ヶ谷 村旧名主杉本勘左衛門他四名	一綴	二七五		
(後ヶ谷村・宅部村入会元見捨地書上げ) 明治六年一月 第拾壹区拾番組後ヶ谷村宅部村入 会旧名主杉本勘左衛門他三名	一綴	二七七		
番号順序絵図 明治七年四月九日 後ヶ谷村用掛杉本勘左衛門	一冊	一八三	絵図	
(地引絵図等の調査) 明治七年六月三日 区長	一綴	二七九		
地租御改正ニ付地引絵図編製日誌 明治七年八月ヨリ 神奈川県第十一大区十小区武州 多摩郡後ヶ谷村用係り杉本勘左衛門手控	一冊	一八七	横帳	
(明治七年中 宅部村旧高反別帳之写) 明治七年	一冊	二四七	横帳	

(巴乘院官林之図 新左衛門他二名改図) 明治八年二月一日 新左衛門・勘左衛門・武右衛門 一部欠損	絵図	一舗	三三七
(作場道通行差間につき願書・見取絵図等) 明治八年三月一六日 宅部村榎本半兵衛 会所御中 宛		一綴	一八九
(杜寺境内立木調査) 明治八年三月二六日 正副戸長・正副区長 神奈川県令中島信行殿宛		一綴	三七八
立木調査 明治八年三月 第拾壹大区拾小区後ヶ谷村用懸り杉本勘左衛門	縦帳	一冊	一八三
(土地・丈量の取りきめ書) 明治八年三月		一綴	三七五
(立木改実地調査之図) 明治八年四月二日 拾字縄入人足覚帳 明治八年四月吉日 拾壹大区拾小区多摩郡後ヶ谷村内堀武兵衛	横帳	一冊	一八六
(旧反別取調書の提出催促) 明治八年五月一日 第十一大区会所 十小区郡村御中宛		一通	二七六
延期御願(地租改正による反別調査再延期願い) 明治八年六月三日 蔵敷村用掛鈴木重蔵 当区御改 正掛り御中宛		一通	一八六
反別野帳差出方期限御届 明治八年八月二五日 拾小区会所 第拾壹大区会所御中宛		一綴	二五八
地租改正掛担当持場訊 明治八年 神奈川県地租改 正掛武蔵国多摩郡狭山村杉本勘左衛門控		一通	一八〇
(明治八年度地租改正の際使用の方眼紙) 券状御書換願 明治九年三月		一舗	二五八
		三通	一九三
為取替約定之証(替地証文下書) 明治九年一月 埼玉県入間郡桑村当人平塚彦四郎他一名 神奈川県 第十二大区壹小区中藤村内野佐兵衛殿宛		一通	二六八
券状御書換願(地所売買契約につき) 明治九年二二 月一日 第十一大区十小区戸長宮鍋庄兵衛		一通	二五八
東京府下地租改正帳之写 明治一一年三月 第八大区六小区多摩郡和田村	縦帳	一冊	一六八
券状御書換願 明治一一年九月三日 売主肥沼八郎右衛門・買主杉本勘左衛門		二通	一九〇
地券確認願 明治一三年二月一五日 売渡人杉本勘左衛門・買受人関田桑右衛門 北多摩 郡長砂川源五右衛門殿宛		一通	一九四
地券確認願 明治一五年三月三日 杉本勘左衛門他 一名 北多摩郡長砂川源五右衛門殿宛		一綴	一四九
地券確認願 明治一〇年一月一九日 売渡人杉本勘左衛門・買受人杉本源五郎 北多摩郡 長砂川源五右衛門殿宛		一綴	二〇八
地券確認願 明治一〇年一月二三日 売渡人杉本勘左衛門・買受人杉本馬造 北多摩郡長 砂川源五右衛門殿宛		二通	二〇七
地籍其他略記 明治一八年ヨリ 神奈川県北多摩郡 狭山村八百十三番地杉本勘左衛門宜智筆誌	半横帳	一冊	二〇〇
以書付奉申上候(書類不備につき筆違検査猶予願い) 六月一九日 多摩郡第十一区拾番組後ヶ谷村旧名主 杉本勘左衛門 飯島少属憲章殿・史生篠崎常孝殿宛		一通	三五三
(地租改正に付地目・絵図編製方についての書式) 雛形		一綴	一八四
(地価書上げ)	横帳	一冊	三五二

丈量図 北多摩郡狹山村字杉本七百九拾七番イ号

消防

(八王子町大火詳報、各地水害公電のメモ書)
明治三〇年四月二四日

辞令(狹山消防組第二部小頭)

明治三〇年五月二〇日 府中警察署 杉本想太郎宛

火防御守(その他諸難消除御守)

衛生

当選状(衛生委員当選) 明治二三年二月三日

北多摩郡長砂川源五右衛門 狹山村杉本勘左衛門宛

御請書(衛生委員当選状) 明治一三年二月一五日

狹山村杉本勘左衛門 北多摩郡長砂川源五右衛門宛

衛生諸費控 明治一四年一月ヨリ

衛生委員杉本勘左衛門

(衛生上書上達し方について)
明治一五年一〇月二五日

伝染病死者并汚物焼場設置願 北多摩郡狹山村

明治一五年九月 村議員真野三右衛門他二名

死獣捨場設置願 武蔵国北多摩郡狹山村

明治一五年九月 村議員真野三右衛門他三名 神奈川県令沖守固殿宛

(戸長・衛生委員出頭通知状)

明治一五年一〇月一〇日 北多摩郡長砂川源五右衛門 清水村・狹山村・高木村戸長・衛生委員中宛

一 鋪 三三三

一 綴 三〇一

一 通 二〇五

二 通 二五七

一 通 一九四

一 通 一九四

横帳 一 冊 一九三

一 通 二〇四

一 綴 一九〇

一 綴 一九九

一 通 二七五

(衛生月表の督促状)
(明治一六年)一月六日・六月一四日 北多摩郡役所衛生掛 狹山村戸長役場中宛

(衛生委員辞令) 明治一七年一〇月四日

神奈川県 杉本勘左衛門宛

受書(衛生委員) 明治一七年一〇月四日

狹山村杉本勘左衛門 神奈川県令沖守固殿宛

(衛生委員依頼免職状) 明治一八年四月二三日

神奈川県 杉本勘左衛門宛

(衛生委員免職につき請書)

明治一八年四月二三日 杉本勘左衛門代杉本想太郎 神奈川県令沖守固殿

村会

当選状(北多摩郡狹山村村会議員当選状)

明治二二年七月二四日 戸長役場 杉本勘左衛門宛

(諸年費編成代価送付申入書)

明治一四年三月二四日 北多摩郡役所庶務掛 杉本勘左衛門殿宛

官庁・租税・典刑・聴訟 内野李左衛門氏戸長

時代編 明治一五年八月一日纂

当選状(狹山村村会議員) 明治一八年八月三一日

高木村外五ヶ村戸長役場 杉本勘左衛門宛

当選状(高木村外五ヶ村連合会議員)

明治一八年九月五日 高木村他五ヶ村戸長役場 杉本勘左衛門宛

公証御取消願 明治二二年九月二〇日

預け主関田安右衛門他一名 砂川登記所御中宛

二 通 一六八

一 通 一五〇

一 通 一九三

一 通 一九六

一 通 二〇〇

一 通 一九七

一 通 一九三

横帳 一 冊 一九五

一 通 一九七

一 通 一九六

一 通 二〇六

書状(廿五年度予算、臨時委員報酬削除の件について)
一月一七日 高野政三郎 高木村役場にて杉本勘左
衛門殿宛

一通 二〇六

(区内人民投票による落札代議人名) 一〇月

縦帳

一冊 一八九

村合併

合併願(宅部村・後谷村合併狭山村と改称願)

明治八年三月三日 宅部村・後ヶ谷村 神奈川県令
中島信行殿宛

縦帳

一冊 一八一

(狭山村戸数等書上げ) 明治一四年

四通 一五八

具状書(後ヶ谷村・宅部村合併の手続き不備につき
紛糾一件) 六月一八日 第拾壹大区拾小区正副戸
長 右区正副区長御中宛

一綴 二五七

家

相統・慣行

過去帳・系図

浅井公御先祖様方御法号覚 元和八年〜享保五年

一通 三三七

(勘右衛門・忠左衛門・源三郎・武右衛門各家の戒名帳) 元禄〜明治四一年

横帳 一冊 三三七

(杉本家過去帳) 宝暦三年〜明治一六年

横帳 一冊 二五〇

先祖代々各靈位 弘化三年二月 石井平重郎

五通 二六四

石井家系図之写 石井家三拾八代之孫平林志謹誌

縦帳 一冊 三二九

石井家系図写 一卷 石井家三十八代之孫平林志謹記

縦帳 一冊 三二九

石井家別系記録控

横帳 一冊 二〇〇

法名書拔略 (杉本家過去帳)

横帳 一冊 二二九

徳川以後杉本家十二代略歴 杉本亮蒼写

一綴 二五六

相統

名跡譲り証文之事 元文二年閏一月一七日

一通 三三三

菩提木村浅右衛門 宅部村勘左衛門殿宛

議定一札之事 (重左衛門家督跡式相統につき証文) 嘉永六年二月七日 地類佐右衛門他三名 御村役衆中宛

一通 二五七

讓状之事 (名跡相統につき地所渡し証文控) 嘉永六年二月 讓主徳右衛門他二名 重藏殿宛

一通 二六六

入置申一札之事 (病身につき娘へ相統依頼証文) 文久二年閏八月一〇日 兄勇藏他一名 越町十三丁目飯田屋喜三郎娘とく殿

一通 一四五

書状 (家督相統のため復帰送籍加除願い、封筒共) 明治一〇年九月八日 小町馬藏実父杉本源三郎 第十一大区八小区正副戸長御中宛

一通 一九二

家督相統御願 明治一五年一月一七日

本人杉本想太郎他三名 北多摩郡長砂川源五右衛門殿宛

二通 一九〇

一札 (跡式相統差纏一件 親類・地類分家一同連印歎願書) 庚午一〇月二五日 武州多摩郡廻り田村分家仁兵衛他九名 後ヶ谷村親類平十郎殿宛

縦帳 一冊 二八四

願書 (跡式相統難行につき)

一綴 二四八

隠居

入置申一札之事 (別宅隠居につき地所割合のこと) 延享二年八月 藤八他一名 孫七殿宛

一通 二四六

替地証文之事 (隠居屋敷なされたくにつき) 宝暦七年一〇月 地主勘兵衛他一名 李右衛門殿宛

一通 二八九

一札之事 (隠居料につき) 宝暦七年一二月 家主勘左衛門他六名 隠居李右衛門殿宛

一通 二九二

隠居死後貨物有分留帳 明和七年二月二八日

横帳 一冊 二〇六

隠宅普請諸日記 文久三年七月 杉本氏

横帳 一冊 一四三

隠宅扶持方并諸色控 文久四年二月七日 杉本氏

横帳 一冊 一四九

約定証 (隠居の両親宛約定証) 下書 控 (包紙共) 明治一四年一〇月三日 狭山村本人初田平右衛門

一通 一九九

初田御両親様宛

結婚

目録(杉本想太郎結納) 明治二〇年六月一日
 杉本勘左衛門 細田勘兵衛殿宛 一通 一八〇三

(廿五年度高木村結婚数) (明治) 二五年度 一綴 二〇〇〇

離縁

濟口証文之事(聲死亡のため離縁、娘の諸道具請取、縁組み時の帯代金返納濟口証文) 明和五年五月 一通 三三四
 円達院 清左衛門殿宛

入置申一札之事(不埒ニ付離縁、改心につき託入並びに物置借請証文) (天保九年) 戊四月吉日 一通 二〇〇
 借主熊右衛門他一名 平右衛門殿宛

入置申一札之事(再縁につき証文) 弘化三年三月 一通 三六六
 当人とよ他地類・親類・組合惣代七郎左衛門他二名 名主平重郎殿外御村役人中宛

一札(離縁状) 慶応一年閏五月九日 平重郎 すえ 一通 一五五
 江宛

入置申一札之事(すえ離縁につき家作諸道具等住居のまま引渡し受取証文) 慶応一年閏五月二四日 一通 一五六
 引請人新右衛門他一名 平重郎殿宛

覚(蔵敷村左左衛門弟恒吉離縁一件 下書き) 一通 一七〇九
 明治三年四月三日

養子・養女

差出申一札之事(女子養子に差出す件につき) 一通 四六五
 安永七年一月二七日 清水之内宅部右女子母かめ 他二名 八左衛門殿宛

一札之事(若主中様へ七左衛門妹この差上げるにつき) 一通 八五九
 文政一〇年閏六月 高木村清蔵 内堀村七左衛門殿宛

一札之事(俸当分預け証文) 安政二年二月二二日 一通 一三六三
 平重郎 七郎右衛門殿宛

勘当

書付を以御願申候(娘べん不行跡につき勘当願ひ) 一通 五〇四
 安永九年三月 べん父李左衛門他五名 勘左衛門殿宛

起証文之事(重兵衛酒狂等不埒につき託証文) 一通 九三三
 天保七年一月 俸重兵衛 父上様宛

乍恐以書付奉願上候(勘当帳外願ひ) 一通 二五四
 天保九年八月二五日 後ヶ谷村元治郎兄百姓平六他二名 山本大膳様御役所

借財

百姓七郎右衛門身上諸色調帳 横帳 一冊 六七九
 文化二年二月一九日

七郎右衛門身上一件帳面(金錢貸借覚) 横帳 一冊 三七六
 文化二三年三月一五日

内堀合力帳(各村出金高書上帳) 横帳 一冊 八七九
 文政一年九月一〇日

南彦四郎借財金高控帳 横帳 一冊 一四〇九
 安政四年三月

内堀宅美反別所書(明治) 一六年改 一通 二四〇九

葬儀

舌代(地所無心につき) 卯九月三日 一通 三七七
 内堀武左衛門 杉本平重郎様宛

杉本一統作道 横帳 一冊 四六九
 長右衛門方葬礼道 古来政右衛門せと三有之此度道 廻シ一件覚 安永八年三月六日

一札之事(葬礼并諸用道附替たぐにつき) 安永八年三月 借主清水内宅部政右衛門他四名 円達院様宛	一通	四九五	春秋余食帳 寛政七年一月	小型 半横帳	一冊	六三三
入置申対談書之事(名主大善死去につき葬儀相続披露入用支払約定一札 下書) 明治三年閏一〇月九日 引受人大善分家親類・村役人連印 藤太郎殿宛	一通	一七〇〇	平五郎災難ニ付諸入用記 明治二年		一綴	一六九
(葬礼日御出方々他貸金覚等書上げ 包紙共) 三光院住職死去關係	四通	六四〇	印形御書 明治一五年一月一七日 杉本想太郎 戸長役場御中宛		二通	一九五
葬式役配	一冊	一五一	履歷書 明治一五年六月三二日 鈴木戒三		一通	一九七
家作			(杉本想太郎孝正用印形彫刻撰字表 包紙共) 明治一五年一〇月吉祥日		一通	一九五
凶面(建築) 文政七年九月二日 小平次 勘左衛門殿宛	一通	八七	(宮島音五郎につき実印を託し親戚証明願い) (明治)一二年二月一七日 尾崎宇三郎 池谷・杉本御両君宛		一通	二〇七
覚(家作残金請取) 弘化三年四月七日 正楽寺村長右衛門親類七兵衛組合中 宅部村平十郎殿宛	一通	二六八	(勘左衛門の遺墨) 明治四三年一二月二〇日	横帳	一冊	一九九
銭次郎普請諸入用覚帳 嘉永三年八月 杉本平重郎手控	一冊	二三八	献立		一通	二〇六
入置申一札之事(屋敷替につき) 文久二年一〇月 当人留蔵事百姓庄兵衛他二名 名主平重郎殿宛	一通	一四七				
証(大工手間請取証) 三月二五日 高木和地菊二郎	一通	二三〇				
(間取図)	一舗	二四八				
(家屋間取書上げ)	一通	二五三				
その他						
是は旦方江出し候献立十八日朝 (寛政二年一〇月)一八日	一通	六三三				
春秋余遺記 寛政六年二月	一冊	六八				

経営

土地売買証文

永代相渡し申畑之事 天和三年二月一日 地主後ヶ谷村茂右衛門他三名 勘左衛門殿宛	一通	三三〇
永代二相渡し畑之事 天和三年二月一日 地主後ヶ谷村茂右衛門他三名 杉本村勘左衛門殿宛	一通	三三一
入置申手形之事 (永代売畑返却の証文) 貞享三年五月 後ヶ谷村権兵衛・証人次右衛門・同庄左衛門・同十兵衛 李右衛門宛	一通	三三三
未代売渡し申山証文之事 写 宝永五年一二月七日 山主半十郎他三名 後ヶ谷村佐五兵衛殿宛	一通	三三六
売渡し申新田之事 享保一二一年四月一六日 大谷村名主弥左衛門 勘左衛門殿宛	一通	三三九
売渡し申田地証文之事 享保一三年一二月 地主武左衛門 名主勘左衛門殿宛	一通	三三七
売渡し証文之事 (入会之芝地山売渡しにつき) 享保一五年一二月二八日 後ヶ谷村売主勘兵衛他二名 勘左衛門殿宛	一通	三三九
売渡し田畑証文之事 享保一六年一月三三日 地主忠左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	三四一
譲り渡し申山証文之事 享保一九年二月 内堀村名主庄兵衛他二名 宅部村勘左衛門殿宛	一通	三四三
譲り渡し申証文之事 (田畑売渡し) 元文二年三月一日 宅部村地主勘兵衛 李右衛門殿宛	一通	三四三
替地証文之事 控 寛延二年二月 後ヶ谷村彦八 内ほり藤七殿宛	一通	三四四

永代売渡し申畑証文之事 寛延四年四月 浅井小右衛門様御知行所地主伝右衛門他四名 孫七殿宛	一通	三三五
永代売渡し証文 (芝山売渡し) 宝曆一年一二月 宅部村売主源六他三名 後ヶ谷村孫七殿宛	一通	三三六
畑証文之事 宝曆二年二月 畑主七郎右衛門・組頭証人武左衛門 伝兵衛殿宛	一通	三三七
譲渡申地面証文之事 宝曆四年一月 宅ヶ部村地主勘左衛門他三名 同所弥兵衛殿宛	一通	三三八
流地証文之事 宝曆六年三月 畑主長左衛門他二名 伝兵衛殿宛	一通	三三九
譲渡シ申山証文之事 宝曆七年三月 山主宅部村五右衛門他三名 後ヶ谷村李右衛門殿宛	一通	三四〇
譲地証文之事 宝曆八年二月 清水村畑主武兵衛他二名 成就院宛	一通	三四一
譲渡申畑証文之事 宝曆八年二月 譲り主長左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	三四二
譲地証文之事 宝曆八年二月 清水村畑主伝兵衛 勘左衛門殿宛	一通	三四三
譲地証文之事 宝曆八年二月 畑主伝兵衛他二名 勘左衛門殿宛	一通	三四四
譲渡シ申山証文之事 宝曆九年四月 譲主勘兵衛他二名 勘左衛門殿宛	一通	三四五
譲渡申畑証文之事 宝曆一〇年一月 後ヶ谷村彦八 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三四六
売渡し申田地証文之事 宝曆一二年二月 売主武右衛門他四名 勘左衛門殿宛	一通	三四七
譲渡シ申畑証文之事 宝曆一三年三月 譲主後ヶ谷村武右衛門他三名 勘左衛門殿宛	一通	三四八

壳渡申畑証文之事 宝曆一三年七月 畑壳主清水村 三右衛門他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三六一	讓渡申畑証文之事 安永二年一月 讓主清水之内宅部八左衛門 勘左衛門殿宛	一通	四九
壳渡申年季畑証文之事 宝曆一三年七月 壳主清水村五郎兵衛他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三六一	讓渡申畑証文之事 安永三年三月二四日 讓入後ヶ谷村勘兵衛他一名 勘左衛門殿宛	一通	四三
田畑山請取年季共三書出寛 宝曆年中	一冊	三六	讓渡申田証文之事 安永三年三月二四日 讓入後ヶ谷村勘兵衛他一名 勘左衛門殿宛	一通	四三
壳渡申田年季証文之事 明和三年三月 壳主伝右衛門他一名 庄左衛門殿宛	一通	三五	讓渡申証文之事 安永四年一月一四日 讓人勘兵衛他二名 勘左衛門殿宛	一通	四〇
壳渡申有合畑証文之事 明和三年四月二七日 壳主清水之内宅部兵左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	三五	讓渡申証文之事 安永四年閏一二月二四日 讓主清水之内宅部定右衛門孫善藏他一名 勘左衛門 殿宛	一通	四五
壳渡申年季山証文之事 明和四年二月二三日 壳主宅部村半兵衛他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三〇	讓り渡申畑証文之事 安永一〇年二月 讓り主杉本左衛門他三名 杉本勘左衛門殿宛	一通	五八
讓渡申山証文之事 明和四年五月二日 讓主後ヶ谷村文右衛門他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿 宛	一通	三五	壳渡申山証文之事 寛政五年一二月 借主清水与右衛門 勘左衛門殿宛	一通	六〇
壳渡申山年季証文之事 明和四年八月四日 清水之内宅部佐左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	三七	年季山証文之事 文政九年三月 山主村佐兵衛他二名 林徳右衛門殿宛	一通	六七
壳渡申山年季証文之事 明和四年八月一日 壳主入間郡菩提木村伝右衛門他一名 多摩郡後ヶ谷 村勘左衛門殿宛	一通	三九	山壳上帳 天保四年八月二日 三光院	一冊	四三
畑讓渡証文之事 明和五年三月 讓主宅部平右衛門他四名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三〇	入置申一札之事 (畑地永代御渡し証文 控) 天保五年一二月 忠左衛門 吉右衛門殿宛	一通	六五
讓渡申証文之事 明和六年一〇月 山讓主後ヶ谷村勘兵衛他二名 勘左衛門殿宛	一通	三六	年季山証文之事 天保六年二月 地主後ヶ谷村名主勘左衛門他二名 茂七殿宛	一通	六七
讓渡申畑証文之事 明和七年四月三日 讓主後ヶ谷村勘左衛門分家文右衛門他二名 本家勘 左衛門殿宛	一通	四二	年季山証文之事 天保六年八月 地主後ヶ谷村市郎兵衛他一名 奈良橋村伊兵衛殿宛	一通	七六
讓渡申証文之事 安永二年閏三月一九日 讓主庄左衛門他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	四四	年季山証文之事 天保六年 地主後ヶ谷村市郎兵衛他二名 奈良橋村伊兵衛殿宛	一通	九四
			讓渡申畑証文之事 天保八年一月 当地主喜三郎他二名 忠左衛門殿宛	一通	一〇一

讓渡申証文之事 天保八年三月 地主錢治郎他一名 武右衛門殿宛	一通	二〇六	年季山証文之事 天保一三年三月 後ヶ谷村地主平重郎他二名 廻り田村茂七殿宛	一通	二二三
年季山証文之事 天保八年三月 地主喜三郎他二名 七郎右衛門殿宛	一通	二〇七	流地証文之事 天保一三年四月 地主名主平重郎他一名 安五郎殿宛	一通	二二三
讓渡申証文之事 天保八年六月 地主佐平次他二名 勘兵衛殿宛	一通	二〇七	讓渡申証文之事 天保一四年九月 地主佐平次他二名 徳右衛門殿宛	一通	二五二
讓渡申証文之事 天保八年一二月 地主平六他二名 勘左衛門殿宛	一通	二〇六	讓渡申証文之事 天保一四年二月 地主喜三郎他二名 忠左衛門殿宛	一通	二五五
讓渡申証文之事 天保九年三月 地主佐平次他二名 徳右衛門殿宛	一通	二〇六	年季山証文之事 弘化二年三月 地主後ヶ谷村平重郎他二名 下宅部茂右衛門殿宛	一通	二七二
流地証文之事 天保九年三月 平六他二名 八郎左衛門殿宛	一通	二〇六	年季山証文之事 控 弘化二年三月 後ヶ谷村地主平重郎・証人忠左衛門・与頭武右衛門 下宅部茂右衛門殿宛	一通	二七三
年季山証文之事 天保九年四月 地主平六他二名 藏敷村権左衛門殿宛	一通	二二六	讓渡申証文之事 弘化二年三月 地主左次郎後家とよ・証人左平次・与頭武左衛門 徳右衛門・清左衛門・小平次・元右衛門四人江渡	一通	二七三
讓渡申証文之事 天保九年閏四月 地主佐平次他一名 武兵衛殿宛	一通	二四〇	流地田証文之事 弘化四年三月 地主武左衛門他二名 荒ヶ谷戸弥左衛門殿宛	一通	三〇一
讓渡し申証文之事 天保九年閏四月 地主徳次郎他一名 武兵衛殿宛	一通	二四一	流地畑証文之事 弘化四年三月 畑主平重郎他二名 南谷権右衛門殿宛	一通	三〇三
年季山証文之事 天保九年八月 地主平六他二名 林金藏殿宛	一通	二四二	流地畑証文之事 弘化四年三月 畑主平重郎他二名 南谷権右衛門殿宛	一通	三〇四
年季山証文之事 天保九年八月 地主平六他二名 林金藏殿宛	一通	二四二	流地畑証文之事 (控) 弘化四年三月 畑主平重郎他二名 権右衛門殿宛	一通	三〇六
流地証文之事 天保一〇年三月 地主平重郎他二名 徳右衛門殿宛	一通	二七三	流地田証文之事 弘化四年三月 地主武左衛門他二名 荒ヶ谷戸村弥左衛門殿宛	一通	三〇三
年季山証文之事 天保一一年九月 地主平重郎他一名 喜衛門殿宛	一通	三〇一	年季山証文之事 弘化四年五月 平重郎他二名 茂右衛門殿宛	一通	三〇八
讓地証文之事 控 天保一一年九月 地主喜三郎他二名 忠左衛門殿宛	一通	三〇〇			

年季山証文之事 弘化四年五月 地主名主平重郎他二名 長三郎殿宛	一通	二三九
年季山証文之事 弘化四年五月 後ヶ谷村地主名主 平重郎他三名 下宅部茂右衛門殿宛	一通	二四〇
年季山証文之事 控 弘化四年五月 地主名主平重郎他二名 長三郎殿宛	一通	二四七
讓渡申田証文之事 弘化四年七月 地主組頭武右衛門他二名 忠左衛門殿宛	一通	二三一
讓渡申証文之事 弘化四年一〇月 地主後ヶ谷村平重郎他三名 後ヶ谷村忠左衛門殿宛	一通	二三七
(流地証文) 前欠 弘化五年二月 後ヶ谷村地主武右衛門他二名 下宅部茂右衛門殿宛	一通	二三三
讓渡田地証文之事 嘉永二年八月 地主平重郎他一名 忠左衛門殿宛	一通	二三六
(年季山証文之事) 前欠 嘉永二年一二月 地主七郎右衛門他二名 宅部村半兵衛殿宛	一通	二三二
年季山証文之事 嘉永三年三月 後ヶ谷村地主平重郎他二名 下宅部佐五右衛門殿宛	一通	二三五
年季山証文之事 控 嘉永三年三月 後ヶ谷村地主平重郎他二名 下宅部左五右衛門殿宛	一通	二三六
年季山証文之事 控 嘉永三年四月 後ヶ谷村武右衛門他二名 下宅部茂右衛門殿宛	一通	二三七
讓渡申田地証文之事 嘉永四年一二月 地主平重郎他二名 忠左衛門殿宛	一通	二四六
年季山証文之事 嘉永五年四月 後ヶ谷村地主喜三郎他二名 奈良橋留右衛門殿宛	一通	二五一
讓渡山証文之事 嘉永五年四月 後ヶ谷村地主慶次郎他二名 清水村鉄五郎殿宛	一通	二五二

年季山証文之事 嘉永六年二月 地主組頭武兵衛他一名 徳右衛門殿宛	一通	二三五
流地証文之事 (雛形) 嘉永六年三月 地主喜三郎他二名	一通	二三〇
讓渡山証文之事 嘉永六年八月 地主慶治郎他二名 忠左衛門殿宛	一通	二三四
讓渡山証文之事 控 嘉永六年八月 後ヶ谷村地主八郎兵衛他三名 宅部村御役人中宛	一通	二三三
讓渡申畑証文之事 雛形 嘉永七年三月 地主慶治郎他一名 峯吉殿宛	一通	二三七
讓渡申畑証文之事 嘉永七年三月 慶治郎他二名 峯吉殿宛	一通	二六九
讓渡申証文之事 嘉永七年六月 後ヶ谷村地主名主慶治郎他三名 高木村源兵衛殿宛	一通	二七三
流地証文之事 控 嘉永七年八月 後ヶ谷村地主名主平重郎他四名 忠左衛門殿・勘兵衛殿 宛	一通	二七六
年季山証文之事 控 嘉永七年一二月 後ヶ谷村地主平六他二名 奈良橋村太郎兵衛殿宛	一通	二七八
年季山証文之事 控 安政三年一二月 後ヶ谷村 地主武右衛門他二名 上新井村清左衛門殿宛	一通	二九九
年季山証文之事 控 安政三年一二月 後ヶ谷村七左衛門他二名 繁次郎殿宛	一通	二四二
年季山証文之事 控 安政三年一二月 武兵衛他一名 元右衛門殿宛	一通	二四四
讓渡山証文之事 控 安政三年一二月 地主七左衛門他一名 武兵衛殿宛	一通	二四三

讓地証文之事 控 安政四年一月 地主小左衛門他二名 安五郎殿宛	一通	一四五	預り申金子之事 享保九年二月一九日 預り主長兵衛 勘左衛門殿宛	一通	一五五
年季山証文之事 安政七年二月 清水村地主三光院他五名 高木村庄兵衛殿宛	一通	一四四	借用申地所証文之事 宝曆一年四月 清水村源右衛門他五名 後ヶ谷村地主勘兵衛殿・名 主勘左衛門殿宛	一通	一三三
讓渡申田証文之事 明治二年二月 地主勘左衛門他二名 八郎右衛門殿宛	一通	一六四	質地直段書上之覚 宝曆一三年五月 武州多摩郡後ヶ谷村名主勘左衛門他二名 伊奈半左 衛門様御役所宛	一通	一三三
地所抵当金円借用証 明治一八、二九年	一綴	二〇三	質地証文之事 後欠 明和三年三月 地主勘左衛門	一通	二六七
地所売渡証 明治一九年三月二八日 売渡人杉本想太郎 関田安右衛門殿宛	一綴	二〇九	質地証文之事 天明五年二月 宅部村地主勘左衛門他三名 同所伝兵衛殿宛	一通	一五五
(家屋売渡之証ほか綴) 明治一九年一〇月二六日、 地所買請約定証 明治二〇年八月二六日 買受人惣代内堀大一郎 杉本想太郎殿宛	一綴	二〇五	為取合質地入置申畑証文之事 天明七年一月 地主伊右衛門他二名 八郎右衛門殿宛	一通	九二
延期御届(公売落札地代金支払延期届) 明治二〇年八月二七日 落札人狭山村杉本想太郎他 一名	一通	二〇四	質地証文之事 寛政一年四月 地主宅部村勘左衛門他三名 同所伝兵衛殿宛	一通	五九
地所登記済証下付願 明治二一年九月二七日 北多摩郡狭山村宮鍋孝吉 砂川登記所御中宛	一通	二〇三	質地証文之事 寛政六年十一月 地主清水村伝右衛門他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	六〇
地所書入ニ付登記願 下書 明治二一年九月二八日	一通	二〇四	質地証文之事 寛政九年 地主名主勘左衛門他一名 忠右衛門殿宛	一通	六四
書状(地所証文送り状) 二二月一日 伝右衛門 御名主勘左衛門様宛	一通	二〇七	田畑質入直段書上帳 享和一年 多摩郡後ヶ谷村勘兵衛他四四名連判	一冊	六三
売渡申榎山証文之事 山売主清水村定右衛門他四名 後ヶ谷村左右衛門殿宛	一通	二三三	質地証文之事 文化一四年三月 畑主清水村名主清左衛門他一名	一通	七〇
売渡シ申真木山証文之事 山売主清水村定右衛門他 四名 後ヶ谷村左右衛門殿宛	一通	二二〇	質地証文之事 文化一四年三月 畑主清水村清左衛門他一名	一通	七〇
質地証文			質地証文之事 文化一四年三月 畑主清水村清左衛門他一名	一通	七〇
覚(質流地の取扱につき触書) 享保六年二月	一通	一四七			

質地証文之事 天保二年二月
 清水村名主七郎左衛門他五名 杉本勘左衛門殿宛 一通 九五
 質地証文之事 天保二年一月
 地主当人八郎左衛門他二名 後ヶ谷戸村佐兵衛殿宛 一通 九三
 有合質地田証文之事 天保五年三月
 田主内堀村七左衛門他二名 藏敷村常右衛門殿宛 一通 九七
 有合田証文之事 天保六年二月
 地主後ヶ谷村勘左衛門他二名 茂七殿宛 一通 九六
 質地証文之事 天保六年四月
 地主勘左衛門他一名 勘兵衛殿宛 一通 九六
 (質地証文) 前欠 天保六年四月
 地主勘左衛門他一名 忠左衛門殿宛 一通 九七
 田地質入借用申金子之事 天保六年一〇月
 借主後ヶ谷村小平次他二名 金藏殿宛 一通 九二
 有合田畑証文之事 天保七年三月
 地主七郎左衛門他一名 組頭武右衛門殿宛 一通 九八
 質地証文之事 割印控証文 天保七年三月
 地主喜三郎伴常五郎幼年二付地主代喜三郎他三名 宅部村彦兵衛殿宛 一通 九九
 質地証文之事 割印控証文 天保七年三月
 地主後ヶ谷村平六他二名 藏敷分弥左衛門殿宛 一通 一〇〇
 質地証文之事 控 天保七年三月
 地主德次郎他一名 元右衛門殿宛 一通 一〇一
 有合畑証文之事 天保七年四月
 地主後ヶ谷村佐平次他二名 林金藏殿宛 一通 一〇六
 有合畑証文之事 下書 天保七年四月
 地主平六他一名 浅右衛門殿宛 一通 一〇五

有合畑証文之事 天保七年四月
 地主平六他一名 浅右衛門殿宛 一通 一〇四
 質地証文之事 天保七年五月
 地主德次郎他二名 名主勘左衛門殿宛 一通 一〇七
 年季畑証文之事 天保七年五月
 地主德次郎他一名 武兵衛殿内おきよ殿宛 一通 一〇九
 有合畑証文之事 天保七年二月
 地主佐平次他二名 勘兵衛殿宛 一通 一〇七
 有合畑証文之事 天保七年二月
 地主佐平次他二名 勘兵衛殿宛 一通 一〇五
 有合田証文之事 天保七年一月
 地主佐平次他二名 金藏殿宛 一通 一〇四
 有合田証文之事 天保七年一月
 地主佐平次 八郎左衛門殿宛 一通 一〇三
 有合畑証文之事 控 天保八年四月
 地主平六他一名 組頭武兵衛殿宛 一通 一〇五
 有合畑証文之事 天保八年四月
 地主平六他一名 組頭武兵衛殿宛 一通 一〇四
 有合畑証文之事 天保八年四月
 地主平六他一名 組頭武兵衛殿宛 一通 一〇九
 質地証文之事 本書 天保八年一月
 地主平六他二名 高木村清左衛門殿宛 一通 一〇九
 有合畑証文之事 天保九年三月
 地主八郎左衛門他二名 南谷佐兵衛殿宛 一通 一一三
 有合田証文之事 天保九年三月
 地主七郎右衛門他一名 元右衛門殿宛 一通 一一五
 質地証文之事 天保九年閏四月 多摩郡後ヶ谷村地
 主重左衛門他二名 山口屋勝五郎殿宛 一通 一二四
 質地証文之事 天保九年閏四月
 地主重左衛門他二名 山口屋勝五郎殿宛 一通 一二三

有合畑証文之事 天保九年八月 地主平六他二名 林金藏殿宛	一通 二五	質地証文之事 天保一二年一〇月 地主後ヶ谷村名主平重郎他二名 久米村彦四郎殿宛	一通 二〇三
有合畑証文之事 天保九年一〇月 地主喜三郎他二名 宅部村繁二郎殿宛	一通 二五	質地畑証文之事 天保一二年一月 畑主佐平衛他二名 杉本忠左衛門殿宛	一通 二三六
有合畑証文之事 天保九年一〇月 後ヶ谷村喜三郎他二名 繁二郎殿宛	一通 二五	年季畑証文之事 天保一三年三月 地主平重郎他一名 南忠右衛門殿宛	一通 二三元
質地証文之事 天保九年十一月 地主平六他二名 林金藏殿宛	一通 二五	年季畑証文之事 天保一三年一月 地主左次郎他二名 元右衛門殿宛	一通 二二六
有合質地証文之事 下書 天保一〇年二月 地主喜三郎他二名 勘兵衛・吉右衛門・忠左衛門宛	二通 二〇六	有合田証文之事 天保一三年三月 地主平重郎他一名 吉右衛門殿宛	一通 二二六
有合質地証文之事 天保一〇年二月 地主喜三郎他二名 勘兵衛殿宛	一通 二七	質地証文之事 天保一三年三月 地主平重郎他一名 忠左衛門殿宛	一通 二三四
有合質地証文之事 天保一〇年二月 地主喜三郎他二名 忠左衛門殿宛	一通 二七	質地証文之事 天保一三年三月 地主平重郎他一名 武右衛門殿宛	一通 二三五
有合畑証文之事 控 天保一〇年三月 地主佐平次他二名 小平二殿宛	一通 二六	質地証文之事 天保一三年三月 地主平重郎他一名 勘兵衛殿宛	一通 二三六
有合畑証文之事 天保一〇年三月 地主佐平次他二名 小平次殿宛	一通 二五	質地証文之事 下書 天保一三年三月 地主平重郎他一名 勘兵衛殿宛	一通 二三七
質地畑証文之事 天保一〇年八月 畑主後ヶ谷村名主平重郎他二名 同所権右衛門殿宛	一通 二五	質地証文之事 天保一三年三月 平重郎他一名 忠左衛門殿宛	一通 二三〇
質地畑証文之事 天保一〇年八月 畑主後ヶ谷村名主平重郎他二名 同所安五郎殿宛	一通 二六	年季畑証文之事 天保一四年三月 地主七郎右衛門他一名 堀田撰津守様御内吉田啓太郎殿宛	一通 二四三
有合畑証文之事 控 天保一一年三月 地主忠左衛門他一名 李左衛門殿宛	一通 二六	有合年季田地証文之事 天保一四年三月 武州多摩郡後ヶ谷村地主七郎右衛門他一名 堀田撰津守様御内吉田啓太郎殿宛	一通 二四三
質地畑証文之事 天保一一年八月 畑主後ヶ谷村平重郎他一名 宅部村半藏殿宛	一通 二九	有合質地証文之事 天保一五年三月 武州多摩郡後ヶ谷村地主七郎左衛門他二名 江戸新はし勝五郎殿宛	一通 二五六
質地畑証文之事 天保一一年八月 畑主後ヶ谷村平重郎他一名 宅部村半藏殿宛	一通 二九		
質地畑証文之事 天保一一年八月 畑主後ヶ谷村平重郎他一名 宅部村半藏殿宛	一通 二九		
質地畑証文之事 天保一一年八月 畑主後ヶ谷村平重郎他一名 宅部村半藏殿宛	一通 二九		

年季畑証文之事 地主七郎右衛門他二名 彦兵衛殿宛	弘化二年八月	一通	二七九
質地畑証文之事 地主吉右衛門他二名 安右衛門殿宛	弘化三年二月	一通	二八二
有合質地証文之事 地主喜三郎他 徳右衛門宛	後欠 弘化三年四月	一通	二八九
年季山証文之事 地主宇兵衛他二名 元右衛門殿宛	弘化三年五月	一通	二九〇
有合畑証文之事 武右衛門 半蔵宛	後欠 弘化三年一〇月	一通	二九四
有合畑証文之事 畑主武左衛門他一名 忠右衛門殿宛	弘化三年一月	一通	二九五
有合畑証文之事 畑主武左衛門他二名 忠右衛門殿宛	弘化三年一月	一通	二五六
借用申金子之事 借主後ヶ谷村平重郎他一名 砂川村田堀平七殿宛	弘化三年一二月一四日	一通	二九七
有合畑証文之事 畑主平重郎他二名 南権右衛門殿宛	弘化四年三月	一通	三〇五
有合畑証文之事 地主武右衛門他一名 勘兵衛殿宛	弘化四年八月	一通	三三五
質地証文之事 地主平重郎他一名 忠左衛門殿宛	弘化四年八月	一通	三三三
質地証文之事 地主平重郎他一名 勘兵衛殿宛	弘化四年八月	一通	三三四
有合質地畑証文之事 地主武左衛門他一名 おすえどの宛	嘉永二年八月	一通	二三九
有合質地証文之事 後ヶ谷村地主組頭武左衛門他一名	後欠 嘉永三年二月	一通	二三三

有合畑証文之事 地主平重郎他二名 勘兵衛殿宛	嘉永四年二月	一通	三三四
有合畑証文之事 地主平重郎他二名 勘兵衛殿宛	嘉永四年二月	一通	三三四
有合証文之事 下書 嘉永五年二月	嘉永五年二月	一通	三四八
有合証文之事 地主宇兵衛他三名 元右衛門殿宛	嘉永五年一月	一通	三五〇
質物畑証文之事 地主組頭武右衛門他二名 南半蔵殿宛	嘉永六年二月	一通	三五八
質地証文之事 地主平重郎他一名 久右衛門殿宛	嘉永六年一月	一通	三六五
引当申一札之事 借主後ヶ谷村組頭武兵衛他一名 御村役人衆中宛	嘉永七年七月	一通	三七三
有合質地証文之事 院証人半次郎他三名 勘兵衛殿・忠左衛門殿宛	控 安政一年一二月 地主三光	一通	三六一
有合質地証文之事 地主喜三郎他二名 徳右衛門殿宛	安政二年一月	一通	三六二
入置申一札之事 年二月 新橋山口屋勝五郎他二名 杉本平重郎様宛	(金子請取質地返し証文) 安政二年四月	一通	三六五
質地田証文之事 地主七左衛門他二名 角左衛門殿宛	控 安政二年四月	一通	三六〇
質地田証文之事 地主七郎左衛門他二名 彦兵衛殿宛	安政二年四月	一通	三六九
質地証文之事 地主佐右衛門他二名 彦兵衛宛	控 安政二年七月	一通	三七一
質地畑証文之事 後ヶ谷村地主平重郎他一名 清水村峯次郎殿宛	安政三年五月	一通	三五三

有合畑証文之事 控 安政三年八月
地主平重郎他一名 半蔵殿宛 一通 二三叁

有合畑証文之事 安政三年八月
後ヶ谷村地主平重郎他一名 宅部村之内半蔵殿宛 一通 二三叁

質地畑証文之事 安政三年九月
後ヶ谷村地主平重郎他一名 清水村峯次郎殿宛 一通 二三七

質地畑証文之事 控 安政三年十一月
後ヶ谷村小左衛門他二名 安五郎殿宛 一通 二四〇

質地畑証文之事 控 安政三年十一月
後ヶ谷村小左衛門他二名 繁次郎殿宛 一通 二四一

質地畑証文之事 安政四年二月
地主平重郎他二名 喜三郎殿宛 一通 二四二

有合質地証文之事 文久四年三月
地主平重郎他二名 七右衛門殿宛 一通 二五〇

有合質地証文之事 文久四年三月
平重郎他二名 庄兵衛殿宛 一通 二五二

流地畑証文之事 慶応一年十一月
地主平重郎他二名 かちや清兵衛殿宛 一通 二五四

入置申一札之事(讓返し畑証文) 慶応一年二月
当人忠右衛門他一名 平重郎殿宛 一通 二五五

年季畑証文之事 慶応二年八月
地主平重郎他一名 安五郎殿宛 一通 二五八

質地山証文之事 慶応三年一月
地主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 二五九

質地山証文之事 慶応三年一月
地主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 二五九

質地田畑証文之事 控 慶応三年二月
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 二六一

質地田畑証文之事 慶応三年二月
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 二五三

質地畑証文之事 慶応三年二月
畑主清水村清左衛門他二名 後ヶ谷村平重郎殿宛 一通 二五三

質地田証文之事 明治二年二月
後ヶ谷村地主勘左衛門他二名 高木村源兵衛殿宛 一通 二六四

替地年季山証文之事 明治二年二月
地主名主勘左衛門他二名 八郎右衛門殿宛 一通 二六五

年季山証文之事 明治二年二月
地主後ヶ谷村勘左衛門他二名 高木村源兵衛殿宛 一通 二六四

質地畑証文之事 明治二年一月
宅部村地主角左衛門他二名 後ヶ谷村平重郎殿宛 一通 二七〇

流地畑証文之事 明治三年三月
清水村名主広五郎他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛 一通 二七〇

有合田証文之事 明治三年四月
後ヶ谷村地主勘左衛門他一名 処沢村弁蔵殿宛 一通 二七〇

有合田証文之事 控 明治三年四月
後ヶ谷村地主名主勘左衛門 処沢村弁蔵殿宛 一通 二七四

有合田証文之事 明治三年四月
宅部村田主竹造他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛 一通 二七五

年季証文之事 明治三年四月 三光院無住ニ付代名
主広五郎他一名 清水村善蔵殿宛 一通 二〇三

入置申一札之事(質地証文) 明治三年四月
宅部村地主借主竹造他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛 一通 二七六

質地畑証文之事 下書 明治三年一月
地主小町九内他二名 大野清左衛門殿他一名 一通 二七四

質地畑証文之事 明治三年一月 廻り田村地主小
町九内他二名 神山権左衛門殿他一名宛 一通 二七五

有合質地証文之事 明治五年三月 宅部村畑主竹之内竹藏他二名 後ヶ谷村内堀吉左衛門殿宛	二通	一八〇〇
有合質地証文之事 明治五年三月 宅部村畑主竹之内竹藏他二名 後ヶ谷村杉本勘左衛門殿宛	二通	一八〇一
質地証文之事 明治六年三月 後ヶ谷村地主杉本勘左衛門他二名 処沢村井坂弁藏殿宛	一通	一八〇〇
質地証文之事 明治六年三月 後ヶ谷村地主杉本勘左衛門他二名 所沢村井坂弁藏殿宛	一通	一八〇一
質地証文之事 明治六年六月一五日 地主多摩郡後ヶ谷村旧名主杉本平左衛門他一名 入間郡処沢村井坂弁藏殿宛	一通	一八五二
質地証文之事 明治六年六月一五日 多摩郡後ヶ谷村地主旧名主杉本勘左衛門他一名 入間郡処沢村井坂弁藏殿宛	一通	一八五三
地所質入之証 明治九年二月 第一一大区一〇小区狭山村質入主竹内竹藏他二名 杉本勘左衛門殿宛	一通	一九〇〇
地所書入金子借用証 明治一五年六月二二日 借主杉本小左衛門他一名 関田安右衛門殿宛	一綴	一九七二
地所抵当金円借用証 明治一六年一月一五日 借主杉本馬藏他一名 関田安右衛門殿宛	一綴	一九〇六
雜綴(地所抵当金円借用証その他綴)	一綴	二三四〇
地所抵当金円借用証 明治一六年二月八日 借主杉本想太郎他一名 関田安右衛門殿宛	二綴	一九六一
地所抵当金円無利足預り証 明治一七年二月二二日 預り主入間郡宮寺村吉川三郎兵衛他一名 北多摩郡清水村清水安清殿宛	一通	二三六五

地所抵当金円預り証(頼母子講落札につき) 明治一九年四月七日 預り主狭山村杉本想太郎他一名 同村屋根替講世話人御中宛	一通	二〇三三
山林借地証 下書 明治二〇年六月一三日 小作人狭山村杉本想太郎他一名 下新井村三上重次郎殿宛	二通	二〇五二
証明願(抵当書入れのため狭山村五九〇番地の建物につき) 明治二二年九月二八日 借主杉本源五郎他一名	二通	二〇五五
証明願(建物抵当書入れのため) 明治二二年九月二八日 借主杉本源五郎他一名	一通	二〇五五
家屋抵当金員借用之証 明治二二年一〇月 借主関下佐太郎 中村彦兵衛殿宛	一綴	二〇四六
仮証書(年季山永代渡切替金子請取証文) 狭山村地主杉本勘左衛門 高木村鈴木長右衛門殿宛	一通	二一七九
小作証文		
田畑小作覚帳(裏表紙大福帳と有り) 宝曆八年四月 杉本勘左衛門	横帳	二〇三三
田前小作請取証文之事 明和五年二月 清水村佐左衛門他五名 勘左衛門殿宛	一通	三七九
小作米永 文政三年	横帳	七七八
巳小作米錢請取帳 文政四年	横帳	七四四
申小作請取帳 文政七年	横帳	八〇〇
文政九戌年小作 文政九年	横帳	八三三
文政十亥年小作金錢米請取帳 文政一〇年	横帳	八七七
小作(小作帳) 文政一三年	横帳	二二八

一札之事(小作人証文) 天保九年九月
地主平重郎 円達院様宛

一通 二五三

一札之事(小作証文) 天保九年九月
借主円達院 杉本平重郎殿宛

一通 二五五

一札之事(小作証文) 天保九年九月
円達院 杉本平十郎様宛

一通 二六一

前小作田証文之事 嘉永七年三月
後ヶ谷村地主慶治郎他一名 高木村清藏殿宛

一通 二七〇

入置申一札之事(小作証文) 万延二年二月
借主清水村与右衛門他一名 三光院様宛

一通 二四三

小作証文之事 明治三年四月
後ヶ谷村小作人勘兵衛 処沢村弁藏殿宛

一通 二七三

小作証文之事 明治三年四月
後ヶ谷村小作人勘兵衛 処沢村弁藏殿宛

一通 二七三

小作証文之事 明治六年三月 小作人後ヶ谷村杉本
勘兵衛他一名 処沢村井坂弁藏殿宛

一通 二八四

小作証文之事 明治六年三月 小作人後ヶ谷村杉本
勘兵衛他一名 所沢村井坂弁藏殿宛

一通 二八五

地所小作証 下書 明治二〇年六月一三日 小作人
狭山村杉本想太郎他一名 下新井村三上重次郎殿宛

一通 二〇三

証(小作代・山代・利足等皆済の証)
明治二年一〇月一六日 入間郡松井村大字下新井
三上重次郎 北多摩郡狭山村杉本想太郎殿宛

一通 二〇六

未小作 申年用 未年

横帳 一冊 八〇

酉年田畑小作帳 酉年

横帳 一冊 八五

(小作帳) 前欠

横帳 一冊 二五〇

金子借用証文

入置申証文之事(代金請取) 享保一一年二月一
七日 茂左衛門他五名 勘左衛門殿宛

一通 一六

入置申畑証文之事 享保一二年二月
畑主八郎右衛門他一名 名主勘左衛門殿宛

一通 一七

入置申山証文之事 享保一四年閏九月二日
清水村山主与左衛門 宅部村勘左衛門殿宛

一通 一八〇

入置申山証文之事 享保一四年二月二六日
宅部村山口長兵衛 同村勘左衛門殿宛

一通 一八五

入置申証文之事(金子借用) 享保一五年二月
後ヶ谷村畑主権左衛門 勘左衛門殿宛

一通 一八七

入置申山証文之事(金子借用証文控)
元文三年一二月六日 山主後ヶ谷村茂右衛門他三名
円乘院様宛

一通 二四九

入置申質物之事 寛保一一年一月二日 借主入間郡
新堀村金乘院他三名 宅部村勘左衛門殿宛

一通 二四〇

証文之事(借金証文) 寛保二年一月一日
借主九兵衛・証人彦八 勘左衛門殿宛

一通 二六六

借用申金子之事 寛保三年一月五日
廻り田村借主重兵衛他一名 上宅部村孫七郎殿宛

一通 二二九

預申金子之事(金子借用証文) 寛保三年二月
清水村預り主孫八 藤七郎殿宛

一通 二六七

預り申金子証文之事(借金証文) 寛延一一年二月
金預り主三右衛門・証人佐兵衛 孫七殿宛

一通 二六〇

証文之事(金借証文) 寛延三年八月一日 預り主
他二名 堀之内村勝光寺様宛

一通 二六三

入置申証文之事(金子借用証) 宝曆二年二月
地主勘兵衛他二名 孫七殿宛

一通 二五八

借用申金子之事 宝曆四年五月 預り主野口村名主太右衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七四
入置申証文之事 宝曆六年二月 借主清水村甚五兵衛 後ヶ谷村空右衛門殿宛	一通	二六六
借用申金子之事 宝曆七年二月 清水村借主長左衛門・証人組頭甚五衛 勘左衛門殿宛	一通	二六四
借用申金子証文之事(西国順礼路用金) 宝曆八年六月 借主長右衛門・証人喜三郎 勘左衛門殿宛	一通	二六〇
借用申金子証文之事(西国順礼路用金) 宝曆八年六月 定右衛門・市郎兵衛 勘左衛門殿宛	一通	二六三
入置申証文之事 宝曆八年二月 借主勘兵衛・証人権右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二六六
借用申証文之事(五兩借金証文) 宝曆九年七月 三光院・証人清左衛門他三名 勘左衛門殿宛	一通	二六四
借用証文之事 宝曆一〇年一月 清水村源右衛門他五名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六三
借用申証文之事 宝曆一三年六月 借主廻り田村市郎右衛門他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二五五
入置申証文之事 宝曆一三年八月 売主清水村持宝院他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七一
借用証文之事 宝曆一三年一〇月 三左衛門他二名 勘左衛門殿宛	一通	二七七
借用申金子証文 明和一年九月 清水村借主磯右衛門他三名 勘左衛門殿宛	一通	二六四
借用申金子之事 明和一年一〇月 借主伊右衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	二六三
借用申金子之事 明和一年一〇月 大沼田新田借主弥兵衛・同組頭伊左衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六四
借用申田証文之事 明和一年閏一二月八日 借主清水之内林次郎右衛門他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二四五
借用申証文之事 明和一年閏一二月一五日 勘兵衛他三名 勘左衛門殿宛	一通	二四六
借用申証文之事 明和一年閏一二月一五日 借主八郎右衛門・証人権左衛門 勘左衛門殿宛	一通	二六四
借用申証文之事 明和二年二月七日 清水村甚平 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六五
借用申証文之事 明和二年三月六日 宅部村借主八右衛門・証人権右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二六五
借用申証文之事 明和二年三月一四日 清水村借主持宝院他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六六
借用申証文之事 明和二年三月二〇日 清水村借主半七・源右衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六五
借用申証文之事 明和二年六月二〇日 清水村借主 五兵衛・証人源右衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六四
借用証文之事 明和二年八月一六日 後ヶ谷村借主 佐五兵衛・組頭政右衛門 同村名主勘左衛門殿宛	一通	二六五
借用申証文之事 明和二年九月四日 清水村借主勘 右衛門・組頭源右衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六〇
借用申証文之事 明和二年一〇月二〇日 清水村源右衛門他三名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七七
借用申証文之事 明和三年四月五日 借主宅部村五右衛門他三名 勘左衛門殿宛	一通	二五二

借用申金子之事 明和三年六月一日 後ヶ谷村借主政右衛門 同村勘左衛門殿宛	一通	二六八	借用申金子之事 明和三年二月二七日 浅井小右衛門内村井弥助 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二六八
借用申証文之事 明和三年七月一日 借主平六他一名 勘左衛門殿宛	一通	二六九	借用申証文之事 明和四年三月一七日 組頭八兵衛他三名 勘左衛門殿宛	一通	二六九
借用申証文之事 明和三年七月七日 清水之内宅部借主七郎左衛門・証人西権右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二七〇	借用申証文之事 明和四年四月五日 借主清水之内宅部村八兵衛他一名 勘左衛門殿宛	一通	二七〇
借用申証文之事 明和三年八月二二日 借主清水之内宅部次郎右衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	二七一	借用申証文之事 明和四年四月三〇日 借主宅部村五左衛門他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七一
借用申金子之事 明和三年八月二二日 借主清水之内宅部村市右衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	二七二	借用申証文之事 明和四年五月二日 清水之内宅部村組頭八兵衛他四名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七二
借用申証文之事 明和三年九月四日 宅部村借主八右衛門・証人五左衛門 勘左衛門殿宛	一通	二七三	借用申金子証文之事 明和四年八月三日 借主宅部村次郎右衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七三
借用申金子証文之事 明和三年九月一七日 借主後ヶ谷村与左衛門 同村勘左衛門殿宛	一通	二七四	借用申証文之事 明和四年二月七日 借主平六他一名 勘左衛門殿宛	一通	二七四
借用申証文之事 明和三年一〇月七日 宅部村組頭八兵衛他二名 勘左衛門殿宛	一通	二七五	借用申証文之事 明和四年二月二〇日 借主清水之内宅部二郎右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二七五
預申金子証文之事 明和三年一〇月二五日 高木村預り主伝藏 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七六	借用申証文之事 明和四年二月二一日 宅部村借主文右衛門・組頭政右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二七六
借用申証文之事 明和三年一二月九日 清水之内宅部借主七郎左衛門・証人権右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二七七	借用申証文之事 明和四年二月二八日 七郎左衛門・権右衛門 勘左衛門殿宛	一通	二七七
請取永之事 (御貸附年賦金請取証文) 明和三年一二月二一日 松本藤八・栗田六郎左衛門 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七八	借用申証文之事 明和五年四月二八日 借主清水之内宅部治右衛門他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	二七八
借用申田証文之事 (借金につき田地抵当証文) 明和三年一二月二六日 清水之内宅部借主治右衛門・組頭八兵衛 勘左衛門殿宛	一通	二七九	借用申証文之事 明和五年七月 借主廻り田村之内日向勘兵衛他二名 勘左衛門殿宛	一通	二七九

借用申証文之事 明和五年二月二〇日 借主同村文右衛門他一名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	三七六
借用申金子之事 明和六年三月一八日 借主清水之内宅部村長左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	三七六
借用申証文之事 明和六年一〇月一四日 清水之内宅部村組頭政右衛門他三名 勘左衛門殿宛	一通	三七〇
借用申証文之事 明和六年一月九日 借主宅部村庄之助他一名 勘左衛門殿宛	一通	三七〇
借用申証文之事 明和六年二月一七日 多摩郡宅部村角左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	三七四
借用申証文之事 明和六年二月一九日 谷庄兵衛他一名 勘左衛門殿宛	一通	三七五
借用申証文之事 明和六年二月二三日 借主七郎左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	三七六
借用申証文之事 明和七年一月二二日 清水村之内宅部百姓惣代利兵衛他四名 勘左衛門殿宛	一通	三九六
(扶食金借用につき) 断簡 明和七年四月二六日 組頭八兵衛他三名 勘左衛門殿宛	一通	四〇三
借用申金子証文之事 明和七年五月 後ヶ谷村門乘院弟子敏運他二名	一通	四〇五
借用申証文之事 明和七年二月二四日 借主林角左衛門他二名 勘左衛門殿宛	一通	四三三
借用申証文之事 明和七年二月二四日 借主村茂左衛門他二名 勘左衛門殿宛	一通	四三三
借用申金子証文之事 明和八年四月 借主五兵衛 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	四三七
借用申証文之事 明和八年五月三日 清水之内宅部伊左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	四三八

借用申証文之事 明和八年一〇月八日 借主人間郡□木村三郎右衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	四三三
借用申証文之事 明和八年一〇月二二日 借主市右衛門 勘左衛門殿宛	一通	四三三
借用申証文之事 明和九年三月一四日 借主清水村甚平他一名 勘左衛門殿宛	一通	四四五
借用申金子之事 明和九年九月一日 借主高木村佐藏 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	四四六
借用申証文之事 明和九年一月 借主清水之内宅部七郎左衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	四四〇
借用申証文之事 明和九年二月二三日 借主宅部午八他二名 勘左衛門殿宛	一通	四四三
借用申証文之事 安永二年閏三月一日 借主宅部村之内後ヶ谷半三郎他二名 勘左衛門殿宛	一通	四四五
借用申証文之事 安永二年一〇月 清水村甚平 勘左衛門殿宛	一通	四四七
借用申金子之事 安永三年一月九日 借主人摩郡菩提木村利左衛門他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	四四〇
借用証文之事 安永四年六月一八日 借主境村市郎平衛他一名 勘左衛門殿宛	一通	四三七
入置申証文之事 安永四年九月二三日 芋久保村治左衛門他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	四四六
借用申証文之事 安永四年一月一日 借主清水之内宅部七右衛門他一名 勘左衛門殿宛	一通	四四九
借用申証文之事 安永四年閏二月三日 借主清水之内幸七他一名 勘左衛門殿宛	一通	四四三

借用申証文之事 安永四年閏二月二二日 借主清水之内宅部七左衛門他二名 勘左衛門殿宛	一通	四〇〇
金子借用一札之事 安永四年二月 所沢村助右衛門 宅部村勘左衛門殿宛	一通	四〇一
借用申証文之事 安永五年二月二二日 林茂左衛門他二名 勘左衛門殿宛	一通	四〇二
借用申証文之事 安永五年八月八日 借主市兵衛他一名 勘左衛門殿宛	一通	四〇六
借用申証文之事 安永五年九月八日 林五左衛門 勘左衛門殿宛	一通	四〇九
借用申証文之事 安永五年〇月二日 林茂右衛門他二名 勘左衛門殿宛	一通	四一七
借用申証文之事 安永六五年三月三日 廻り田之内境市郎兵衛他一名 勘左衛門殿宛	一通	四二〇
借用申証文之事 安永六年一月二二日 借主内ほり七郎左衛門 勘左衛門殿宛	一通	四二五
借用申証文之事 安永六年二月一五日 野口村文平 勘左衛門殿宛	一通	四二六
借用申証文之事 安永七年二月四日 借主宅部村佐兵衛 勘左衛門殿宛	一通	四二八
借用申証文之事 安永七年二月 借主清水内宅部村組頭利兵衛 勘左衛門殿宛	一通	四三二
借用申金子之事 安永八年二月一日 宅部林□□他二名 勘左衛門殿宛	一通	四三〇
借用申金子之事 安永八年二月一四日 借主清水之内宅部利右衛門 勘左衛門殿宛	一通	四三〇
借用申証文之事 天明一年一二月 借主清水分宅部村市左衛門他一名 杉本宗四郎殿宛	一通	四三三
借用申連判証文之事 天明四年閏一月二六日 請人内堀百姓伝七他二名 名主勘左衛門殿宛	一通	四三〇
入置申証文之事 天明九年二月 地主宅部村勘左衛門他三名 大沼田新田伝兵衛殿宛	一通	四三六
覚(金子借用証文)寛政七年六月二日 清左衛門 勘左衛門殿宛	一通	四三六
借用申金子之事 文化四年八月 借主糶谷村鈴木龍煩他一名 石井勘左衛門殿宛	一通	四三九
御貸附金拝借質地証文 下書 文化一〇年一月 拝借人浅井権之助知行所武州多摩郡清水村名主清左衛門 吉岡様宛	縦帳 一冊	四三三
覚(金銭貸借覚) 文化一三年三月 横帳 一冊	横帳 一冊	四三九
相渡申一札之事(借金証文) 文化一三年三月 清水村新田地主清左衛門他二名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛	一通	四四〇
書入地証文之事(金子借用) 文化一三年四月 宅部村佐兵衛 輪王山三光院様且頭衆中様宛	一通	四四三
借用申一札之事 文政三年二月一五日 奈良橋村佐平次 勘左衛門殿宛	一通	四四八
借用申一札之事 文政六年一月二〇日 三光院様且頭中御役中様宛	一通	四四九
借用申一札之事 文政六年一月二五日 借主清水村組頭利兵衛他一名 三光院様且頭中御役人衆中宛	一通	四五〇
覚(金子借用証) 文政七年四月一五日 清水村清左衛門 勘左衛門殿宛	一通	四五五
恩借金(窮乏につき借用金書上げ) 文政一二年二月二五日 市郎右衛門	縦帳 一冊	四七三

一札(金子借用証文) 文政一一年四月三日
清水村定右衛門 勘左衛門殿宛 一通 八七五

預申一札之事(金子預り証文) 文政一二年二月一日
清水村定右衛門他一名 勘左衛門殿宛 一通 八二

預り申一札之事(金子借用) 文政一二年三月二五日
清水村定右衛門他一名 勘左衛門殿宛 一通 八三

借用申金子証文之事 天保一〇年一月
後ヶ谷村百姓喜三郎他二名 名主勘左衛門殿宛 一通 九五

借用申金子之事 天保一〇年一月
借主武州多摩郡後ヶ谷村与頭武兵衛他一名 江戸新
橋金春屋敷二而山口屋勝五郎殿宛 一通 二六六

借用申金子之事 控 天保一〇年一月
借主武州多摩郡後ヶ谷村与頭武兵衛他一名 江戸新
橋金春屋敷二而山口屋勝五郎殿宛 一通 二六七

借用申金子之事 控 天保一〇年七月
借主七郎右衛門他二名 吉田源兵衛殿宛 一通 二七七

借用申金子手形之事 天保一一年一月二二五日
借主後ヶ谷村平重郎 下宅部茂七殿宛 下書 一通 二八三

一札之事(金子借用) 控 天保一五年一月二日
杉本忠左衛門他一名 長右衛門殿宛 一通 二八四

借用申金子之事 弘化二年五月一四日
宅部村借主吉右衛門他二名 高木村庄兵衛殿宛 一通 二七六

借用申金子之事 弘化二年五月一四日
宅部村借主吉右衛門他二名 高木村庄兵衛殿宛 一通 二七六

借用申金子之事 弘化二年七月
多摩郡後ヶ谷
村借主七郎右衛門他二名 久右衛門殿宛 一通 二七六

借用申金子之事 弘化三年三月
後ヶ谷村之内字内堀新右衛門他二名・名主平重郎奥
書 堀口村会主半右衛門殿宛 一通 二八七

借用申金子之事 嘉永三年九月
後ヶ谷村借主平重郎他一名 高木村庄兵衛殿宛 一通 一三三

書入証文之事(金子借用) 嘉永五年二月
地主頭領友治郎他二名 繁治郎殿宛 一通 一三九

書入証文之事(金子借用) 下書 嘉永五年 後欠
借用申金子之事 安政二年三月
借主喜三郎他一名 おすゑ殿宛 一通 一三五

年賦金証文之事 文久一一年一月
後ヶ谷村字宅部平吉他二名 入間川村綿貫良三殿宛 二通 一四七〇

借用申金子証文之事 文久三年一〇月
桑村借主彦四郎他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 一四九三

預り一札之事(金子預り証文) 文久三年二月
桑村彦四郎他一名 所沢村幸作殿宛 一冊 一四九六

一札之事(返却すべき証文紛失につき一札)
元治一一年五月 後ヶ谷村勘左衛門 久米村彦四郎殿
宛 一通 一五〇七

借用申金子之事 元治一一年二月
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 一五三

借用申金子之事 元治二年四月一日
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 宅部村繁治郎殿宛 一通 一五七

借用申金子証文之事 慶応一一年五月
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 一五三

借用申金子証文之事 慶応一一年八月
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 一五三

借用申金子証文之事 慶応一一年八月
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 高木村源兵衛殿宛 一通 一五三

借用申金子之事 控 慶応一一年一月
借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 清水村長藏殿宛 一通 一五八

借用申金子之事 慶応一年一月 一 通 一五八

借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 清水村長藏殿宛

借用申金子之事 慶応二年一月 一 通 一五九

借主廻田村組頭苑右衛門他一名 清水村三光院様御納所中并御世話人中宛

借用申金子之事 借主五郎兵衛他一名 一 通 一五九

三光院様御納所中并御世話人中宛

借用申金子之事 慶応二年一月 一 通 一五九

借主廻り田村組頭半治郎他四名 清水村三光院様御納所并御世話人中宛

借用申金子之事 慶応二年一月 一 通 一五九

借主後ヶ谷村平重郎他一名 三光院様御納所中宛

借用申金子之事 慶応二年一月 一 通 一五九

借主清水村清左衛門他一名 三光院様御納所中宛

借用申金子之事 慶応二年一月 借主宅部村名主 一 通 一五九

半平衛他一名 三光院様御納所中御世話人衆中宛

借用申金子証文之事 控 慶応三年三月 一 通 一五九

借主後ヶ谷村勘左衛門他一名 小の村久左衛門殿宛

借用申金子之事 明治三年四月 一 通 一七七

打越村借主八百藏 桑村彦四郎殿宛

借用申金子之事 明治三年四月 一 通 一七二

後ヶ谷村借主勘左衛門他一名 清水村長藏殿宛

借用申金子証文之事 明治六年五月 一 通 一八六

三光院鶴岡忍雅 杉本平五郎殿宛

借用申証文之事 (金子借用証) 明治六年一〇月一日 借主宅部村竹内角左衛門他 一 通 一八六

二名 清水村三光院様御納所并御世話人中宛

年季山証文之事 (金子受取証) 明治六年一〇月 一 通 一八五

清水村三光院且中惣代後ヶ谷村杉本勘左衛門他三名 清水村森田峯次郎殿他二名宛

歎願書 (借金返済滞りにつき) 明治八年二月 一 綴 一七三

第拾壹大区拾小区宅部村源藏父榎本弥右衛門他七名

借用金証文之事 明治九年四月 一 通 一五七

神奈川県第十一大区十小区多摩郡狭山村借主杉本勘左衛門他一名 熊谷県入間郡処沢村深井并藏殿宛

借用金之証 明治九年四月 一 通 一五三

神奈川県第十一大区十小区多摩郡狭山村借主杉本勘左衛門他一名 入間県下入間郡処沢村深井并藏殿宛

借用金之証 明治九年六月一日 一 通 一五九

借主狭山村杉本勘左衛門他一名 熊谷県下宮寺村吉川庄右衛門殿宛

借用金之証 明治九年二月三日 一 通 一五九

第十一大区十小区狭山村借主杉本勘左衛門他一名 藏敷村鈴木重藏殿宛

日延書 (抵当証書償却日延証文) 明治一年七月二日 十小区狭山村杉本勘左衛門 一 通 一五九

同小区高木村尾崎宇兵衛殿宛

借用金之証 控 明治一三年八月一日 一 通 一五三

狭山村杉本勘左衛門 町田権右衛門殿宛

借用金之証 下書 明治一四年一月二〇日 一 通 一五三

狭山村杉本勘左衛門他一名 清水村原仁平殿宛

利子受取証ほか 明治一八年一〇月三日 七 通 一五九

下新井村三上重次郎 狭山村杉本勘左衛門様宛

借用金之証 明治一九年三月三〇日 二 通 一〇六

借主狭山村竹内竹藏他二名 入間郡下新井村三上高儀殿宛

約定書(貸金延滞につきとりきめ書)

明治二〇年一月一日 北多摩郡高木村尾崎房七 同
郡狭山村杉本勘左衛門殿宛

金子借用証 明治二〇年一月二〇日

借用人狭山村関下庄兵衛他一名 西田平右衛門殿宛

金子借用証(藍葉代金) 明治二〇年九月一〇日

借主北多摩郡狭山村杉本想太郎他一名 南豊島郡角
筈村岡本吉五郎殿宛

月賦金借用証書 明治二二年一〇月一六日

北多摩郡狭山村杉本想太郎 入間郡下新井村三上高
儀殿宛

領収書(貸附金償還につき)

明治四四年一月一九日 埼玉県入間郡松井村三上
重次郎 北多摩郡狭山村杉本想太郎殿宛

(金円借用証書類一括) 明治

覚(金子請取証) 子二月七日

内堀金左衛門 杉本勘左衛門様宛

金子借用之事 丑七月二九日

御師馬場采女 勘左衛門殿宛

借用申金子証文之事 申二月

借り主廻り田村薬師堂他一名 杉本勘左衛門殿宛

借用覚 酉四月

借用申金子証文之事 酉八月一日

清水村借主三光院住鶴岡忍雅 清水安清殿宛

覚(借用残金請取証) 酉二月一四日

新堀村金乘院 宅部勘左衛門殿宛

覚(借用金請取証) 戌二月

山口新堀金乘院 宅部勘左衛門殿宛

請取覚(金子請取証) 亥一〇月二二日

下南畑村与左衛門 後ヶ谷戸村宛

(抵当品書上げ 畑山林他)

(明治)一六年二月三〇日 中藤新田民融社内堀
吉右衛門宛ほか

舌代(金円借用願い) 六月二〇日

浅田松介 役場杉本勘左衛門君様宛

入置申一札之事(金子要用ニ付什物借用証文)

閏七月九日 借主後ヶ谷村七郎左衛門 宅部村半兵
衛殿宛

書状(金子渡方依頼状) 八月三日

池谷助役 杉本書記殿宛

書状(金子借用願い) 八月七日

内藤拜 杉本様宛

口上(半左衛門借用之金子ニ付) 八月二四日

伊奈半左衛門内大河内与右衛門他一名 後ヶ谷村左
右衛門殿宛

覚(金子受取覚綴) 寛延二年ほか 菩提木村名主他

家守方渡ス覚(屋敷畑等買もどし証文)

引替申証文之事(半左衛門借用金返済残金の取扱い

証文) 宝曆七年一月 田中伸太他七名 左右衛門
殿宛

引替申証文之事(半左衛門借用金返済残金の取扱い

証文) 宝曆七年一月 田中伸太他七名 左右衛門
殿宛

一通 三三三

一通 三〇三

一通 三三〇七

二通 二〇〇七

一通 二〇〇六

八通 二五三

一通 八五五

一通 四三三

一通 五七

一冊 三六二

一通 一八四

一通 三六〇

一通 三三七

一通 九〇三

一綴 三三九

一通 二〇〇三

一通 一七六

一通 一八〇七

一通 一八〇

一通 四七

一綴 三七

一通 三三

一通 二六五

一通 二六六

引替申証文之事(半左衛門借入金返済残金の取扱い証文) 宝曆七年一月 田中仲太他七名 李右衛門殿宛	一通	二六三
宝曆八年寅方入来金銭出金帳 宝曆八年	一冊	三〇八
請取永之事(貸附金の利息受取証)	一通	二六四
明和二年二月一七日 松本藤八・栗田六郎左衛門後谷村勘左衛門宛		
入置申一札之事(御分地返上代金請取証文)	一通	二五〇
明和三年三月七日 大沼田新田地守弥兵衛他二名 勘左衛門殿宛		
真鍮銭通用御触書 写 明和五年五月一五日	一冊	二七五
金子請文之事 天明二年二月一二日	一通	三〇九
請主後ヶ谷村内百姓佐右衛門他二名 後ヶ谷初右衛門殿宛		
覚(金子受納証) 天明二年二月一日	一通	三〇三
舜賀他二名 宗四郎殿御母公宛 包紙有り		
覚(金銭受取り証) 文化二年六月一七日	一通	七六
高木村名主金左衛門 後ヶ谷村御村役人衆中様宛	一通	七〇
一件中金銀出入控帳 天保一〇年一月一七日	一冊	二六
後ヶ谷村杉本平重郎	横帳	
覚(操替納粉代金受取証) 天保一一年一月一日	一通	三三四
清戸下夕宿名主友右衛門 後ヶ谷村名主後三郎殿宛		
請取申金子之事(御長屋取建の作事入用金)	一通	三三四
天保一二年七月 日根野左大夫 沢金理兵衛殿他二名宛		
覚(立木買戻代金請取) (天保一二年) 丑八月六日	一通	三三九
清水村名主清左衛門 平重郎殿他二名・小前中宛		
(金銭出入覚) 安政度より文久三年八月	縦帳	
年賦金証文之事(酒代金年賦割済につき)	一冊	一〇七
明治二年二月 当人後ヶ谷村庄兵衛他二名 桑村彦四郎殿宛	一通	一六四
年賦証文之事(酒代残金) 明治二年一二月	一通	一六三
借用人廻り田村太郎右衛門他一名 桑村彦四郎殿宛		
西田利市諸勘定出入帳	横帳	
明治四年ヨリ九年六月迄 杉本勘左衛門控	一冊	一七五
入置申一札之事(堀敷貸渡金子請取)	一通	一七九
明治五年三月 宅部村地主竹之内吉右衛門 後ヶ谷村杉本勘左衛門殿宛		
金銭受取書 明治六年一月 後ヶ谷村杉本平五郎 旧名主杉本勘左衛門・戸長内野李左衛門	一綴	二七五
原仁兵衛出合(金銭書上帳) (明治七年) 戌六月	一冊	二五
記(代金支払及び残金支払約定書その他綴)	一綴	一九六
明治九年一〇月一九日		
金銀簿 明治九年一二月吉日 神奈川県官下第拾壹 大区拾小区高木村尾崎房七 杉本勘左衛門殿宛	半横帳	一九三
手形之証 明治一五年五月三〇日	一通	一九四
内堀宅美 杉本勘左衛門殿宛		
(金円受取覚等綴) (明治) 一五年五月三〇日	一綴	三〇一
記(金銭受取証) 明治一五年七月二九日	一通	二七五
日野や米右衛門 杉本様宛		
入置申一札証(太鼓張替代金受取証文)	一通	一九四
明治一五年一月一九日 北多摩郡野田村張替人北久保吉五郎他一名 清水村・狭山村世話人御中宛		
(金子請取書綴) 明治一五年	一綴	一九七

証(金円手形) 控 明治一六年五月二四日 一通 一五五
 北多摩郡狭山村杉本勘左衛門 杉本小左衛門殿宛
 証(金円手形) 明治一六年九月三日 一通 一五三
 狭山村杉本勘左衛 杉本忠左衛門殿宛
 書状(旧証書精算金額改証並びに利子約定について)
 明治一六年一〇月三日 タカギ尾崎藏七 杉山村杉
 本勘左衛門様宛 一通 一九六
 記(質物品書上げ) (明治)一七年一〇月一一日 一通 三三七
 金山齊藤栄藏 神奈川県北玉郡サ山村竹内竹藏他
 一名宛
 記(給料受取証) 明治一八年六月二二日 一通 一九四
 伊東周作 杉本勘左衛門殿宛
 記(金円請取証) 明治一八年八月三二日 一通 一九三
 鈴木戒三 尾崎伝右衛門殿宛
 記(内金にて質品一時拝借願ひ証)
 (明治)一九年一月五日 サ山村杉本勘左衛門
 金山齊藤栄造様宛 一通 三五六
 (領収証等綴) 明治一九年 杉本勘左衛門殿宛ほか
 記(受取証綴) 明治一九年・二〇年 一綴 二〇九
 下新井村三上十二郎 狭山村竹内竹藏様宛等 六通 二〇七
 記(藍玉受渡依頼状) 明治二〇年二月二六日 一通 二〇三
 北多摩郡狭山村杉本惣太郎 野中新田内田半三郎殿
 宛
 預り記(質物預り証、その他受取証等九点一括綴)
 明治二一年三月一六日 預り主上山口邨関谷清左衛
 門等 狭山村竹内竹藏殿宛等 一〇通 三三四
 記(玄米四斗入式俵請取証等)
 (明治)二二年一月一九日 下新井村三上重二郎
 狭山村杉本惣太郎様宛 二通 二〇七

記(金円受取証) 明治二二年九月一九日 一通 二〇七
 北玉郡小金井村鈴木林藏 狭山村杉本惣太郎様宛
 記(請取証) (明治)二二年一月七日 入間郡松井
 村下新井三上高儀代三上重次郎 狭山村杉本勘左衛
 門殿宛 一通 二〇七
 (領収証等の綴) 明治一四年、四五年 一綴 二〇三
 証(金円預り証) 明治二六年八月一三日 一通 二〇九
 芋久保村岩田虎吉 杉本君宛
 (金円受取証) (明治二七年)四月一〇日 一通 三三三
 野火止石山文吾 狭山村武内庄五郎様宛
 金円受取 明治二七年五月二二日 一通 二〇八
 高木村鈴木惣左衛門 清水村池谷藤左衛門様宛
 領収証(内堀氏寿碑潤筆料ほか)
 大正七年四月二八日 東京市外巢鴨池袋三宅陽淡内
 中原俊平他 石井梅光殿宛 袋共 二通 二七四
 記(梳代金請取証ほか) 子一〇月一九日 広田只輔代
 人中田六兵衛 佐山村杉本勘左衛門様宛等 一四通 一五二
 覚(三郎兵衛分真木請取証) 丑二月二五日 一通 三五七
 水沼兵太夫 孫七殿宛
 書出し(請取覚) 寅八月三日 一通 二九二
 弥左衛門 勘左衛門殿宛
 覚(米請取証) 寅二月二〇日 一通 三五三
 庄兵衛 杉元勘左衛門殿宛
 覚(金銭請取証) 寅二月二八日 一通 三六四
 庄兵衛 杉本勘左衛門様宛
 覚(代金請取証) 卯一〇月二五日 一通 三五五
 引又問屋藤左衛門 宅部杉本平十郎様宛

覚(金子請取証) 辰一月三日 弥左衛門 勘左衛門殿宛	一通	三三九	記(学校関係金円受取証) 一月三〇日ほか 鈴木戒三 杉本様宛	二通	二四〇
覚(金銭受取証の綴) 巳一〇月二五日ほか	一五通	三八九	記(金銭受取証ほか) 二月一日ほか 穂積薬局 ヤケベ杉本惣太郎様宛等	二一通	二四九
覚(金銭渡し証文) 午一月二四日 池田役所片岡勝蔵 金左衛門殿宛	一通	二四三	口上(利金残り借り申入れ) 二月二日 隠居李右衛門 勘左衛門様宛	一通	二三四
覚(金子請取証) 午七月三日 津久井や新三郎 後ヶ谷村宛	一通	二四五	有金帳(金銭貸借帳) 二月三日	一冊	二五三
覚(午大豆代受取証その他) 午八月七日 清水村市郎右衛門 杉本勘左衛門様宛等	六通	三四五	雑綴(金銭請取証その他) 三月一日	一綴	二四四
覚(金子請取) 午一〇月二四日 中藤村湊屋清五郎 代平八郎 宅部村杉本様宛 包紙共	一通	一八四	書状(弥兵衛御無心金子受取証文言等) 大沼田当間佐兵衛 杉元勘左衛門様宛	一通	三三六
(金銭出入記録) 未六月二二日	一冊	二〇四	記(ろうそく代金受取証) 四月一〇日 狭山村平田や 上宛	一通	三六三
覚(金銭受取証) 酉九月二三・二四日 山田や金次郎 後ヶ谷村平十郎様宛等	三通	二五九	(扱人兩人宿料等出金覚他綴) 四月二日	一綴	三三八
覚(賄金請取証) 酉十一月一〇日 後ヶ谷村平十郎殿宛	一通	三四八	記(金銭受取証等一括) 五月二日ほか 用掛真野新左衛門 杉本勘左衛門殿宛等	一九通	二四〇五
覚(金子受取証) 酉十一月一七日 大宮宿大野屋伝右衛門 後ヶ谷村平十郎様宛	一通	二〇八	覚(立替金受取証) 六月一〇日 仏眼寺 宅部御世話人様宛	二通	三三三
覚(金子受取証) 酉十一月一八日 大宮宿大野屋伝 右衛門他一名 後ヶ谷村・廻り田村・宅部村分後ヶ 谷村平十郎様宛	二通	二〇九	記(金銭受取覚他一括) 六月一九日 尾崎金左衛門 役場御中宛等	四通	三三七
覚(金銭出入覚) 戌九月一〇日	一冊	三三五	覚(米代金受取証) 六月二七日 青梅わたや 宅ベ村忠左衛門殿宛	一通	三三六
覚(真木受取証) 亥一月一八日 村井弥助 宅部勘左衛門宛	一通	二四四	覚(大豆代金受取証) 八月四日 名主彦兵衛 杉本勘左衛門殿宛	一通	二四三
覚(まき代金受取証等) 亥二月二〇日 清水村名主市郎右衛門 納人勘左衛門殿宛等	一二通	三三三	記(酒代他書上げ) 八月二六日 高金 杉本様宛 受取之証(金円受取証等) 八月二六日他 角筈村岡本吉五郎 狭山村杉本惣太郎殿宛他	一通	三三八
				七通	三五二

横帳

横帳

横帳

藍葉代金受取之証 九月七日

角筈村岡本吉五郎代理勝田梅藏 狹山村杉本惣太郎殿宛

一通 二四〇

覚(金銭受取証等) 九月一五日他 浜田屋安兵衛上宛他

一五通 二五〇

記(惣太郎時貸並びに入金明細証) 九月二日 狭山竹庄 五十嵐勇助・杉本惣太郎君宛

一通 二六八

覚(納品並びに内金請取証他) 一〇月二日 武藏や文治郎 宅部村杉本平十郎様宛

一通 二七六

覚(上とち小豆代金請取証) 一一月二日 大くらや佐久平 上宛

一通 二四三

覚(代金請取証) 一一月二五日 新町川鳥屋龍藏 上宛

一通 二七二

覚(羽折袴ほか代金請取証) 閏月二五日 大津屋恒三郎 上宛

一通 二六四

(金銭出入帳)

横帳

一冊 二五九

砂川村境野幸輔米出入并金子出入共手控書付

一通 一五九

杉本勘左衛門 控 包紙共

記(飲食代金受取証の綴)

一綴 一九三

奉公人請状

奉公人請状之事 文政三年二月二日 廻り田村金太郎兵衛他一名 勘左衛門殿宛

一通 二九

奉公人請状之事 天保九年二月 入間郡町屋村人主茂八他一名 馬橋村左七郎殿宛

一通 二二九

差上申御請書之事(御俸約二付伯母とし宿元へ引取御請証文) 嘉永七年一月二七日 武州多摩郡後ヶ谷村杉本慶治郎 井上欣之条様御内松井猪之助様他二名

一通 二六七

(御屋敷奉公の伯母とし引取に關する文書 控等) (嘉永七年)寅一月 杉本慶治郎

五通 二三八

奉公人請状之事 安政六年三月 多摩郡後ヶ谷村人主平重郎他一名 入間川村綿貫屋良三殿宛

一通 二四九

井上屋敷方付入用 控(勘左衛門伯母とし屋敷奉公御手当書付帳) 安政六年四月吉日 杉本うし

一冊 二九〇

証書(おとしの借金証文破棄証文) 安政六年四月 井上源三郎内田中藤三郎他二名 武州多摩郡後ヶ谷村慶次郎殿宛

一通 二八〇

差上申一札之事(伯母とし引請証文) 安政六年四月 細川越中守御領分武州多摩郡後ヶ谷村引請人杉本慶次郎他一名 井上源三郎様御内蛭池吉重郎殿・菅野禎輔殿・田中藤三郎殿宛

一通 二七九

一札(おいち殿手当金支払い延日につき証文) 庚子一月四日 廻り田村小町九内他二名 菩提木村平藏殿宛

一通 二四九

(奉公人仕着覚帳) 丑五月二四日

一冊 八五

横帳

諸營業

覚(芋種代返納請取証ほか) 延享一年二月 大沼田新田名主伝兵衛 勘左衛門殿宛

一二通 二二六

指出申一札之事(質物間違い一件につき) 安永七年四月三日 入間郡菩提木村置主儀八他三名 後ヶ谷村勘左衛門殿宛

一通 二五五

差出申一札之事(小売酒商継続につき) 文化一一年一〇月 商主八郎右衛門・佐右衛門・小平次他一〇名 勘左衛門殿宛

一通 二七

江戸登諸帳面并書付入(江戸注文並品々控他六点开入) 安政六年二月三日 袋共

横帳

七冊 二四七

店卸勘定控 万延一年九月吉日 升屋彦四郎内勘左衛門持	横帳	一冊	三三四	(後ヶ谷村居酒渡世人書上げ) 明治七年一月 杉本平五郎・関下庄兵衛・戸長内野季左衛門	一通	二七四
白米俵数控覚帳 文久一年一月八日より	横帳	一冊	一四三	(居酒渡世廃業願い) 明治七年二月 杉本平五郎他二名 第拾壹区会処御中宛	一通	一八九
酒造方秘録 (他に酢・水飴の製法など有り) 文久三年三月吉日	小型 半横帳	一冊 三通	一四九〇	御請書(鑑札請取) 明治七年四月二八日 杉本平五郎	一通	一七〇
諸方 売掛名前書拔帳 明治二年八月吉日	半横帳	一冊	二五八	(後ヶ谷村生糸製造人書上) 明治七年五月三〇日 後ヶ谷村用掛杉本勘左衛門 拾番組会所御中宛	一通	二七〇
久米 荒畑名前拔帳 明治二年八月吉日	半横帳	一冊	一五九	升酒渡世願 明治七年六月一日 杉本勘左衛門他一名	一通	一八七
条村升屋彦四郎代平重郎控	半横帳	一冊	一五九	記(上納金半年分の金額及び納期について廻状) (明治七年) 七月三日 拾小区 高木村他三ヶ村 用懸御中宛	一通	一八二
酒代売掛取立帳 明治二年八月吉日	横帳	一冊	一六〇	新規居酒渡世願 明治八年二月三日 願人杉本勘左衛門	一通	一八七
升屋彦四郎代平重郎	横帳	一冊	一六〇	第六拾貳号質營業免許鑑札 明治十一年一〇月一六日 神奈川県庁 下武蔵国多摩郡狭山村杉本勘左衛門宛	三通	一九五
入置申一札之事 (水車取建用水路地代受取并に使用年限その他約定証文 控) 明治二年九月 地主宅 部村角左衛門他二名 後ヶ谷村平重郎殿宛	一通	一冊	一六三	売薬請売許可之証 写 明治十一年一月一日 神奈川県 請売營業人杉本勘左衛門宛 包紙共	一通	一九二
入置申一札之事 (酒造蔵借請証文) 明治二年九月 武州入間郡小野新田近江屋惣兵衛 条村彦四郎殿宛	一通	一冊	一六七	營業御届(質屋) 明治一四年一月二〇日 杉本勘左衛門他一名 北多摩郡長砂川源五右衛門殿宛	一通	一九四
酒造証文控 明治三年九月	縦帳	一冊	一七三	營業御届(売薬小売商) 明治一四年一月二〇日 北多摩郡狭山村第八百拾三番地杉本勘左衛門他一名 北多摩郡長砂川源五右衛門殿宛	一通	一九五
酒代取調帳 明治三年二月 武州入間郡条村彦四郎	半横帳	一冊	一七六	売薬仕払高書上表 明治一六年五月一四日 北多摩郡狭山村売薬受売人杉本勘左衛門 神奈川県 令冲守固殿宛	一通	一九七
万之通 明治六年一月吉日 東平 本宅様宛	半横帳	一冊	一八三			
新規居酒渡世願 (附送り状) 明治六年八月三日 願人多摩郡第拾壹区拾番組後ヶ谷村杉本小左衛門他一名 神奈川県令大江卓殿宛	縦帳	一冊	一八七			
新規居酒渡世願 明治六年八月一八日 願人関下庄兵衛他一名 神奈川県令大江卓殿宛	一通	一冊	一八五			
(物産書上) 明治六年二月一八日 第拾壹区拾番組後ヶ谷村	一綴	一冊	二五八			

<p>廃業御届(売葉小売業) 明治一六年七月二八日 北多摩郡狭山村第八百拾三番地杉本勘左衛門 北多摩郡長砂川源五右衛門殿宛</p>	一通	一九七四
<p>家賃約定之証 明治一七年三月二〇日 借主北多摩郡狭山村関下庄兵衛 杉本勘左衛門殿宛</p>	一通	一九九
<p>質屋営業願 明治一七年五月一四日 杉本勘左衛門 神奈川県令沖守固殿宛</p>	一通	一九八
<p>(質屋仲間関係書類綴) 明治一七・一八年 (製茶検査証その他綴) 明治一八年一二年 神奈川県茶業組合郡部取締所頭取川鍋八郎兵衛 製造人杉本勘左衛門宛ほか</p>	一綴	一九一
<p>賣揚証(製茶仲買、蚕種小売営業売揚高) 明治一九年一月二八日 杉本勘左衛門 高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛殿宛</p>	一通	二〇八四
<p>引継営業届(茶製造業) 明治一九年五月一日 杉本惣太郎 郡部取締所宛</p>	一通	二〇八五
<p>引継営業届(仲買営業) 控 明治一九年五月二日 杉本勘左衛門 郡部取締所宛</p>	一通	二〇八六
<p>廃業御届(蚕種小売業) 控 明治二〇年一月四日 杉本勘左衛門 高木村外五ヶ村戸長宮鍋庄兵衛殿宛</p>	一通	二〇三七
<p>売揚書(蚕種小売 繭生糸仲買両売上高書) 控 明治二〇年一月四日 杉本勘左衛門 高木村外五ヶ村宮鍋庄兵衛殿宛</p>	一通	二〇三六
<p>廃業御届(工業木節製造) 明治二〇年一月四日 町田半兵衛 北多摩郡長砂川源五右衛門殿宛</p>	一通	二〇八八
<p>廃業御届(蚕種小売業) 明治二〇年一月六日 杉本勘左衛門 北多摩郡長砂川源五右衛門殿宛</p>	一通	二〇八七
<p>記(藍玉代金受取証他) 明治二〇年四月二三日 北玉郡小金井村鈴木林蔵 狭山村杉本様宛等</p>	六通	二三四三
<p>記(藍葉代金受取証) 明治二〇年九月一〇日 角笥村岡本吉五郎代人勝田梅蔵 狭山村杉本惣太郎殿宛</p>	一通	二〇六
<p>記(質物流品書上げ) (明治) 二〇年 斉藤半兵衛 宅部村竹内竹蔵様宛</p>	一通	二四六三
<p>記(質物預り証) 明治二二年二月一四日 上山口郵質屋関谷清左衛門 狭山村竹内竹蔵殿宛</p>	一通	二四六八
<p>質物預り証 明治二二年一〇月四日 上山口村質屋関谷清左衛門 狭山村竹之内竹蔵殿宛</p>	一通	二四六六
<p>記(流質物書上げ) (明治) 二二年九月二三日 金山齊藤栄蔵 杉本勘左衛門他二名宛</p>	二通	二四六四
<p>家賃通 明治三四年六月より 秋田店 三ヶ島ノブ殿宛</p>	一冊	二〇二五
<p>(往大豆替値段について) 丑十一月 覚(店卸勘定控) 戌九月三〇日</p>	一通	二二七
<p>覚(蚕種代金請取その他) 二月五日</p>	一綴	二〇三六
<p>(代米渡し依頼状并往大豆代米受取覚) 四月七日 廻り田新田名主江藤太郎右衛門 後ヶ谷村石井勘左衛門様宛</p>	一通	三三六
<p>記(酒代金書上げ他) 四月一九日 田那部作蔵 御世話様御中宛他</p>	二通	二七三九
<p>仮仕切(本茶壺本渡証文) 六月一日 柳本吉左衛門 狭山村杉本勘左衛門様宛</p>	一通	二四六五
<p>覚(納品証) 八月二二日 南豊島郡角笥村藍屋吉岡本吉五郎 杉本惣太郎様宛</p>	一通	二〇三三
<p>(売葉請売免許鑑札受取出頭通知状) 一一月二四日 関田 杉本勘左衛門殿宛</p>	一通	一九〇七

覚(種代受取証) 一月二五日 武蔵屋文次郎 杉本平十郎様宛	一通	三六九	覚(真木請取証) 卯一月一八日 水沼兵太夫 後ヶ谷村孫七殿宛	一通	三四六
乍恐以書付奉申上候 (上新井村名主市右衛門藍組合出願につき同意書 下書)	一通	三七八	覚(品代金受取証) 午二月一七日 久米村彦四郎代平重郎 堀口村八右衛門殿宛他	五通	二五四
菓子売出し(菓子値段書上)・口上(菓子品名書上)	二通	三七六	記(質物書上げ証文)(明治)一八年二月一四日 金山斎藤栄造 宅部邸竹内竹蔵様宛	一通	二四七
(居酒渡世人等書上)	一通	三七五	覚(くわし・ろうそく代他) 三月二四日 関屋 下郷御役人様宛	一通	二二〇
諸商品取引			おほへ(質物渡し証文) 六月一日 ハタヤ 杉本様宛	一通	二四七〇
覚(真木式拾四束請取証) (安永八年)亥一〇月二七日 川越伊兵衛 杉本村 勘左衛門宛	一通	二四〇〇	記(茶業組合費請取証) 八月二日 茶業世話掛粕谷政四郎 杉本勘左衛門様宛	一通	二六〇
(小麦粉書付の覚) 安永九年五月一四日	一通	五七	記(藍瓶代内金請取証) 一二月一五日 中村金左衛門 吉川三郎兵衛殿宛	一通	二二九
売上一札之事(けやき三本売渡しにつき) 天保八年九月一〇日 木主喜三郎他一名 大岱村久 右衛門殿宛	一通	二九五	一札之事(金子受取の下書) 当人中藤村浅右衛門 同村弥三郎殿御組合竹次郎殿・勘右衛門殿宛	一通	二二
売上一札之事(けやき三本売渡しにつき) 下書 天保八年九月一〇日 木主喜三郎他一名 大岱村久 右衛門殿宛	一通	二五四	その他		
(杉本平五郎並びに関下庄兵衛の三ヶ月売揚金書 上げ) 明治六年一〇月二八日 元名主真野新左衛 門	一綴	二五五	雑綴(請取証等) 明治二二年二月二六日	一綴	二五九
記(杉本平五郎並びに関下庄兵衛売上高書上げ) 明治八年二月三日	一通	二五六	剣士受附名簿 大正九年四月一八日 旧師謝恩会	一冊	三三
藍葉売上之証 明治二〇年八月一四日	一通	二六七	口上(金子借用証文の印形願い) 亥二月二九日他	二通	二五〇六
南豊島郡角筭村岡本吉五郎 狭山村杉本想太郎殿宛	一通	二五五	内堀武兵衛 杉本平重郎様宛	一個	二五三
記(藍葉代金等受取証) 明治二〇年八月二二日 角筭村岡本吉五郎 狭山杉本惣太郎殿宛	五通	二五五	(寛永通宝)		

個人記録

万覚帳

万覚帳 延享四年 杉本孫七

(万覚帳) 寛政九年二月四日 狭山谷杉本茂林堂

(万留書帳) 寛政一〇年二月

大宝恵 万延一年一〇月吉祥日

武野狭山谷宅部之住石井杉本慶治郎宣智

小遣帳 明治二年八月吉日 桑村升屋内平重郎

大宝恵 明治三年四月一日

神奈川県北多摩郡高木村第六番地杉本勘左衛門

(秘伝等覚書帳) 杉本慶次郎

(長場借用・時貸等万覚帳)

見聞録

大沼田新田塚聞書(勘左衛門家守弥兵衛咄し)

明和一年二月二日

見聞録

安政七年三月吉日 武埜狭山谷宅部杉本

隨身見聞録 医術

隨身見聞録

日記・日誌

日記 文政三年二月

小型
半横帳 一冊 三六〇

縦帳 一冊 六四五

縦帳 一冊 二五六

半横帳 一冊 一四八

半横帳 一冊 一六四

横帳 一冊 二〇三

半横帳 一冊 二〇五

横帳 一冊 二〇九

一通 三六四

縦帳 一冊 一四六

半横帳 一冊 二〇二

半横帳 一冊 二七四

半横帳 一冊 七七

出港日誌 明治一三年三月七日
北多摩郡狭山村杉本勘左衛門控

小遣帳

小遣覚帳 元治一年一月一日 杉生

日用小使費 明治三八年一月 杉本

書状

書状(明治) 九年八月一日 内野 杉本兄宛

書状(信心手引書頂戴の御礼ほか)
(明治) 四四年一〇月三〇日 荒ヶ谷戸宮崎治兵衛

書状下書(借財の返済につき) 未一〇月一六日
真野祐蔵様宛

書状(金子差し送り願い) 未二月一八日

書状(村々へ挨拶に罷出る由寺にて待つとの連絡)
二月一日 真野重衛 杉本平重郎様宛

口上(萩山番小屋並びに番銭等につき書状)
二月二八日 野口村鈴木勘左衛門 後ヶ谷村石井勘

左衛門様・廻り田村江藤太郎右衛門様宛 包紙共

書状(借用金等につき出府依頼その他口上)
三月一二日

書状(荷物送り状) 五月三日 所沢井関孫右衛門

尾崎伝蔵様・杉本勘左衛門様宛

書状(打越村の件につき) 五月一〇日

内野与一郎 石勘左様宛

書状(かや七・八駄引取願他) 五月一日

高木村尾崎伝右衛門 勘左衛門様宛

半横帳 一冊 二七四

小型
半横帳 一冊 一五〇

横帳 一冊 二五一

一通 一九五

一通 二七六

一通 三三三

一通 一七八

一通 二八九

三通 三三五

一通 二四二

一通 二四〇

一通 二四三

書状(一宿の御札並びに鐘銘の件につき) 六月二十七日 金色山患慮 杉本勘左衛門様宛	一通	二四三	歳々年数早見 明治一六年九月十五日 新刻 編輯兼出版人東京芝宮本町壹番地平野伝吉	一通	一九六
書状(靈仁子入来につき礼状) 八月二十八日 恵比 杉本勘左衛門様宛	一通	二四三	覚(須原屋書籍代金覚) 未二月一八日 須原屋年兵衛 上宛	一通	三七七
書状(田方年貢触未到来・三ヶ年割附之写差上げ等) 一〇月 真野俊太郎 杉本平重郎様宛	一通	二四〇	(釈迦一代記遺すことなど書状) 六年二月 北田新田宝泉寺 清水三光院様	一通	二六四
(書状) 一一月一日 所沢井関孫右衛門 杉本勘左衛門様宛	一通	二六三	(懸物一覽) 前欠	折本	二四九三
書状(呼出しにつき返答書) 一一月二〇日 五十嵐米介 御叔父様宛	一通	二六六	二拾一歳一代考	一通	三五四
書状(御年貢金拾両江藤殿へ御頼申上候他) 一一月一五日 宿より	一通	二七九	(薬水・醬油・焼酎・その他作り方秘伝控書)	一綴	二五〇
書状(米式駄受取り預り置くこと他) 一一月二〇日 大沼田当間伝兵衛 宅部村杉本勘左衛門様宛	一通	二八三	俳諧(柳梅) 隠志探蘭	四通	二四六
(書状) 芋久保村川鍋 狭山村榎本兄上様宛	一通	二六三	鉄炮口伝三十五首歌	一通	三九
(書状一括)	七八通	二七五	(定賢ほか筆蹟・句集など)	三通	三三六
書物			旅		
杏林帳(漢詩和歌書留帳) 寛政九年 茂林堂	一冊	六四七	道中諸事之覚帳 宝曆四年二月	横帳	一冊 二九六
算術(教本の写) 天保一五年一月吉日 杉本氏	一冊	二五〇	差上申手形之事(伊勢参宮の為の手形) 文化九年 一月 川崎平右衛門支配所武州多摩郡後ヶ谷村名主 勘左衛門 箱根御関所御役人衆中様宛 下書	一通	七〇三
国益養蚕用書 嘉永七年 慶応 杉本茂林堂	一冊	三三九	湯殿山参詣(勘左衛門定賢筆の参詣記録) 文政一〇年 石井勘左衛門 包紙共	一通	二五五
(貨幣量目図) 安政七年二月改 版刷	一通	二四六	差上申手形之事(伊勢参宮所通行手形 下書) 天保一四年一月九日 江川太郎左衛門御代官所武州 多摩郡後ヶ谷村名主平重郎 箱根御関所御番衆中様 宛	一通	二三八
御成敗式目 全 安政七年三月吉日 杉本慶治郎宣智	一冊	一四七			
似寄三十六ヶ仙 文久四年一月吉日 杉本氏	一冊	二九七			

差上申手形之事(伊勢參宮につき関所通行手形控)
天保一四年一月九日 江川太郎左衛門御代官所武州
多摩郡後ヶ谷村名主平重郎 箱根御関所御番衆中様
宛

往来手形之事 弘化三年二月 上総国周准郡二夕間
塚村真言宗善龍寺保科能登守領分同村名主兼右衛門
国々宿駅御役人中・在々村々御役人中宛

往来手形之事(諸国神社仏閣願拜につき) 万延一年
七月 武蔵国多摩郡清水村真言宗新義三光院 国々
御関所御役人衆中・国々宿駅在々村々御役人中宛

大野屋伝左衛門木銭米代勘定帳
文久一年一月九日 後ヶ谷村平重郎控

御請(関田糸右衛門一人旅につき身分証明書付の発行
について) 明治七年七月二四日 捨老大区
十小区御中宛

旅行証(豆州修善寺温泉入湯のため)
明治二六年一〇月一三日 高木村外五ヶ村組合役場
平民杉本勘左衛門宛

御入湯中の日記 明治二六年十一月一四日
豆州修善寺石ノ湯側五柳館柳屋広吉 三番室杉本様
宛

入湯控(金比羅大権現) 六月九日

書状(父親の修善寺温泉滞在中の礼状) 杉本惣太郎
静岡縣駿東郡富岡村真田吉三郎様他一名宛

その他

生月記 文政二二年一〇月

(御染筆御礼状) 嘉永三年二月三日 下間少進
法印仲潔 海岸寺門徒武蔵国豊島郡江戸日本橋通堆
朱平十郎殿宛

一通 二七〇

一通 二六三

一通 二四四

横帳 一冊 一四六四

二通 一八六三

一通 二〇八三

横帳 一冊 二〇五九

一通 二三五〇

一通 二〇〇五

横帳 一冊 八六五

一通 二七三三

(御染筆御礼状) 嘉永六年三月二九日
島田左兵衛権太尉正辰 堆朱長門殿宛

(御詠歌御染筆御礼状) 嘉永七年一月一七日
島田左兵衛権太尉正辰 海岸寺門徒武蔵国豊島郡江
戸浅草福井町越前屋平兵衛殿宛

木性実名印(名前字画考証) 明治一五年八月吉日
杉本林志ほか 横田弁次郎殿宛ほか

(貸金催促の件につき身代限処分の手続指示書)
明治一六年五月七日 北多摩郡役所 狭山村戸長中
宛

謝状(銀行退職の折の感謝状) 明治四一年八月
株式会社所沢商業銀行頭取関田安右衛門 杉本勘左
衛門殿宛

(史蹟に関する件回答書) 昭和七年一月三〇日
千葉県 杉本寛一殿宛

(雑誌「経済政治街」刊行の祝辞) 昭和八年七月
蘇峰老記者 佐々木修一郎 志賀静夫両君宛

里言葉

(百姓某の生いたちの記)

(病状記録)

『狭山之葉』 昭和一四年二月 杉本林志著 杉本寛
一発行

『杉本家系譜』 昭和一五年八月 杉本寛一編刊行

(断片 残簡等) 目錄外文書一括
書状入れ桐箱

一通 二七〇

一通 二七三

五二通 二五六

一通 二七五

一通 二四六

一通 二五九四

一通 二七四三

一通 二七六

横帳 一冊 二五六

一冊 二七三

一冊 二七四

二箇

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録 解題

一 文書の伝来

杉本家文書は、一九六^五五年（昭和四〇年）度に原蔵者杉本氏より、当史料館の前身である文部省史料館へ譲渡されたものであり、今日当館所蔵史料となっている。

二 後ヶ谷村の概要

近世の武蔵国多摩郡後ヶ谷村は、三つの谷から構成されていた。すなわち石川の谷、回り田谷、谷ツ入である。このうち石川の谷は現在村山貯水池（多摩湖）の湖底に沈んでいるが、この石川の谷が最も大きく宅部、内堀、杉本の三字がここにあり、その上流部は、それぞれ蔵敷村、芋窪村に属している。

近世の後ヶ谷は、この三つの谷から構成され、村民は石川の谷を中心とした北の谷と回り田谷・谷ツ入を中心とした南の谷の二つのグループに分かれていた。この二つのグループには、それぞれ中心となる家があった。

北の谷の勘左衛門家と南の谷の新左衛門家である。この両家は、おそらく戦国期の土豪であり、それぞれ谷ごとに成立した同族団の本来であったろう。江戸時代になって、土豪が百姓となり、二つの同族団を合わせて一つの村を作ったとき、この一族を統括する力を持った両家がそれぞれ名主にされた。これにより後ヶ谷村には、二人の名主が存在することになった。本文書の原蔵者である杉本家は北の谷の勘左衛門家である。

さて、近世の武蔵国多摩郡後ヶ谷村は、現在は東京都東大和市狭山に含まれる。後ヶ谷村は江戸期から明治八年（一八七五）までの村名であり、同八年に後ヶ谷村と宅部村とが合併して狭山村となったのである。

明治後半から大正期にかけて東京の発展による人口の増大は、莫大な飲料水の確保が必要となり、狭山丘陵に貯水池をつくることが決まり、昭和二年（一九二七）村山貯水池（多摩湖）が完成し、その一部として旧後ヶ谷村のうちの石川の谷が湖底に沈んだのであった。

近世の後ヶ谷村についての簡単な概要を紹介しておく。

後ヶ谷村は、多摩郡山口領のうちに属した。中世の宅部郷やけべは後ヶ谷と宅部から成り、江戸初期、後ヶ谷村と総称した。

正保期（一六四四―四七）の『武蔵田園簿』によると、後口谷戸村は村高三〇〇石、その内訳として田方八八石、畑方二二〇石で、支配者は旗本溝口佐左衛門知行・同逸見四郎左衛門知行の相給となっている。

後ヶ谷村は延宝二年（一六七四）に幕府直轄領に編入され以後幕末まで、いわゆる天領であった。

現存する「後ヶ谷村人別宗門改書上帳」や「村鑑明細帳」等から近世前期から幕末期までの村の動向を検討してみよう。

「表1」は村高・家数・総人口（男・女）・馬数と名主の一覧表である。これによりその動向を窺うこととしよう。

村高は、前述のように正保期（一六四四―四七）には三〇〇石であったが、元禄―享保期（一六八八―一七三五）には一六二石余と約半減されている。これは宅部村が独立したためであろうか。さて宝暦八年（一七五八）以降明治二年（一八六九）までの村高は二〇三石九斗二升四合と固定化されている。これは従来の一六二石三斗四升二合を本田とし、四一石五斗八升二合が古新田として開発された部分であり、両者の高の合計が近世中期以降の村高として固定されたのであった。それらの詳細については、安永七年（一七七八）・文政四年（一八二二）の「村鑑明細書上帳」に記載がある。

家数は宝暦八年（一七五八）以降百姓家四五軒として変化なく明治維新まで続いている。この百姓家四五軒以外に、寺一軒・堂二軒が存在している。総家数四八軒とあるときは、この寺一軒・堂二軒が加算されているのである。

総人口は元禄二年（一六八九）の一六一名より徐々に増加し、文化期（一八〇四―一七）には二二〇人から二三〇人ぐらゐとなり、文政期

[表1] 後ヶ谷村人別宗門改書上帳等の記載からみた村の動向

年(西暦)・月	村高	家数	総人口	男・女	名主	名主	馬
	石	軒	人	人 人	(細頭)	(細頭)	疋
元禄2(1689).6	161.906	37	161	85・76	勘右衛門	十兵衛	
宝永3(1706).4	162.342	39	192	93・99	左右衛門	〃	30
〃 4(1707).9	〃	41	202	105・97	〃	〃	
享保14(1729).7	〃	43	178	98・90	〃	(名主)彦八郎	
〃 18(1733).6	〃		181	107・74	〃	〃	
〃 20(1735).11	〃	48	222	123・99	〃	〃	21
宝暦8(1758).3	203.924	45			(名主)勘左衛門	(名主)彦八	
安永7(1778).4	〃	〃, 他3	205	101・100,他4	〃		24
〃 9(1780).3	〃	〃, 〃	212	104・104,他4	〃		24
天明2(1782).3	〃	〃, 〃	188	93・92,他2	〃		26
〃 6(1786).3	〃	〃, 〃	188	95・93	〃		
寛政2(1790).3	〃	〃, 〃	200	97・104,他3	〃		
〃 6(1794).3	〃	〃, 〃	197	94・98,他5	〃		20
〃 9(1797).3	〃	〃, 〃	185	91・91,他3	〃		
〃 10(1798).3	〃	〃, 〃	180	88・91,他5	〃		
享和1(1801).3	〃	〃, 〃	185	91・88,他6	〃		19
文化1(1804).3	〃	〃, 〃	197	95・95,他7	〃	(名主)大八	19
〃 6(1809).3	〃	〃, 〃	237	112・118,他7	〃	〃	15
〃 7(1810).3	〃	〃, 〃	226	115・104,他7	〃	〃	19
〃 8(1811).3	〃	〃, 〃	213	107・99,他7	〃	〃	18
〃 9(1812).3	〃	〃, 〃	225	112・126,他7	〃	〃	19
〃 10(1813).3	〃	〃, 〃	234	120・109,他7	〃	〃	18
〃 11(1814).3	〃	〃, 〃	228	117・105,他6	〃	〃	20
〃 12(1815).3	〃	〃, 〃	222	115・101,他6	〃	〃	21
文政3(1820).3	〃	〃, 〃	249	123・122,他3	〃	(名主)新左衛門	25
〃 5(1822).3	〃	〃, 〃	259	123・130,他6	〃	〃	28
〃 6(1823).3	〃	〃, 〃	252	124・124,他4	〃	〃	27
〃 9(1826).3	〃	〃, 〃	260	129・128,他3	〃	〃	30
〃 11(1828).3	〃	〃, 〃	262	131・129,他2	〃	〃	29
〃 12(1829).3	〃	〃, 〃	262	132・128,他2	〃	〃	29
天保5(1834).3	〃	〃, 〃	256	127・126,他3	〃	〃	27
〃 8(1837).3	〃	〃, 〃	256	133・120,他3	〃	〃	23
〃 9(1838).3	〃	〃, 〃	242	125・114,他3	(名主)平重郎	〃	24
〃 10(1839).3	〃	〃, 〃	235	119・112,他4	〃	〃	22
〃 12(1841).3	〃	〃, 〃	239		〃	(名主)後三郎	21
〃 15(1844).3	〃	〃, 〃	236	120・114,他2	〃	〃	22
弘化2(1845).3	〃	〃, 〃	232	119・111,他2	〃	〃	19
明治2(1869).3	〃	〃, 他4	294	130・160,他4	〃	(名主)新左衛門	13

(一八二〇―二九)には二六〇人に及びピークとなり天保期(一八三〇―四三)には少し減少し二三〇人ぐらいに戻るが、明治二年(一八六九)には二九四人と最高値を示しているが、これは女性人口の激増によるものである。これらの数は農民数であるが、後ヶ谷村には、この他、僧・道心(在家で仏道を行なう者)・比丘尼が、数人ずつ存在した。明治二年(一八六九)には僧・道心等の外に神主一人が存在している。男と女の人口比では、とくに特別なことはなくほぼ男女半数ずつであるが、明治二年(一八六九)に男一三〇人に対し女一六〇人と三〇人も女の方が多いのが注目される。

馬数は、宝永三年(一七〇六)が三〇疋で多く次第に減少し二〇疋、一五疋となるが、文政期後半から再び三〇疋前後となっているが、明治二年には一三疋と最も少なくなっている。これらの馬は、農耕馬ではなく、江戸や近在の農産物の運搬に使用されたり、助郷のために確保されていたものである。

名主の存在をみると、一時期を除いては、名主は、二軒あり、その一軒の杢右衛門―勘左衛門―平重郎の系譜の家が、杉本家である。次に、後ヶ谷村の産業等についておこう。

宝永三年(一七〇六)の「後ヶ谷村諸色覚書上帳」には「耕作之間百姓男子ハ江戸仕業、女子ハ野業仕候」とあり、江戸への道法みちのりは七里(二八キロメートル)余とある。文政四年(一八二二)の「村鑑明細帳」には、「当村之義は古来より困窮村ニ而柴山井畔木ヲ伐槎木ニ仕御府内へ馬附又は川岸出し仕、且八王子・青梅・五日市・飯能之市江罷出炭買入、是又馬附又は川岸出し仕、馬附送り八夜四ツ時(午後一〇時)ニ罷出御府内へ罷越明夜五ツ時(午後八時)帰村仕候程難儀仕候、女は木綿嶋織作間之儀仕候」とある。化政期(一八〇四―二九)の状況を物語る『新編武蔵風土記稿』には、「薪を伐りて江戸へおくり、傍ら養蚕」を営んだとある。

天保九年(一八三八)の「後ヶ谷村商屋書上帳」には、「一、升売酒屋 持高三石四斗七升二合、百姓太郎左衛門父小原二、是ハ寛政八辰年三月方商売仕候」とある。商屋はこれ一軒のみである。

安政四年(一八五七)の「産物有無書上帳」には、「当村方ニ而は農間木綿織織出し最寄市場亦は江戸表江持出売捌候外何ニ而も産物之品無御座候」とある。

明治二年（一八六九）の「産物書上帳」には、

一 覚

一 繭四石五斗

代永六拾七貫五百文

一 木綿縞四百八拾端^区

代永三百貳拾貫文

右之通取調奉書上候処、相違無御座候、以上」

と記載されてある。

明治六年（一八七三）の「数目調」では、「戸数四拾六軒、内一戸旧神宮・四拾五軒農、車三拾壹輛農車、物産、米三拾七石、大麦百七拾石、小麦四拾石、菜種三石、大豆拾石、小豆壹石、粟百石、稗八拾石、茶拾貫目、蕎麦拾石、桑貳百駄、繭五石、織物千五百端、岡米拾石、豌豆拾石、芋百駄、薩摩芋百廿駄、唐茄子廿駄、藍葉貳百貫」とある。

明治時代になっても主な産業は農業であったが、茶、藍葉、繭の生産が増加し織物業がさかんとした。すなわち狭山茶と村山^{かすり}餅である。とくに後者は明治三〇年―四〇年（一八九七―一九〇七）には全盛期を迎えたが、大正・昭和期と景気は悪化し、養蚕業がさかんとなり、桑畑が拡大した。

三 後ヶ谷村における杉本家

杉本家文書の原蔵者である杉本家は、代々後ヶ谷村の名主役を世襲し、明治五年には、名主から副戸長へと名称が変化したが、絶えず村政の指導者として存在してきた。杉本家文書の大半は、これら名主役や副戸長勤務の中で作成されたものである。

さて、杉本家については、『杉本家系譜』（昭和十五年（一九四〇）八月二十日、四十一代杉本寛一編刊行、騰写印刷四五頁）が存在する。ここでは、この『杉本家系譜』と杉本家文書等を中心に杉本家の概要について述べておくこととしたい。

杉本氏は元は石井氏を称していたが、近世には地名の杉本をとり杉本と改称していた。

天正一八年（一五九〇）徳川家康が江戸に入り近世の村落支配を編成する中で、庄屋役に取り立てられ、勘解由（政五郎）は元和元年（一六一五）五月五日地頭逸見四郎左衛門と共に大坂に出陣し同六月二十八日戦死した。

寛文九年（一六六九）三月「武蔵国多摩郡山口領後谷村新田検地帳」では、勘左衛門が検地案内の一人となっている。延宝二年（一六七四）八月の「御縄打帳」でも同様に勘左衛門が検地案内の一人となり、同検地帳では最高の名請高一町六反三畝一七歩が登載されている。屋敷一筆六畝七歩、田が二七筆七反三畝五歩、畑が二六筆八反二畝五歩、このほか藪が二筆二畝歩である。

「表2」は「後ヶ谷村人別宗門改書上帳」の記載からみた杉本家の状況である。杉本家は元禄期（一六八八―一七〇三）には、すでに名主役として、文書の中で存在が明確になっているが、現存している「宗門改帳」でその存在が判明するのは、宝永四年（一七〇七）から明治二年（一八六九）までの一六二年間三六冊によってである。

これによると宝永四年から享保期（一七一六―一七三五）までは、左右衛門と称し、以後三代は勘左衛門である。

二代目の勘左衛門は天明二年（一七八二）に若干一四歳で名主役に就任し、文政一二年（一八二九）六一歳でなお名主役を勤めていた。四八年前に及ぶものである。この間天明の大飢饉と村落の荒廃があり、幕府の松平定信を中心とした寛政改革により村落の復興政策が展開し、名主たちがその先頭に立って奮闘努力したのであった。文化・文政期（一八〇四―一八九）の江戸後期の発展期を迎えるのである。

杉本家の持高も一四歳で勘左衛門が名主役に就任した頃は、一六石余であったが寛政六年（一七九四）以降、約二倍の三二石余と飛躍するのである。杉本家の家族構成は、夫婦・子供を中心とする単婚小家族であり、近世前期では、下男・下女とよばれる奉公人を享保二〇年（一七三三）で九人も抱え、手作経営を実施していたが、持高が増大するに従い奉公人の数も減少し、一、二名に過ぎなくなった。これは、手作経営から地主・小作経営に転換したためではなからうか。また馬を所持していた時期も安永七年（一七七八）から寛政六年（一七九四）までで、いわ

〔表2〕 後ヶ谷村人別宗門改書上帳の記載からみた杉本家

年(西暦)・月	名 前 (年齢)	家族数	男・女内(下男・下女)	持 高	役 職	馬
元禄2(1689).6	勘右衛門 (50)	4	2・2	石 4.870	組頭	
宝永4(1707).9	左右衛門 (55)	8	4・4 (1・2)		名主	
享保14(1729).7	〃 (46)	10	6・4 (3・2)	10.9601	〃	
〃 18(1733).6	〃 (50)	13	9・4 (4・2)	〃	〃	
〃 20(1735).11	〃 (52)	17	12・5 (6・3)	12.1736	〃	
宝暦8(1758).3	勘左衛門 (29)	10	5・5 (2・2)		〃	
安永7(1778).4	〃 (49)	6	3・3 (1・1)	16.8987	〃	2
〃 9(1780).3	〃 (51)	8	5・3 (2・1)	16.9087	〃	2
天明2(1782).3	勘左衛門 (14)	7	4・3 (2・1)	16.8987	〃	2
寛政2(1790).3	〃 (21)	7	5・2 (3・1)	22.8780	〃	1
〃 6(1794).3	〃 (25)	6	4・2 (2・1)	31.1200	〃	1
〃 9(1797).3	〃 (28)	5	3・2 (1・1)	31.1800	〃	
〃 10(1798).3	〃 (29)	4	3・1 (1・0)	31.1200	〃	
享和1(1801).3	〃 (32)	6	3・3 (1・1)	〃	〃	
文化1(1804).3	〃 (35)	4	2・2	〃	〃	
〃 6(1809).3	〃 (40)	4	1・3	31.110	〃	
〃 7(1810).3	〃 (41)	5	1・4	〃	〃	
〃 8(1811).3	〃 (43)	5	1・4	〃	〃	
〃 9(1812).3	〃 (44)	6	1・5 (0・1)	〃	〃	
〃 10(1813).3	〃 (45)	6	1・5 (0・1)	〃	〃	
〃 11(1814).3	〃 (45)	6	2・4 (1・1)	〃	〃	
〃 12(1815).3	〃 (46)	5	2・3 (1・1)	〃	〃	
文政3(1820).3	〃 (50)	7	2・5 (1・1)	〃	〃	
〃 5(1822).3	〃 (54)	8	2・6 (1・1)	31.140	〃	
〃 6(1823).3	〃 (55)	8	2・6 (1・1)	〃	〃	
〃 9(1826).3	〃 (58)	8	2・6 (1・1)	〃	〃	
〃 11(1828).3	〃 (60)	7	1・6 (0・1)	〃	〃	
〃 12(1829).3	〃 (61)	8	2・6 (1・1)	〃	〃	
天保5(1834).3	勘左衛門 (22)	9	4・5 (2・0)	18.804余	〃	
〃 8(1837).3	〃 (26)	7	5・2 (2・0)	〃	〃	
〃 9(1838).3	平重郎 (27)	7	4・3 (1・1)	〃	〃	
〃 10(1839).3	〃 (28)	5	3・2	〃	〃	
〃 12(1841).3	〃 (30)	6	3・3	〃	〃	
〃 15(1844).3	〃 (33)	6	3・3	26.800	〃	
弘化2(1845).3	〃 (34)	6	3・3	〃	〃	
明治2(1869).3	〃 (58)	10	5・5 (1・1)	〃	〃	

ゆる三・一石余の大高持になってからは馬を所持していない。これは実質的な農業経営の規模を縮少し、小作経営に依存したためとも考えられる。さらに三代目の勘左衛門は天保五年（一八三四）にはすでに二二歳で名主役に就任している。しかし、この時期は、天明飢饉と比較される天保飢饉が始まり、杉本家でも、持高をこれまでの三・一石余から一・八石余と一・三石も減少させている。勘左衛門は二七歳の天保九年（一八一三）に平重郎と改名し、同十五年（一八四四）には、持高を二・六石八斗まで回復した。この三代目勘左衛門シヤモ平重郎は林志と称し、文化一〇年（一八一五）二月二八日に生れ、明治二年（一八八八）二月二〇日に死去したが、彼の大きな業績としては、『狭山之葉』を著作したことである。本書は狭山丘陵を中心とし、その周辺の村々の歴史や記録をまとめたものである。

林志は入間郡久米村（現在所沢市）の平塚家に生まれ、一六歳で杉本家に入り、一九歳の時養父定賢が天保二年（一八三一）一〇月五日に死去するとその長女と結婚し、翌年二〇歳で名主役を継承した。弘化四年（一八四七）三五歳で一二歳の長男に名主役を譲り、その後見役となった。それから四〇年間に、関東各地の史蹟の探求、神社仏閣の巡礼などにその大半をあてている。こうして『狭山の葉』が誕生したのであり、江戸末期から明治初年にかけての狭山丘陵周辺の様子をよく伝える貴重な文献である。（以上の杉本林志の記述は成迫政則氏「杉本林志と『狭山の葉』」、東京都東和市『多摩湖の歴史―普及版―』二二二頁より抜粋して引用させていただいた。）

四 杉本家文書の目録編成

本目録に収録した杉本家文書は、当館所蔵の同家文書のすべてであり、その目録点数は二七七四点であるが文書総点数は三五九三点に及ぶものである。文書の形態で示すと、冊子型（帳）文書が七三二点（二〇・三七％）、書状文書二六五八点（七三・九八％）、綴文書が二二九点（三・五九％）、鋪が七四点（二・〇六％）であり、文書の大半は書状文書である。

杉本家文書の年代的存在状況を見ると、最古のものは天正一九年（一五九二）十一月の三光院御朱印と同年同月水川明神領地寄進状（折紙）であるが、いずれも後世の写しである。原文書で一番古いものは、寛永二年（一六四四）三月三日「前沢御鷹野割当帳」や寛文九年（一六六

九)三月「武蔵国多摩郡山口領後谷村新田検地水帳」等である。最も新しいものでは、昭和一五年のものがある。杉本家文書の大半は享保期以降のものが主流を占めるが、近世前期の元禄期のものも少なくない。

さて、杉本家文書の目録編成の基本には、名主役・副戸長など村政の公的文書と家を中心とした私的文書の二つに大別した。

前者の公的文書は近世の名主役と明治初年の副戸長の二区分を設けた。名主文書は総点数二〇四六点(五六・九四%)で約半数を占めている。副戸長文書は四〇三点(一一・三二%)である。私文書を中心とした家文書は一一四四点(三一・八四%)となる。

〔表3〕武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録の編成と数量は杉本家文書の編成と数量の全体像を表示したものである。

以下この表にしたがい文書の編成とその存在形態について述べてみたい。

大項目としては、名主・副戸長・家の三つとし、この大項目の中を中項目に編成し、中項目の中を小項目で編成し、文書全体の構造的あり方を明示した。小項目内の文書配列は年代順としたが、関連文書や一括袋入文書については、枝番号を付与して文書相互の関連性を見失なわないようにした。

さて、大項目の名主は、九つの中項目から編成した。すなわち、支配、土地・用水、年貢、村政、戸口、村況、伝馬役、寺社、社会である。これら中項目は名主の職務機能から文書が作成される単位としたものである。例えば支配という中項目は、さらに一〇の小項目から構成されている。すなわち、法令・触書、鷹場、地頭・先納金、八王子千人同心、農兵、訴訟、御用菜種、警備、取締組合、その他である。その他とは、どの項目にも入らないものを集めたものである。

大項目の副戸長は中項目は立てずに小項目編成とした。これは副戸長の存在した期間が明治五年(一八七二)から明治十一年(一八六八)までの短期間であったことから文書の分量もそう多くないことによる。その小項目は一一から編成されている。すなわち、戸長・副戸長、戸籍、送籍、租税、学校、徴兵・軍事、地租改正、消防、衛生、村会、村合併である。幕藩体制を解体させ、維新政府が新制度を発足させるための諸政策が、まさにこの副戸長時代に展開していることが判明するのである。明治五年以降の村政文書は一括してここに包含した。

大項目の家は、三つの中項目から編成した。すなわち、相続・慣行、経営、個人記録である。これらはすでに述べたように、いわゆる私文書

〔表3〕 武蔵国多摩郡後ヶ谷村 杉本家文書日録 編成と数量

大項目	中項目	小項目	帳	状	綴	舗	合計	史料の上限	(史料番号)	史料の下限	(史料番号)
名主 2,046 56.94%	支配 479	法令・触書	114	169	7	3	293	延宝 6.12.26	〔2222〕	明治 10.4.17	〔1910〕
		鷹場	3	14			17	寛永 21.3.3	〔2225〕	嘉永 3.4年	〔2522〕
		地頭・先納金	2	16			18	正徳 2.2.29	〔85〕	天保 7.10.	〔1030〕
		八王子千人同心		9			9	天保 7.	〔1042〕	天保 8.2.2	〔1044〕
		農兵	10	10	1		21	文久 3.11.	〔1494〕	明治 8.2.28	〔2202〕
		訴訟	8	45			53	貞享 3.5.26	〔21〕	明治 19.10.4	〔2034〕
		御用菜種	7	4			11	天保 4.6.	〔2577〕	天保 6.10.	〔983〕
		警備	2	17			23	宝曆 1.12.	〔2632〕	明治 17.8.19	〔1987〕
		取締組合	19	8			30	明和 8.5.	〔419〕	明治 3.3.	〔1692〕
		その他	4		3		4	文化 3.11.	〔686〕	慶応 4.4.	〔2625〕
		郷村高帳	15	2			17	享保 20.	〔218〕	明治 6.5.	〔1819〕
		新田開発	1	13			14	享保 9.5.	〔156〕	明和 3.3.7	〔2763〕
		検地帳	16	1	1		18	寛文 9.3.20	〔2〕	天保 11.3.	〔1194〕
		名寄帳	12	1			13	享保 16.2.	〔194〕	明治 5.8.	〔1792〕
		反別帳	23	3			26	享保 14.11.	〔2114〕	明治 7.8.	〔1874〕
		入会	1	1		1	2	享和 3.4.	〔670〕	明治 5.9.	〔1802〕
		用水・上水	4	4			8	宝永 4.3.	〔77〕	明治 4.5.	〔1747〕
	年貢 647	年貢割付状	9	179	1		189	延宝 2.10.	〔2094〕	明治 6.5.	〔1775〕
		年貢割付拜見連判状		5			5	享保 1.11.	〔104〕	享保 4.12.	〔135〕
		年貢皆済目録	3	146			149	延宝 7.7.	〔12〕	明治 10.5.23	〔2186〕
		年貢勘定目録		4			4	正徳 2.4.	〔86〕	正徳 5.7.	〔98〕
		年貢定免請納	5	5			5	享保 10.11.	〔162〕	享保 14.10.	〔183〕
		年貢受取証文	93	42			99	天和 1.12.	〔1113〕	明治 7.5.	〔2753〕
	年貢小手形	6	93			42	寛延 1.12.	〔260〕	嘉永 5.	〔2603〕	
	国役金		57		1		58	延享 3.11.	〔254〕	明治 8.	〔1889〕
	その他		78		3		96	元禄 2.12.10	〔35〕	明治 20.6.7	〔2497〕

大項目	中項目	小項目	帳	状	綴	舗	合計	史料の上限	史料の下限
主名	政村	村役人 百姓等	10	36			46	安永 3.8	(明治5).5
		村議定 御用留	4	3			4	寛政 1.3	明治
		貯穀・夫食 村方出入	1	3			4	明和 9.7.24	天保 7.10.
	戸口	57	打毀し捨札	41	10		44	明和 9.1.	明治 24.
			宗門人別改帳 人別送り状	14	27		24	延享 2.12	(明治3)閏10.18.
			五人組帳	6	25		33	正徳 1.6.11	明治 3.3.
	村況	84	村鑑・村明細書上帳 村絵図	3	1		31	貞享 5.7.21	明治 11.~
			助郷 和宮下向 官軍御用	3	5		4	天保 7.12.1	天保 7.12.
			元禄 2.6.25	明治 2.3.					
	伝馬役	145	寺社	310	31	23	5	253	弘化 2.2.
正徳 6.2.									大正 14.1.25
宝永 3.4.									明治 7.4
社	36	教育 若者組 頼母子 講 普請	1	9	1	10	43	元禄 16.1.28	(明治3)8.26.
								文久 1.10.8	文久 2.2.
								慶応 3.10.	慶応 4.9.
副戸長	戸籍 送籍	戸長・副戸長 戸籍 送籍	12	39	5	20	5	天正 19.11.	明治 29.2.2
								天正 19.11.	明治 24.7.6
								文化 10.1.	明治 15.

大項目	中項目	小項目	帳	状	綴	舖	合計	史料の上限	史料番号	史料の下限	史料番号
副戸長 403 11.23%		租税	17	101	9		127	明治 4. 1.	〔1737〕	明治 26年度	〔2513〕
		学校	9	62	13		84	明治 6. 6.	〔1826〕	昭和 12.10.16	〔2593〕
家 1,144 31.84%	相続・慣行 75	徴兵・軍事	4	39	3		46	明治 6. 1.	〔2514〕	明治 27. 9. 30	〔2150〕
		地租改正	10	15	16	6	47	(明治 5.) 2.	〔1785〕	明治 28	〔2039〕
		消防	3	3	1		4	明治 30. 4. 24	〔2011〕	明治 30. 5. 20	〔2035〕
		衛生	1	10	2		13	明治 13.12. 3	〔1941〕	明治 18. 4. 23	〔1996〕
		村会	2	6			8	明治 12. 7. 24	〔1917〕	明治 21. 9. 20	〔2006〕
		村合併	1	4	1		6	明治 8. 3. 3	〔1881〕	明治 14	〔1938〕
		過去帳・系図	6	6	1		13	元和 8～享保 5	〔2237〕	宝暦 3～明治 16	〔2509〕
		相続	1	7	1		9	元文 2. 閏11.17	〔222〕	明治 15. 1. 17	〔1954〕
		隠居	3	4			7	延享 2. 8.	〔246〕	明治 14.10. 3	〔1939〕
		結婚	1	1	1		2	明治 20. 6. 1	〔1803〕	明治 25年度	〔2090〕
		離縁	6	6			6	明和 5. 5.	〔2134〕	明治 3. 4. 3	〔1709〕
		養子・養女	3	3	3		3	安永 7.11.27	〔485〕	安政 2. 2. 22	〔1383〕
		勘当	3	3	3		3	安永 9. 3.	〔504〕	天保 9. 8. 25	〔2542〕
借財	4	2	2		6	文化 2. 2. 19	〔679〕	(明治) 16	〔2406〕		
葬儀	2	6	6		8	安永 8. 3. 6	〔494〕	明治 3. 閏10. 9	〔1720〕		
家作	1	5	5		7	文政 7. 9. 2	〔817〕	文久 2. 10.	〔1487〕		
その他	3	7	1	1	11	(寛政 2.10.)18	〔623〕	明治 43.12.20	〔1969〕		
土地売買証文	2	113	4		119	天和 3. 2. 1	〔2110〕	明治 21. 9.	〔2024〕		
質地証文	1	141	9		151	享保 6.12.	〔147〕	明治 21.10.	〔2046〕		
小作証文	10	12	2		22	宝暦 8. 4.	〔303〕	明治 22.10.16	〔2028〕		
金子借用証文	5	197	2		204	享保 11.12.17	〔166〕	明治 44.11.19	〔2068〕		
金銭受取証文	11	199	10		220	寛延 2.	〔2174〕	大正 7. 4. 28	〔2741〕		
奉公人請状	2	12	4		14	明和 3. 3. 7	〔2550〕	安政 6. 4.	〔1379〕		
諸営業	18	72	4		94	延享 1.12.	〔2176〕	明治 34. 6.	〔2015〕		
諸商品取引	1	23	1		24	(安永 8.)10.27.	〔2440〕	(明治)18. 2. 14	〔2471〕		
その他	1	2	1		4	明治 21.12.26	〔2391〕	大正 9. 4. 18	〔2211〕		

大項目	中項目	小項目	帳	状	綴	舗	合計	史料の上限 (史籍番号)	史料の下限 (史籍番号)
家	個人記録 217	万覧帳	8	1			8	延享 4. [2280]	明治 23.4.11 [2029]
		見聞録	3				4	明和 1.12.21 [2164]	安政 7.3.吉 [1436]
		日記・日誌	2				2	文政 3.12. [777]	明治 13.3.7 [2734]
		小遣帳	2				2	元治 1.11.1 [1510]	明治 38.1. [1511]
		書状	6	98		98	(明治)9.8.11 [1925]	明治 44.10.30 [2376]	
		書物	5	8	1	12	寛政 9. [647]	明治 16.9.5 [1986]	
		俳諧	3	11	3	11	[2486]		
		旅	4	62		14	宝暦 4.2. [298]	明治 26.11.14 [2059]	
		その他				66	文政 12.10. [885]	昭和 15.8. [2774]	
計			732	2,658	129	74	3,593		

が中心となっている。

相続・慣行は、さらに一一の小項目から、経営は九つの小項目から、個人記録も九つの小項目から、それぞれ編成されている。以上により杉本家文書三五九三点を編成して目録としたものである。

杉本家文書の特徴としては、名主・副戸長時代の村政の公的文書がよく充実していることであり、家の私的文書もそれなりによく包含されている。

研究対象としては、まことに魅力ある文書群といえる。

△森 安彦▽

△追記▽

本目録の作成は森安彦が担当したが、兼原明子氏のご協力を得た。記して感謝の意を表したい。

〔参考文献〕

- 【大和町史】（東京都北多摩郡大和町教育委員会編集兼発行、昭和三八年）
- 【多摩湖の歴史―普及版―】（東京都東大和市編集・発行、平成元年）
- 【角川日本地名大辞典13 東京都】（同編纂委員会編集、角川書店発行、昭和五三年）
- 【江戸東京学事典】（小木新造他編、三省堂発行、昭和六二年）
- 【東大和の生活と文化】（武蔵野美術大学生活文化研究会編、東大和市教育委員会発行、昭和五八年）
- 【狭山之葉】（杉本林志著、杉本寛一発行、巖松堂書店発売所、昭和一四年）

史料館所蔵史料目録 第六十五集
武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録

平成九年三月三十一日 印刷発行

編集兼 国文学研究資料館
発行者 史料館

〒142 東京都品川区豊町一丁目十六番十号
TEL 〇三―三七八五―七一三(代)
FAX 〇三―三七八五―四四五六

印刷所 睦美マイクログラフ株式会社

〒135 東京都江東区東陽一丁目十六番十二号

(本文用紙は中性紙を使用)